

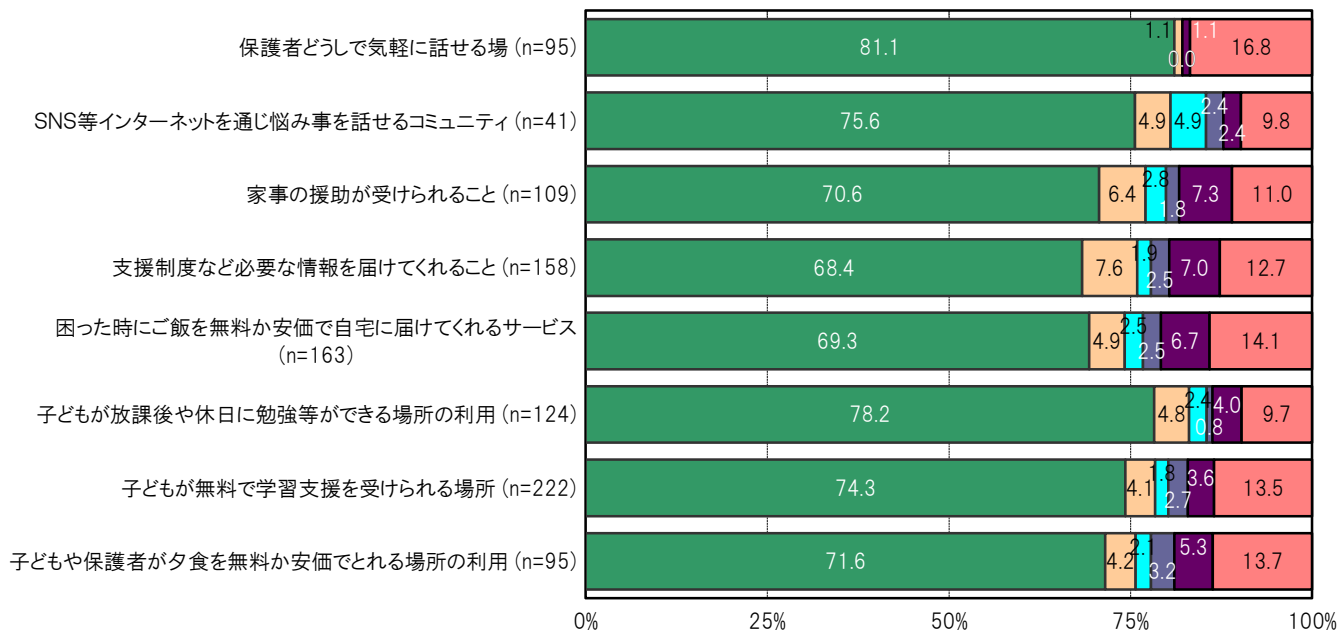
A-201.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／ひとり親家庭等就業・自立支援センター〔保護者 問24e〕

大阪市大正区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」69.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」4.9%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」2.5%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」2.5%、「それ以外の理由」6.7%となっている。

大阪市大正区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」74.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」4.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.8%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」2.7%、「それ以外の理由」3.6%となっている。

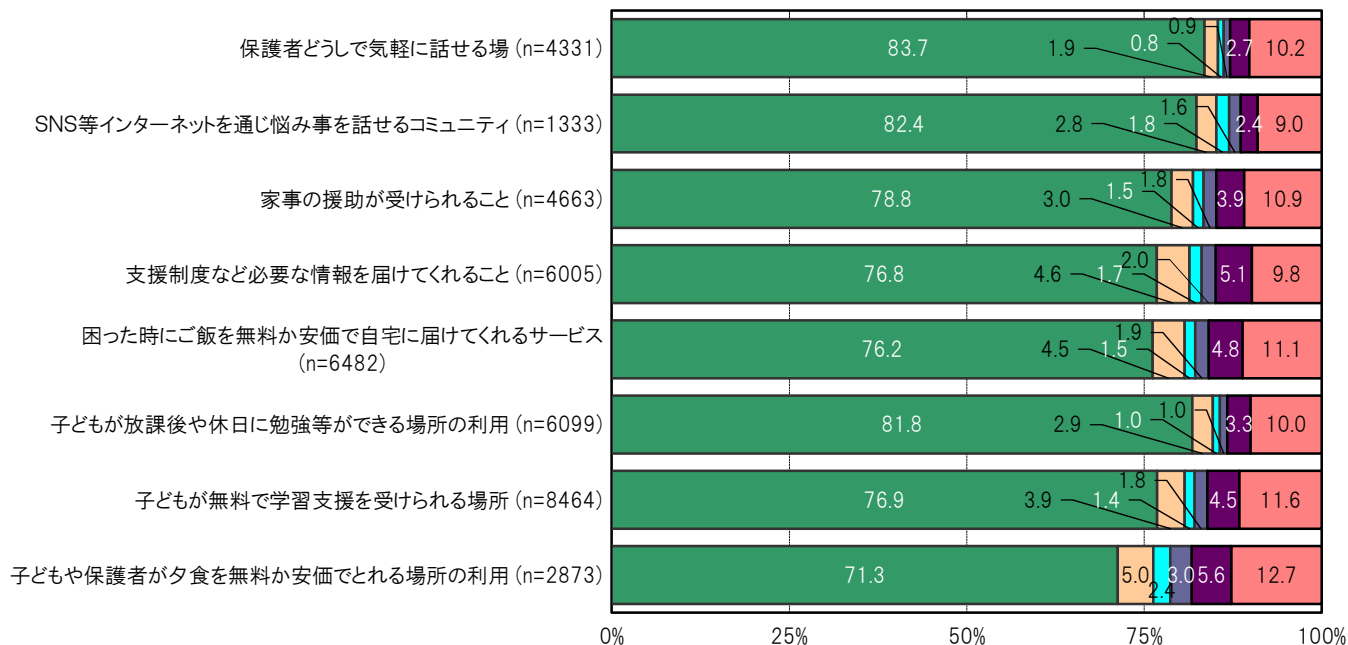
〔大阪市大正区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



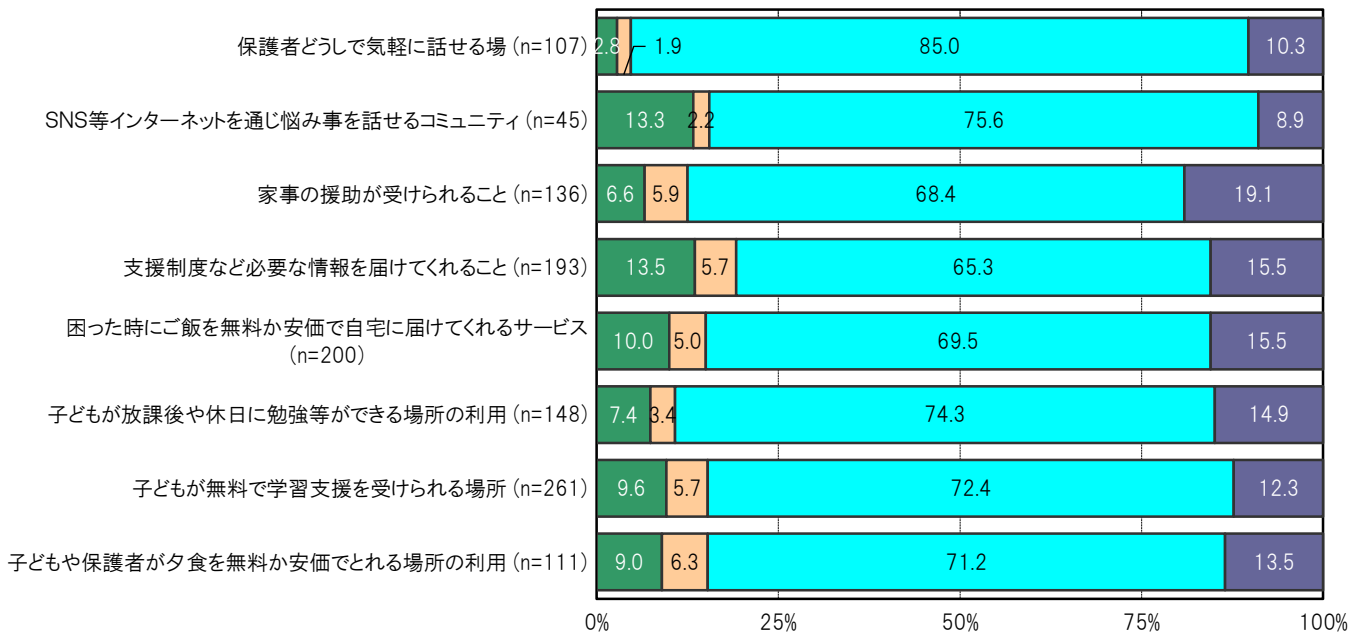
**A-202.身近にあると思うもの別にみた支援制度の利用状況／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市大正区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」10.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」5.0%、「利用したことがない」69.5%、となっている。

大阪市大正区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」9.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」5.7%、「利用したことがない」72.4%、となっている。

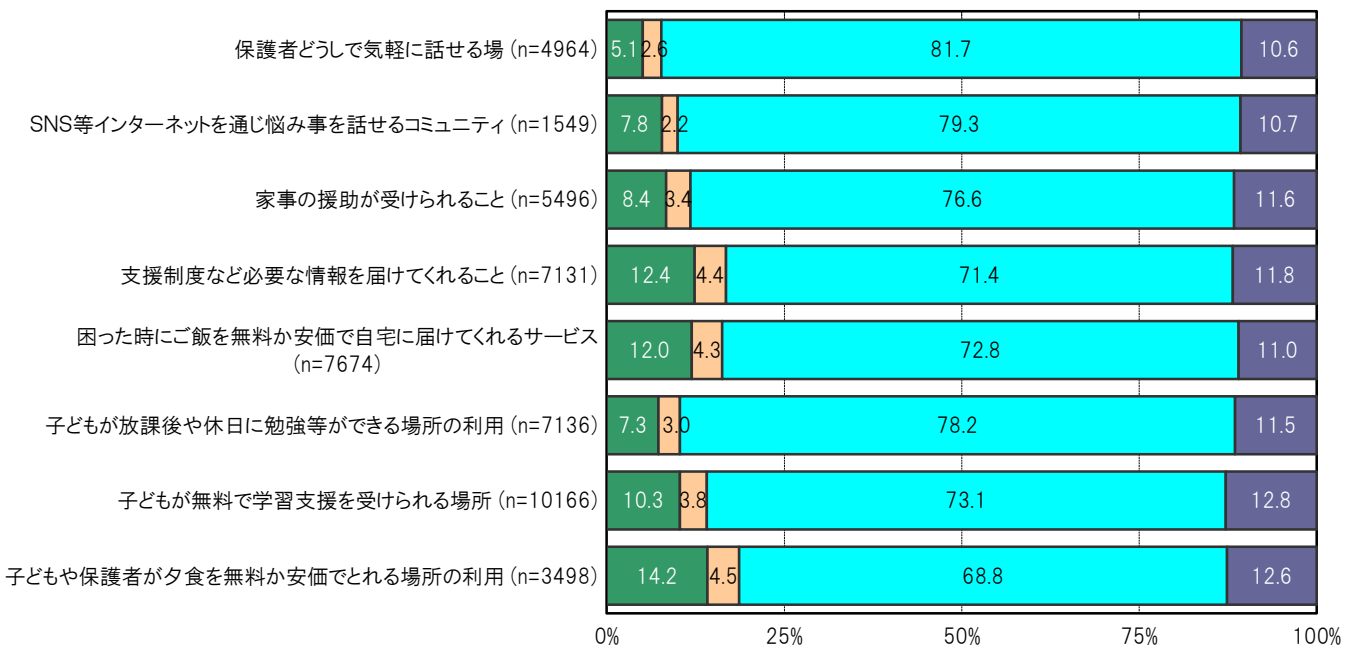
〔大阪市大正区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



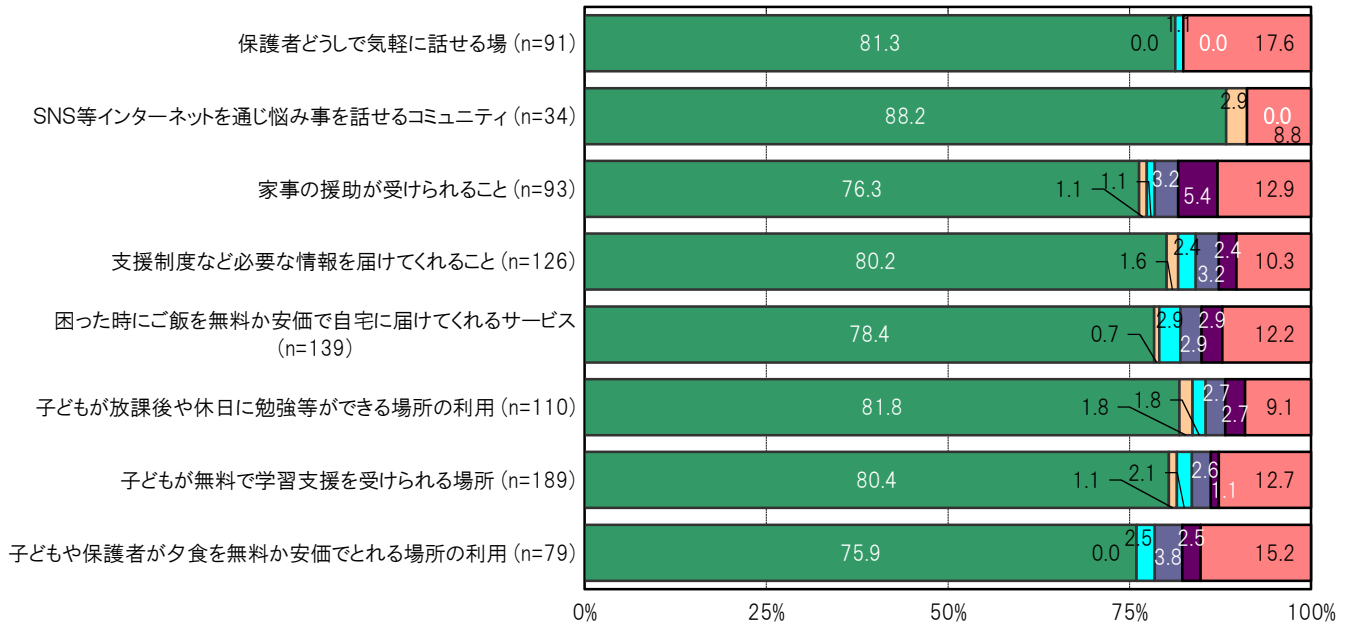
**A-203.身近にあると思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市大正区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」78.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.7%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」2.9%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.9%、「それ以外の理由」2.9%となっている。

大阪市大正区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」80.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」1.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」2.1%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.6%、「それ以外の理由」1.1%となっている。

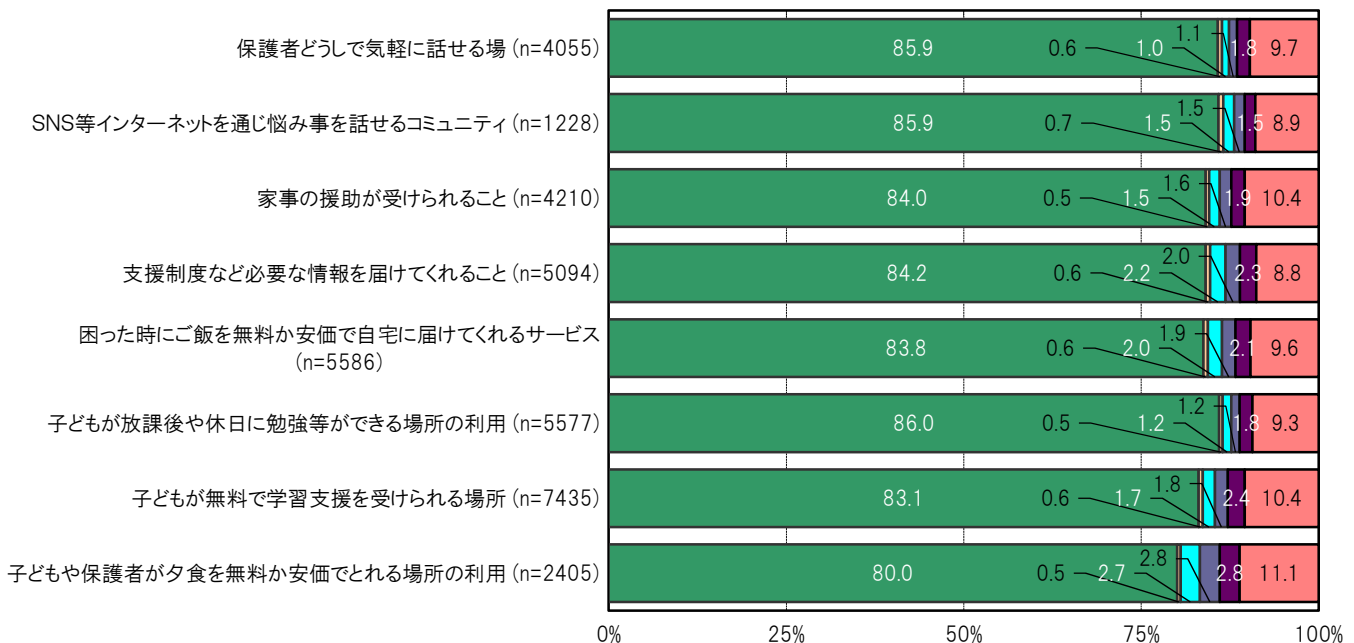
〔大阪市大正区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



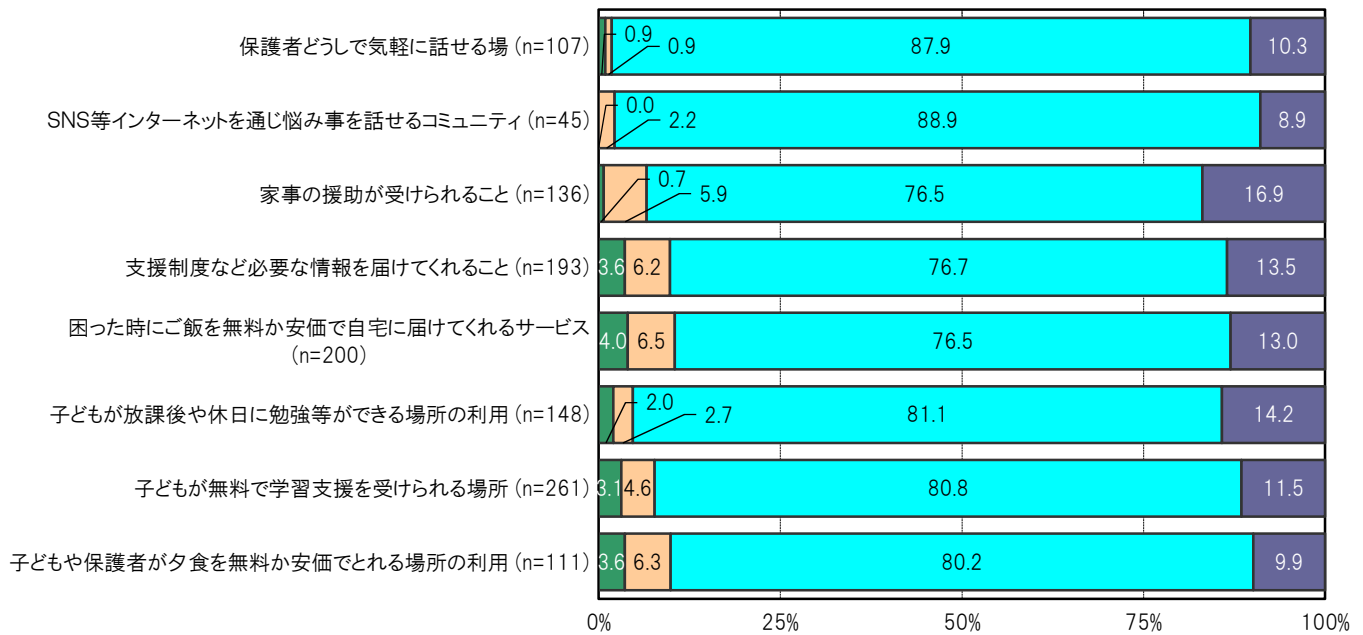
**A-204.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度の利用状況／
新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市大正区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」4.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」6.5%、「利用したことがない」76.5%、となっている。

大阪市大正区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」3.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」4.6%、「利用したことがない」80.8%、となっている。

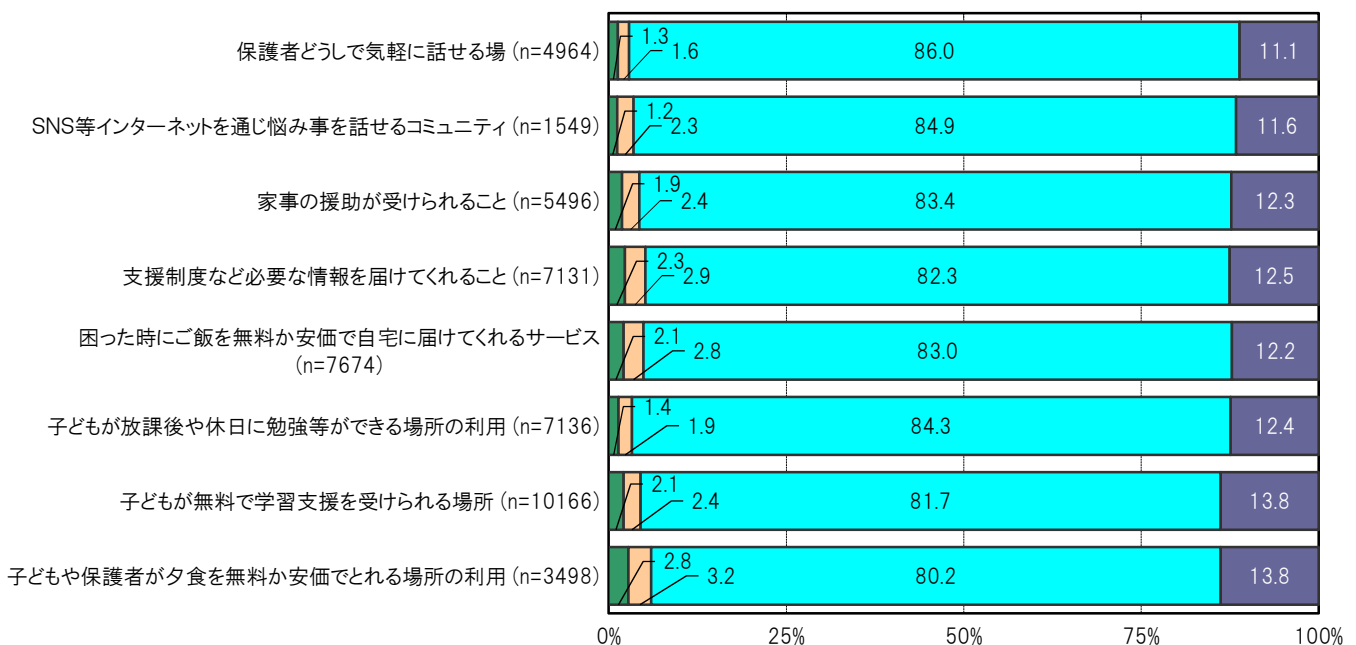
〔大阪市大正区／身近にあると良いと思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



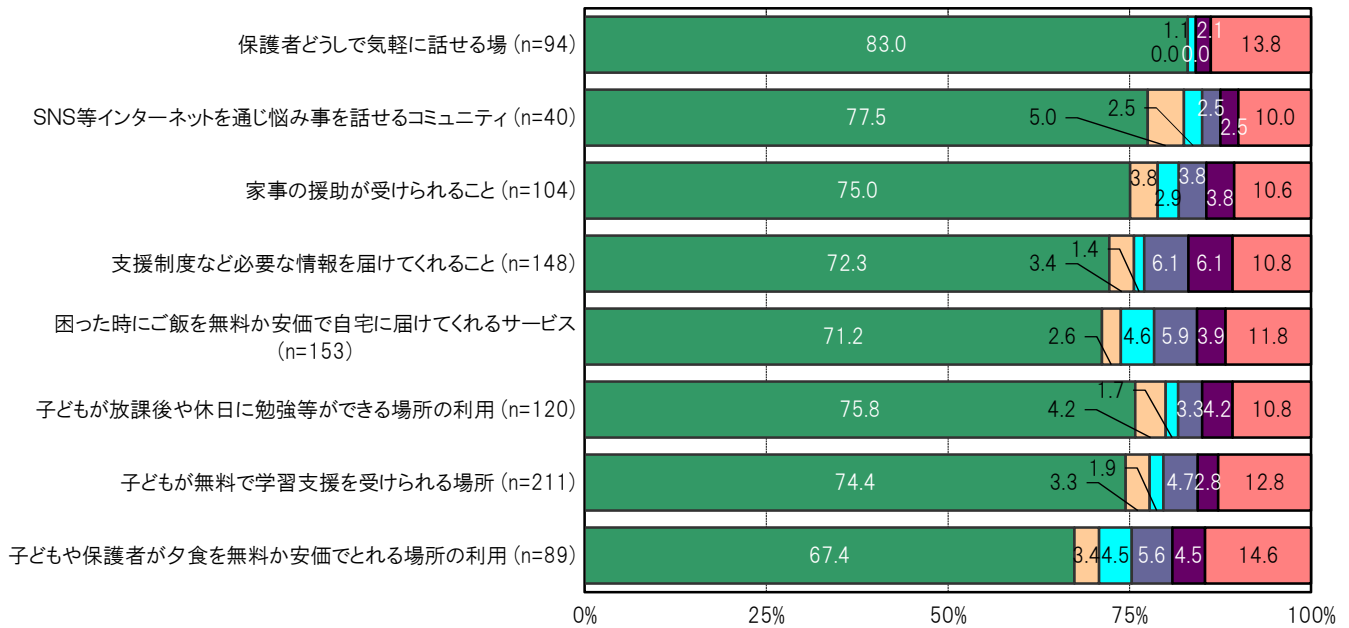
**A-205.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市大正区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」71.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.6%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」4.6%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」5.9%、「それ以外の理由」3.9%となっている。

大阪市大正区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」74.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」3.3%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.9%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」4.7%、「それ以外の理由」2.8%となっている。

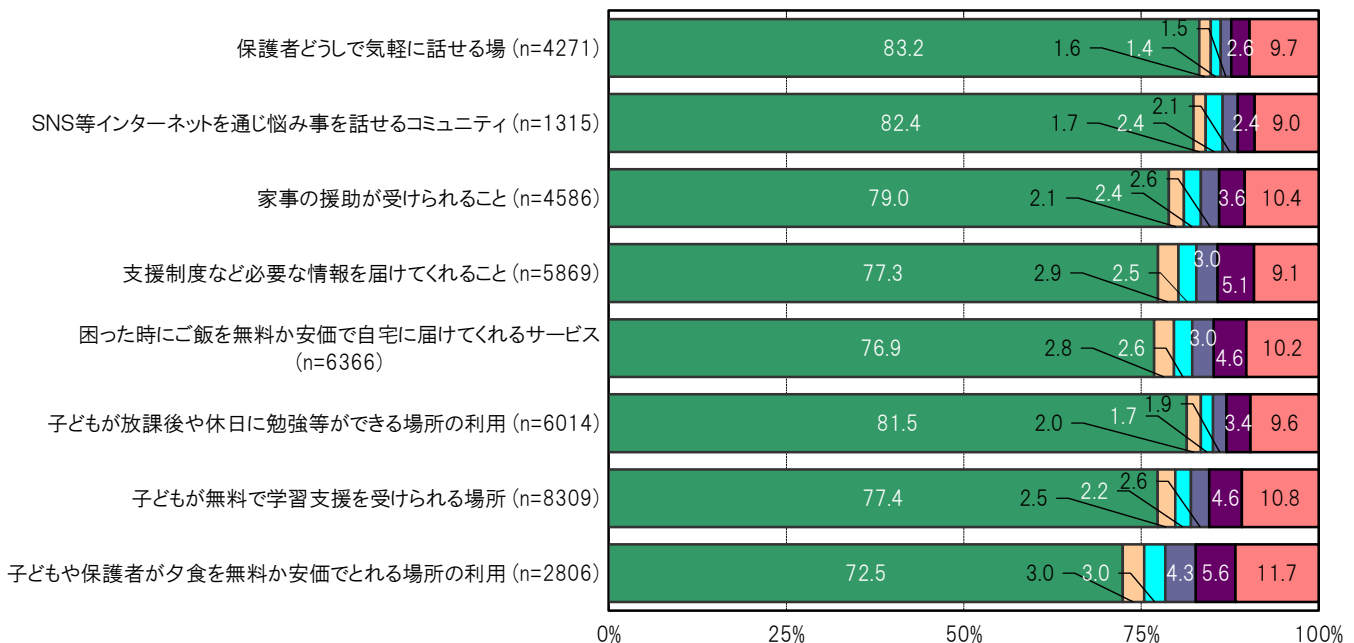
〔大阪市大正区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔家庭状況(制度等)に関する考察〕

困窮度と就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が19.0%となっている。困窮度Ⅰでは、55.4%が利用しているが、利用したことがない人が31.1%も見られる。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で62.5%、困窮度Ⅰで76.0%、困窮度Ⅱで62.5%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で1.5%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰでは、5.4%、困窮度Ⅱでは4.3%となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。いずれにしても、社会保障制度の捕捉率を上げるために、給付を必要な世帯が利用しやすいような各制度の要件緩和、手続きの簡素化等の施策が求められている。

離婚相手との養育費の受け取りの状況について、全体で、取り決めているかどうかにかかわらず、「養育費を受け取っていない群(67.9%)」は「養育費を受け取っている群(24.7%)」と比べて明らかに多い傾向が見られる。また、ひとり親世帯では「取り決めているし、養育費を受け取っていない」の割合が約半数である。ひとり親家庭等就業・自立支援センターでは養育費の取り決めに関する相談もできるため、周知することが重要となる。

困窮度と初めて親になった年齢について、特に困窮度Ⅰの母親は「10代」で初めて親になった割合が14.1%と飛び抜けて多く、続いて「20~23歳」が28.1%、「24~26歳」が20.3%で、若くして母親になった層が困窮している傾向が見られる。

初めて親となった年齢と最終学歴について、母親は「10代」で出産した場合、「中学校卒業」の人が37.9%、「高等学校中途退学」が24.1%と高い傾向にある。一方、出産年齢が上がるにつれて「高専、短大、専門学校等卒業」の割合が高くなり、「35~39歳」は55.6%になっている。初めて親となった年齢が「10代」の父親では、「中学校卒業」の割合が30.0%で、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても学修を中断せず継続できるような学修面でのサポート体制、子育て支援が求められる。また学びを一時中断した者についても、あとからでも「学び直し」を可能にするような学修機会の提供等が求められる。

初めて親になった年齢と母親の「自分の体や気持ちについて気になること」は、「10代」と20代の各階層で、「不安な気持ちになる」が30%以上であり、31歳以上の各階層よりも高くなっている。また、「10代」の場合「ねむれない」(29.0%)が他の世代と比べて多く見られる。相談機関の充実など、各種支援の拡充が必要と考えられる。

住居の形態と2022年の家計状況については、「赤字である」と回答した割合が、「民間の賃貸住宅」で38.5%、「府営・市営の住宅」で29.6%である。また、子どものための貯蓄状況については、「貯蓄をしたいが、できていない」の割合が「民間の賃貸住宅」で59.3%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」で53.3%、「府営・市営の住宅」で51.9%と経済的余裕のなさが示されている。家賃分の負担軽減に加えて、生活費部分の経済的支援の必要性が示されている。

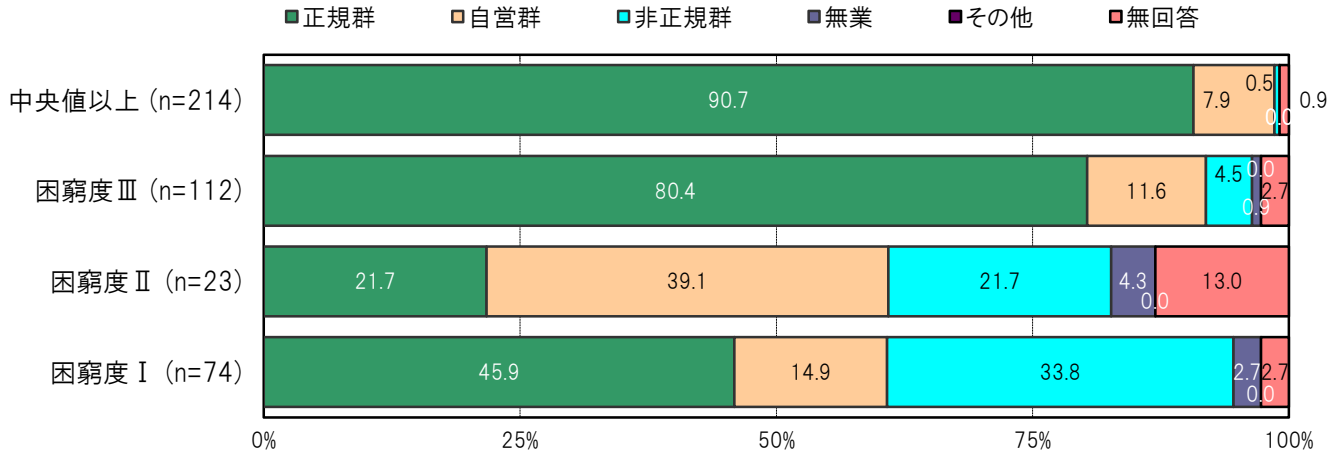
3-3.雇用

A-206.困窮度別にみた就労状況【保護者 就労状況】

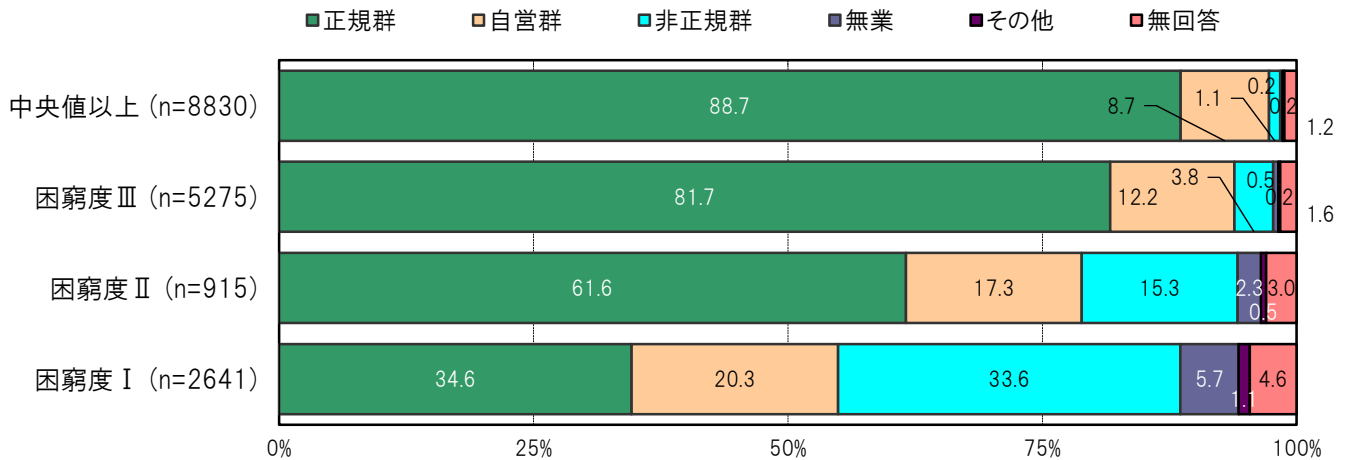
大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「正規群」45.9%、「自営群」14.9%、「非正規群」33.8%、「無業」2.7%、「その他」0.0%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「正規群」90.7%、「自営群」7.9%、「非正規群」0.5%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

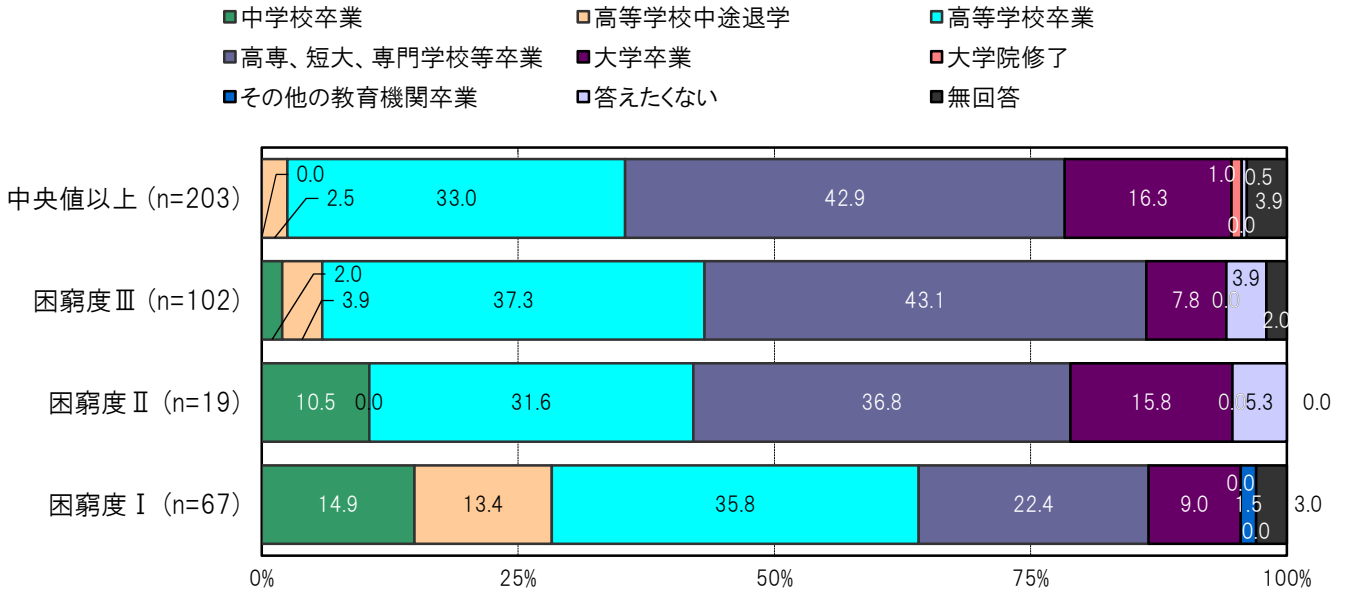


A-207. 困窮度別にみた母親の最終学歴【保護者 問9】

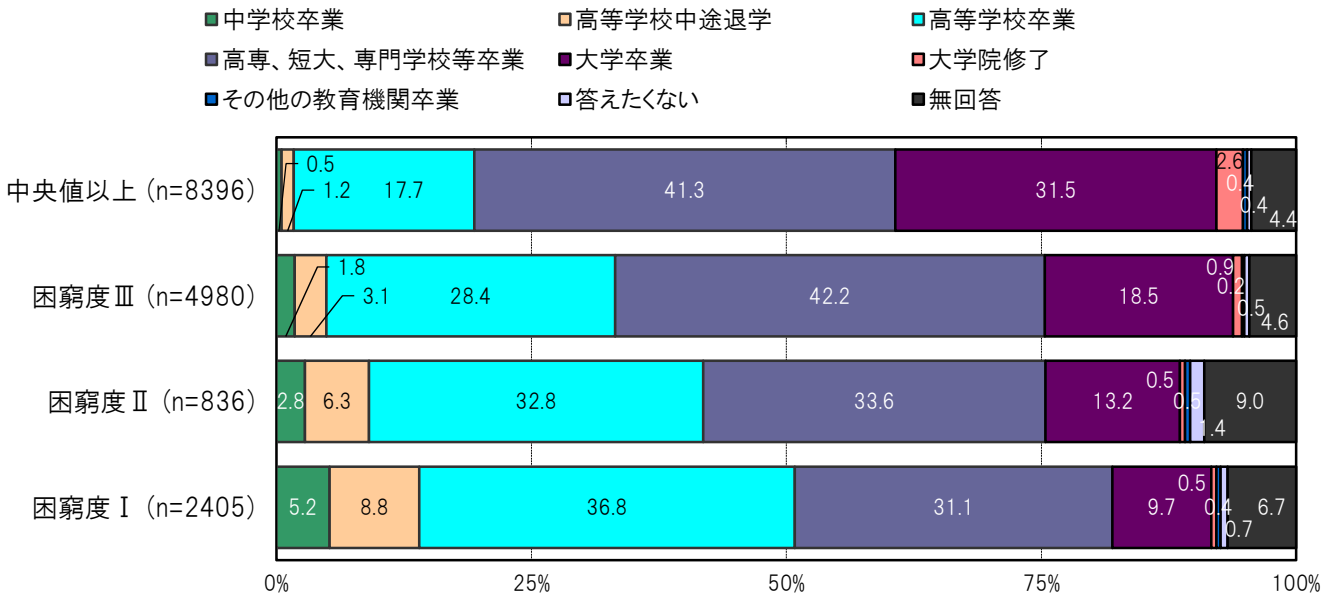
大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」14.9%、「高等学校中途退学」13.4%、「高等学校卒業」35.8%、「高専、短大、専門学校等卒業」22.4%、「大学卒業」9.0%、「大学院修了」0.0%、「その他の教育機関卒業」1.5%、「答えたくない」0.0%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「中学校卒業」0.0%、「高等学校中途退学」2.5%、「高等学校卒業」33.0%、「高専、短大、専門学校等卒業」42.9%、「大学卒業」16.3%、「大学院修了」1.0%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」0.5%となっている。

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

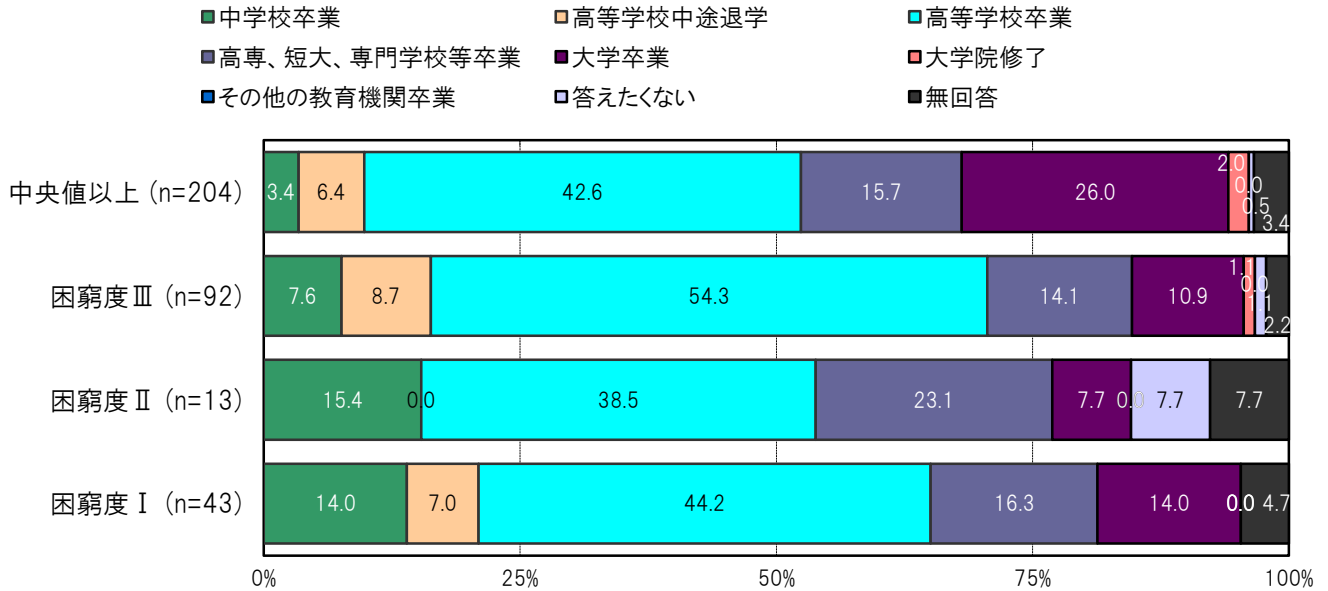


A-208. 困窮度別にみた父親の最終学歴【保護者 問9】

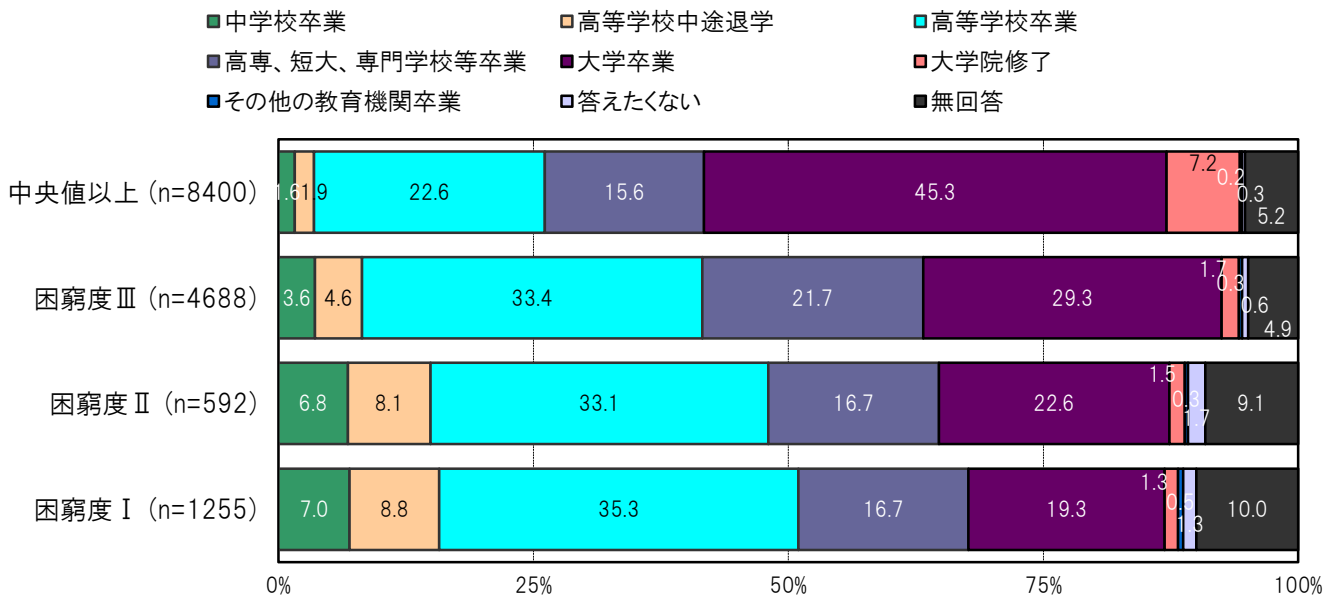
大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」14.0%、「高等学校中途退学」7.0%、「高等学校卒業」44.2%、「高専、短大、専門学校等卒業」16.3%、「大学卒業」14.0%、「大学院修了」0.0%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」0.0%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「中学校卒業」3.4%、「高等学校中途退学」6.4%、「高等学校卒業」42.6%、「高専、短大、専門学校等卒業」15.7%、「大学卒業」26.0%、「大学院修了」0.0%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」0.5%となっている。

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

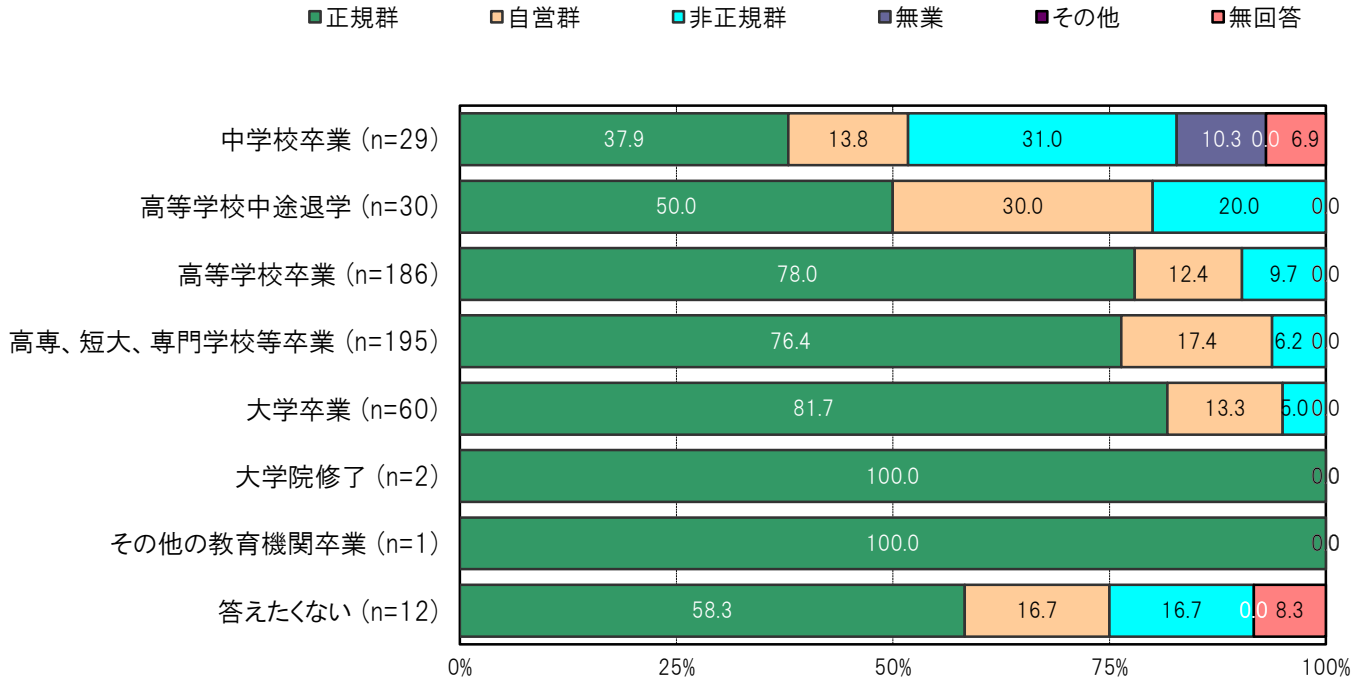


A-209.母親の最終学歴別に見た就労状況〔保護者 就労状況〕

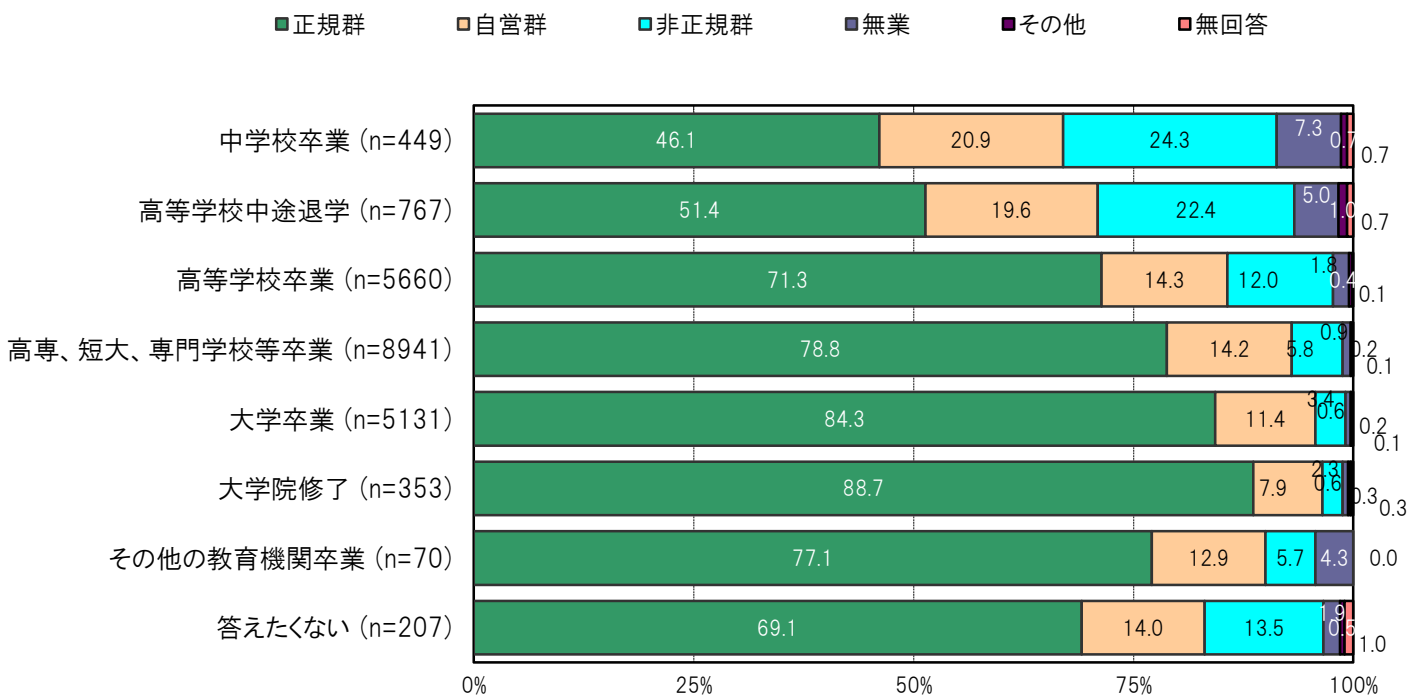
大阪市大正区の母親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」76.4%、「自営群」17.4%、「非正規群」6.2%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

大阪市大正区の母親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」81.7%、「自営群」13.3%、「非正規群」5.0%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市大正区／母親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／母親の最終学歴別〕

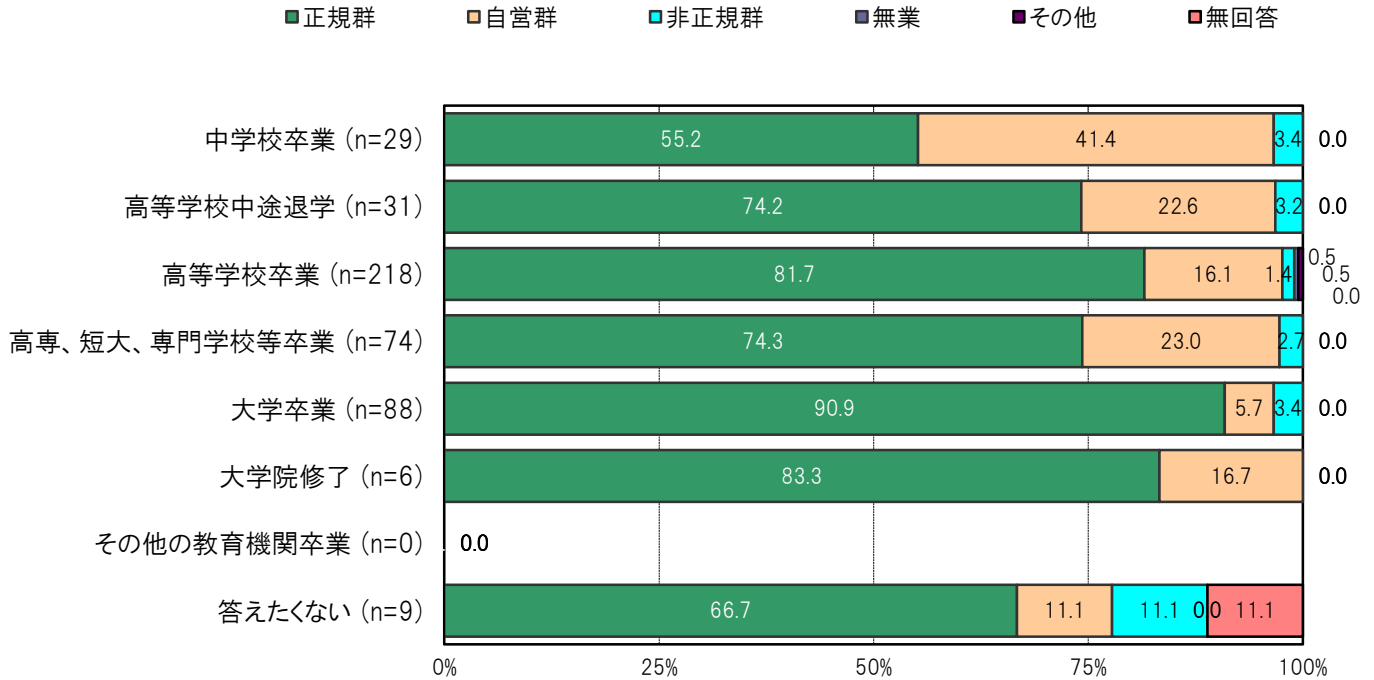


A-210.父親の最終学歴別に見た就労状況〔保護者 就労状況〕

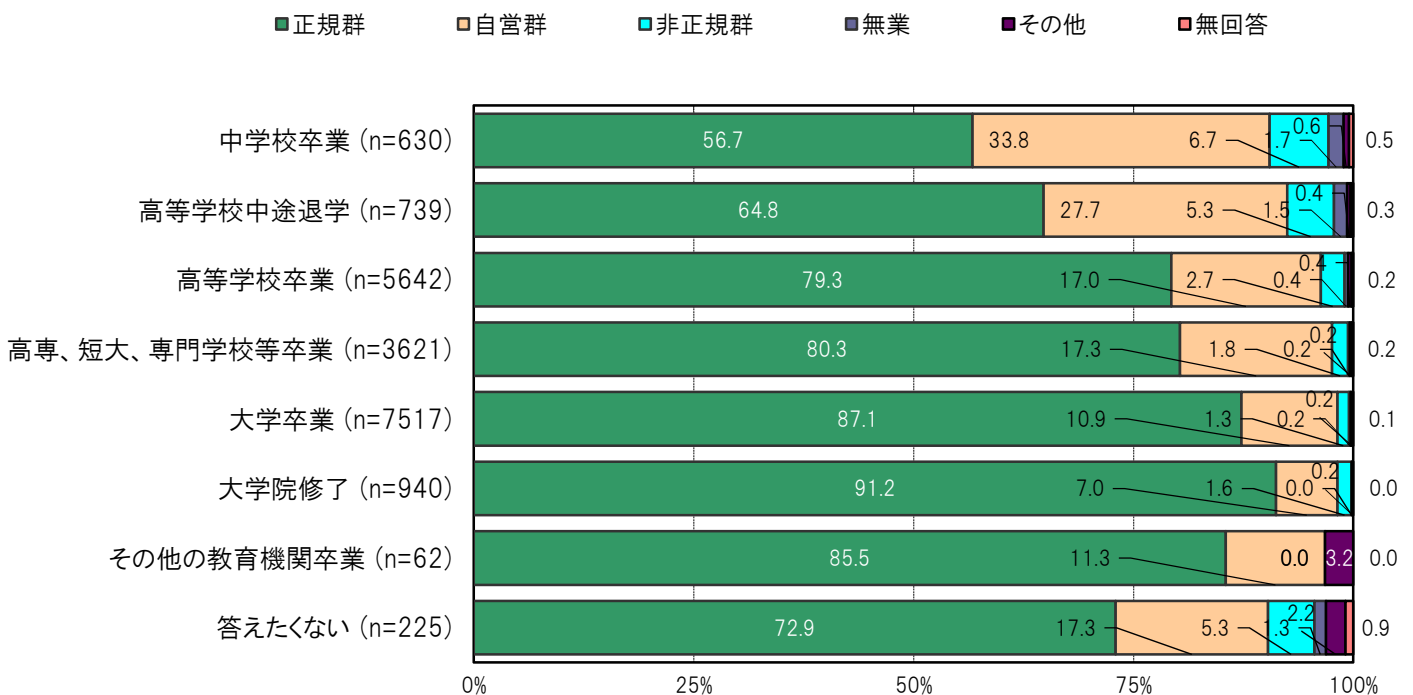
大阪市大正区の父親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」74.3%、「自営群」23.0%、「非正規群」2.7%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

大阪市大正区の父親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」90.9%、「自営群」5.7%、「非正規群」3.4%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市大正区／父親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／父親の最終学歴別〕

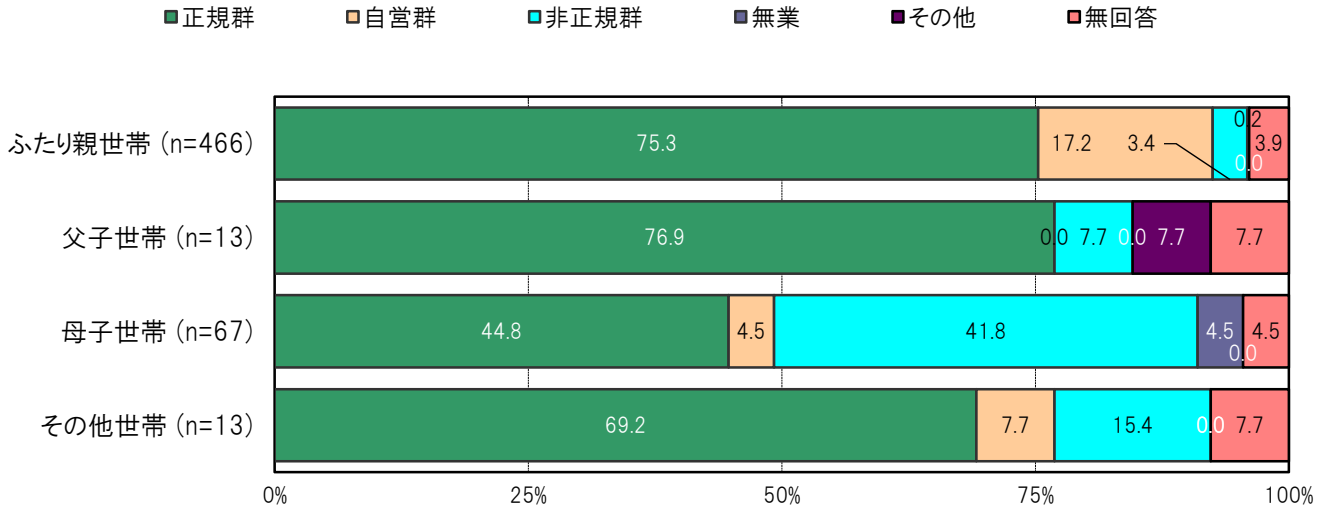


A-211.世帯構成別に見た就労状況【保護者 就労状況】

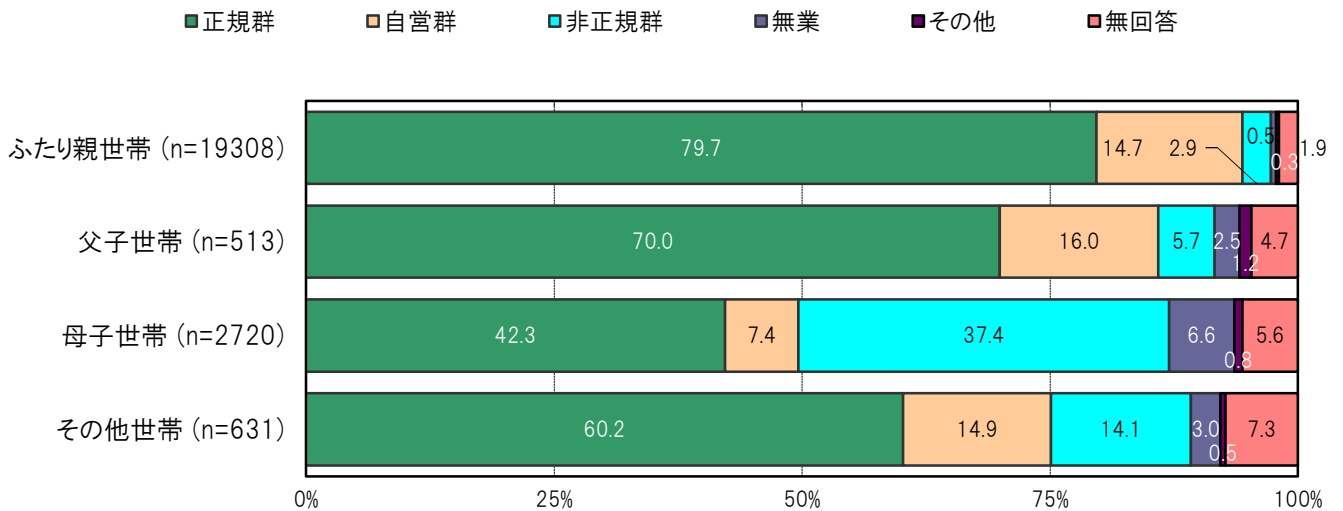
大阪市大正区の世帯状況／ふたり親世帯群においては、「正規群」75.3%、「自営群」17.2%、「非正規群」3.4%、「無業」0.2%、「その他」3.9%、「その他」0.0%となっている。

大阪市大正区の世帯状況／母子世帯群においては、「正規群」44.8%、「自営群」4.5%、「非正規群」41.8%、「無業」4.5%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市大正区／世帯構成別〕



〔大阪市24区／世帯構成別〕

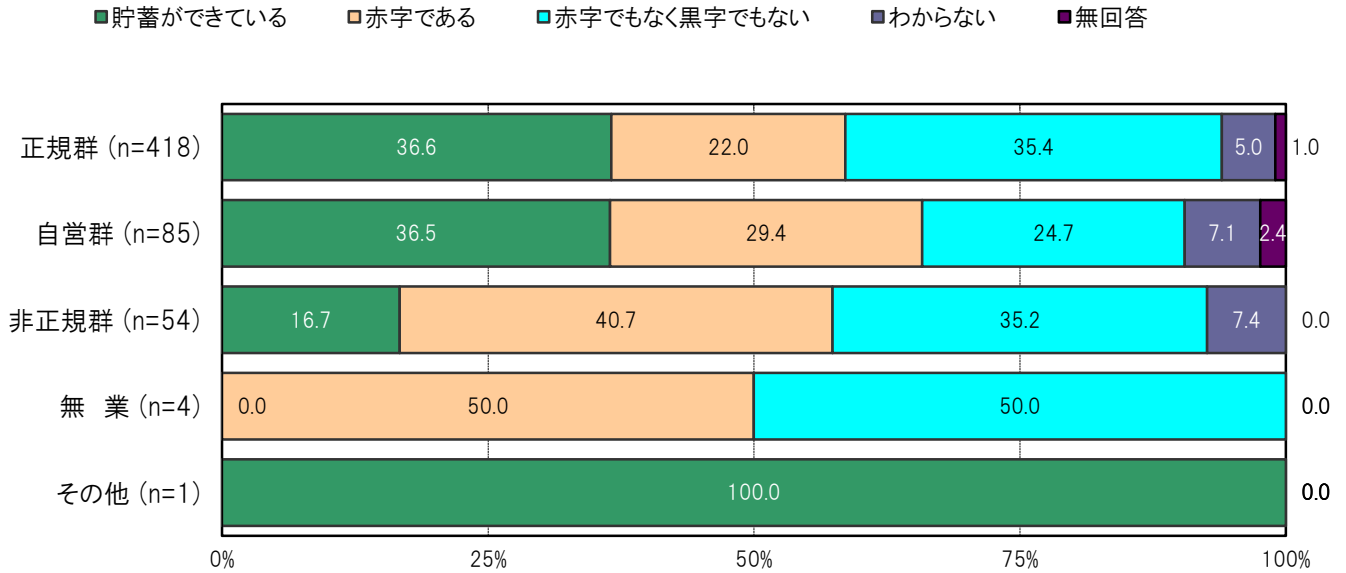


A-212.就労状況別にみた2022年の家計状況【保護者 問7(1)】

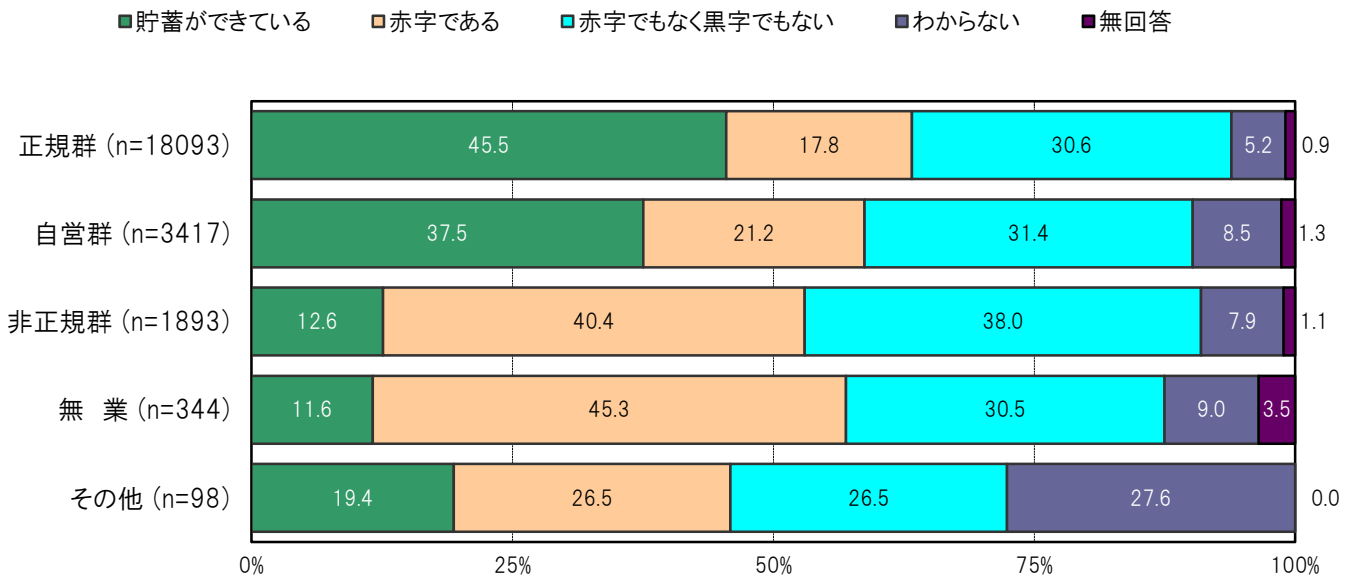
大阪市大正区の就労状況／正規群においては、「貯蓄ができています」36.6%、「赤字である」22.0%、「赤字でもなく黒字でもない」35.4%、「わからない」5.0%となっている。

大阪市大正区の就労状況／自営群においては、「貯蓄ができています」36.5%、「赤字である」29.4%、「赤字でもなく黒字でもない」24.7%、「わからない」7.1%となっている。

〔大阪市大正区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



〔雇用に関する考察〕

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。保護者の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（90.7%対45.9%）が約45ポイント以上高くなっている。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（33.8%対0.5%）が30ポイント以上高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校中途退学」群（13.4%対2.5%）は10ポイント以上高くなっている。一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（16.3%対9.0%）は約2倍となっている。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「中学校卒業」群（14.0%対3.4%）は10ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（26.0%対14.0%）は10ポイント以上となっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「中学校卒業」群と比べ、「正規」群（81.7%対37.9%）は40ポイント以上高くなっている。母親の就労状況において、「中学校卒業」群は「大学卒業」群と比べ、「非正規」群（31.0%対5.0%）は25ポイント以上高く、大きな開きがある。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目する。「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄が出来ている」（36.6%対16.7%）は20ポイント高くなっている。また、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（40.7%対22.0%）は約2倍である。この結果から、保護者の就労状況が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

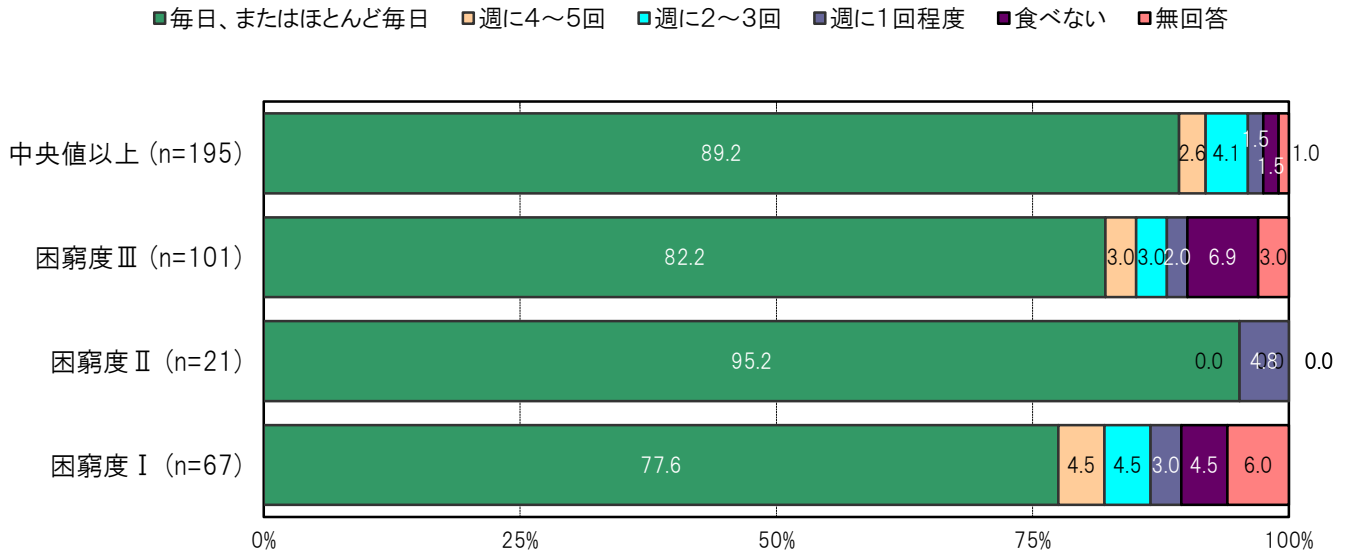
3-4.健康

A-213.困窮度別にみた朝食を食べる頻度〔子ども 問4(1)〕

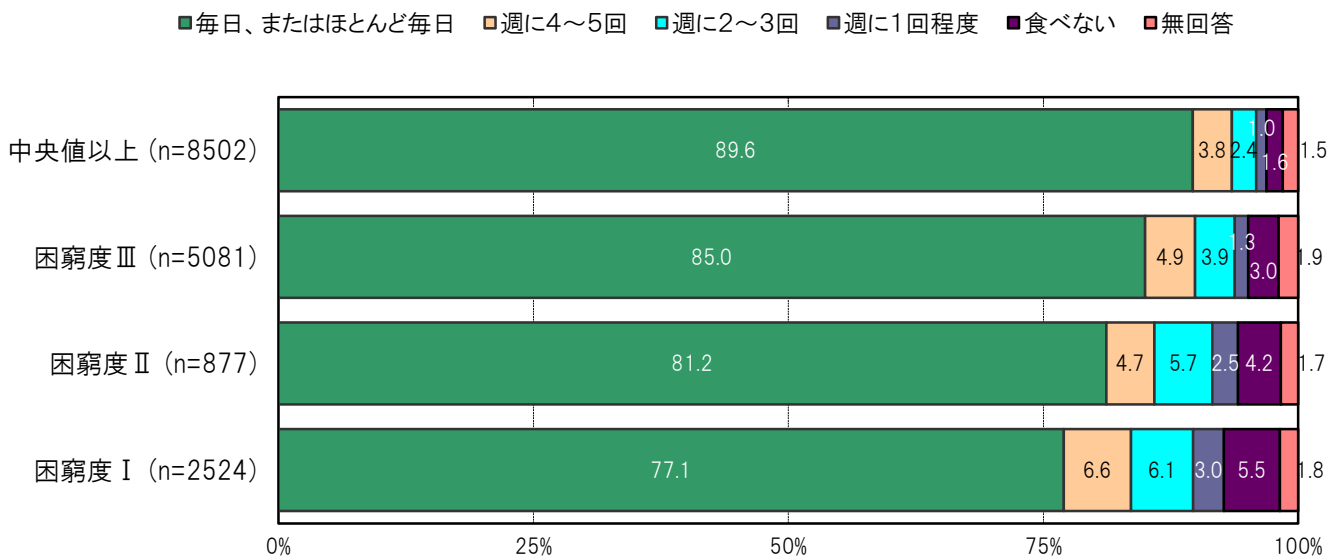
大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「毎日、またはほとんど毎日」77.6%、「週に4～5回」4.5%、「週に2～3回」4.5%、「週に1回程度」3.0%、「食べない」4.5%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「毎日、またはほとんど毎日」89.2%、「週に4～5回」2.6%、「週に2～3回」4.1%、「週に1回程度」1.5%、「食べない」1.5%となっている。

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

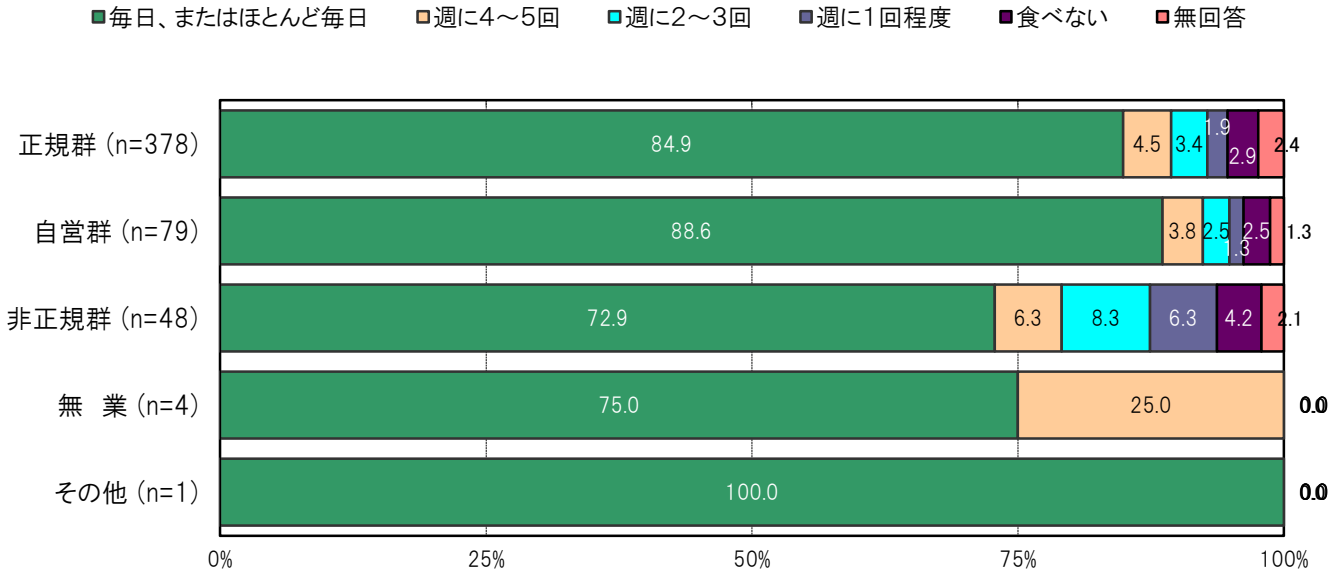


A-214.就労状況別にみた朝食を食べる頻度【子ども 問4(1)】

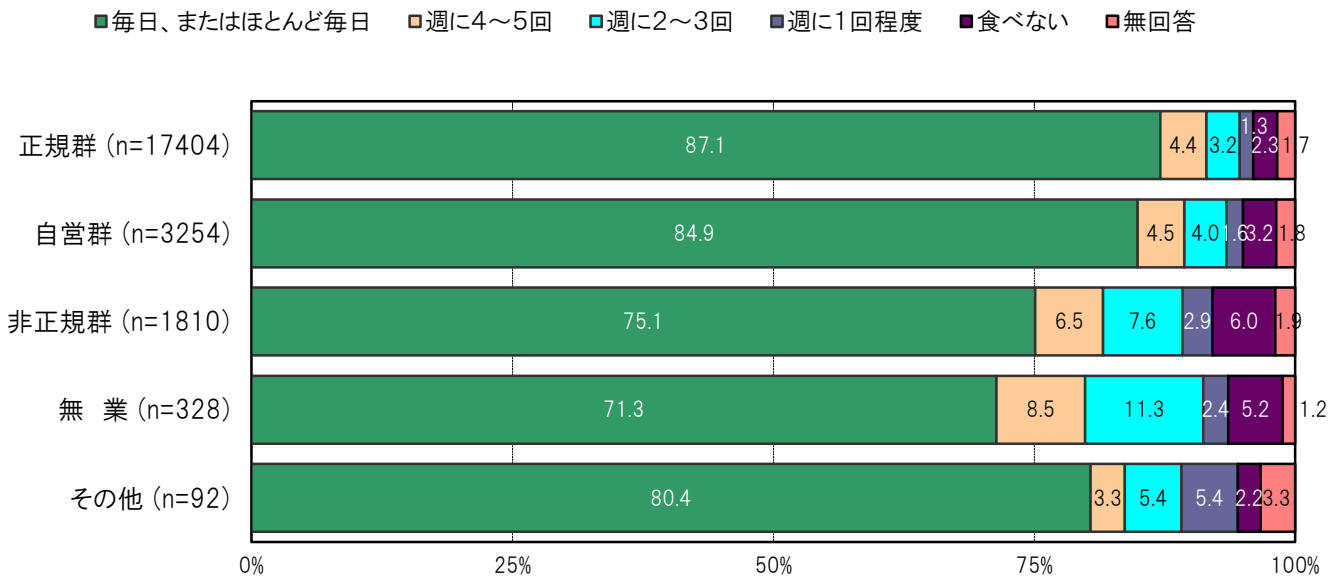
大阪市大正区の就労状況／正規群においては、「毎日、またはほとんど毎日」84.9%、「週に4～5回」4.5%、「週に2～3回」3.4%、「週に1回程度」1.9%、「食べない」2.9%となっている。

大阪市大正区の就労状況／自営群においては、「毎日、またはほとんど毎日」88.6%、「週に4～5回」3.8%、「週に2～3回」2.5%、「週に1回程度」1.3%、「食べない」2.5%となっている。

〔大阪市大正区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

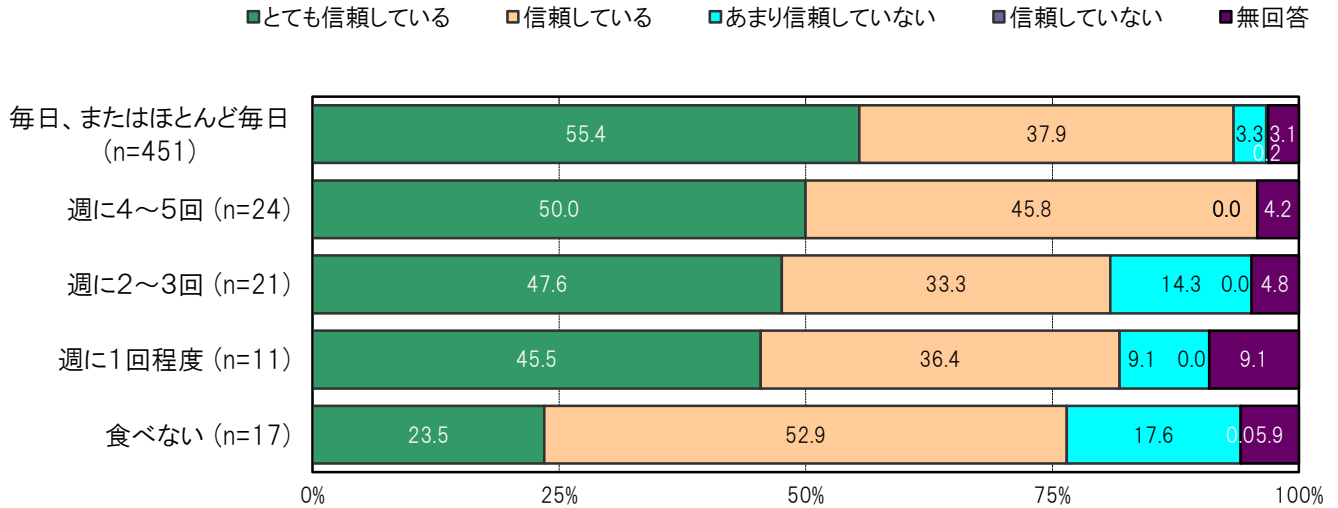


A-215.朝食を食べる頻度別 子どもを信頼しているか【保護者 問14(1)】

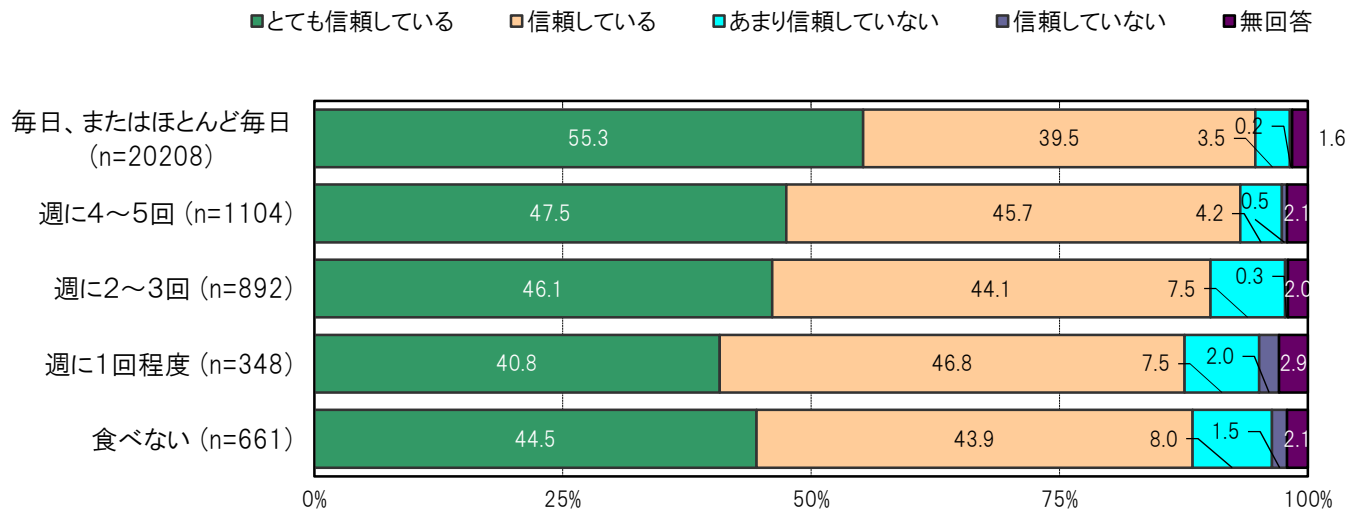
大阪市大正区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても信頼している」55.4%、「信頼している」37.9%、「あまり信頼していない」3.3%、「信頼していない」0.2%となっている。

大阪市大正区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても信頼している」50.0%、「信頼している」45.8%、「あまり信頼していない」0.0%、「信頼していない」4.2%となっている。

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

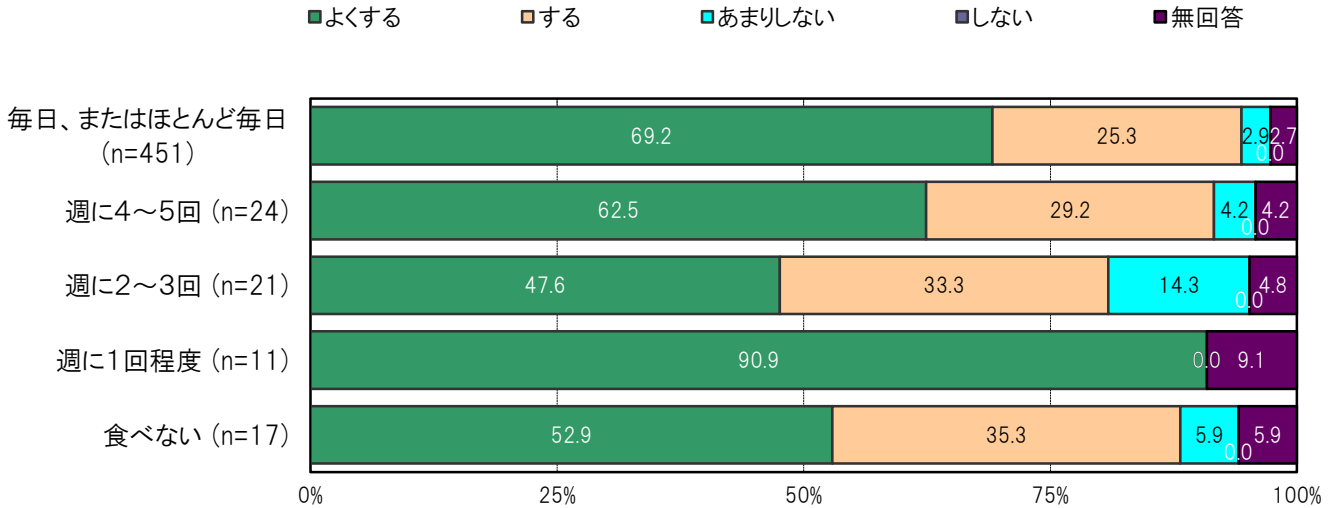


A-216.朝食を食べる頻度別 子どもとよく会話をするか【保護者 問14(2)】

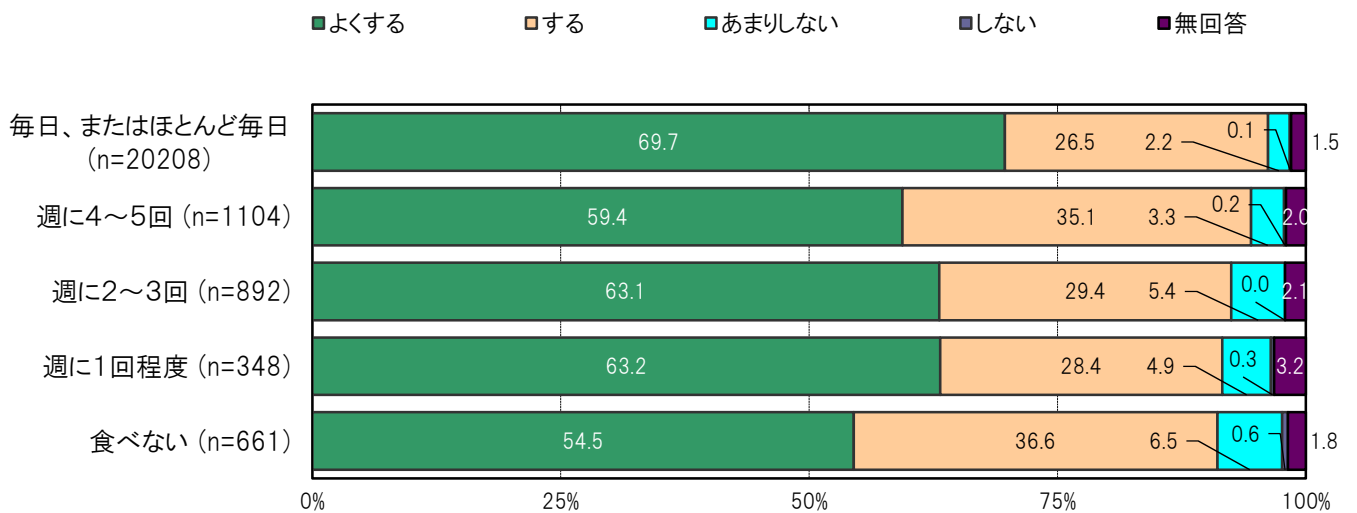
大阪市大正区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「よくする」69.2%、「する」25.3%、「あまりしない」2.9%、「しない」0.0%となっている。

大阪市大正区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「よくする」62.5%、「する」29.2%、「あまりしない」4.2%、「しない」4.2%、「しない」0.0%となっている。

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

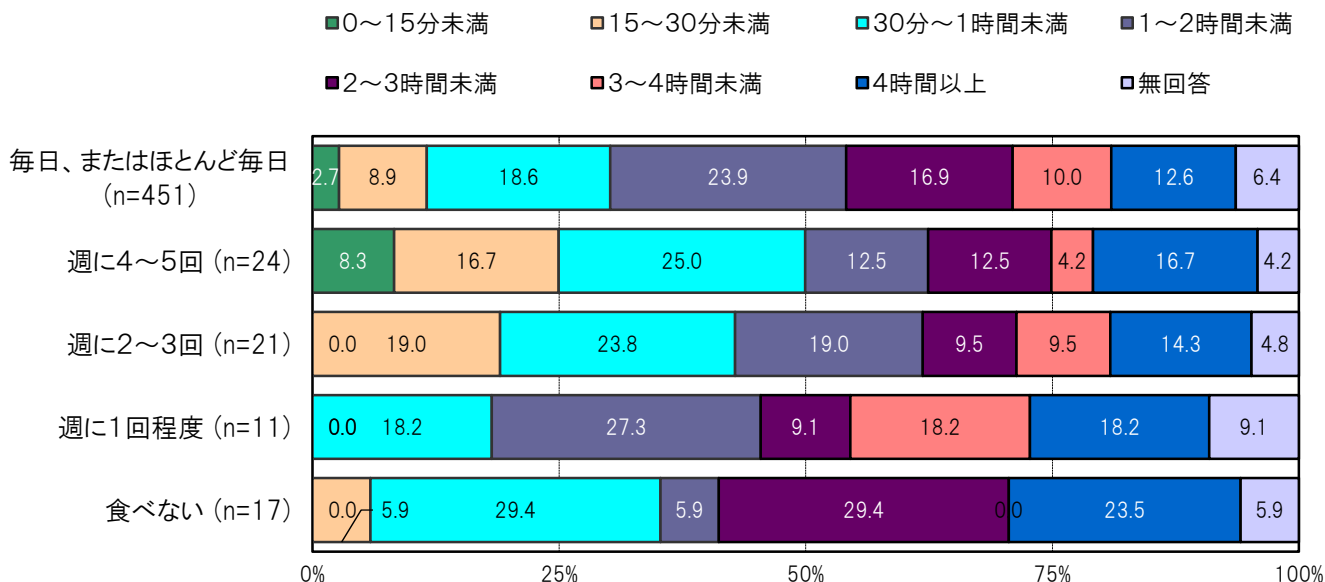


A-217.朝食を食べる頻度別 平日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

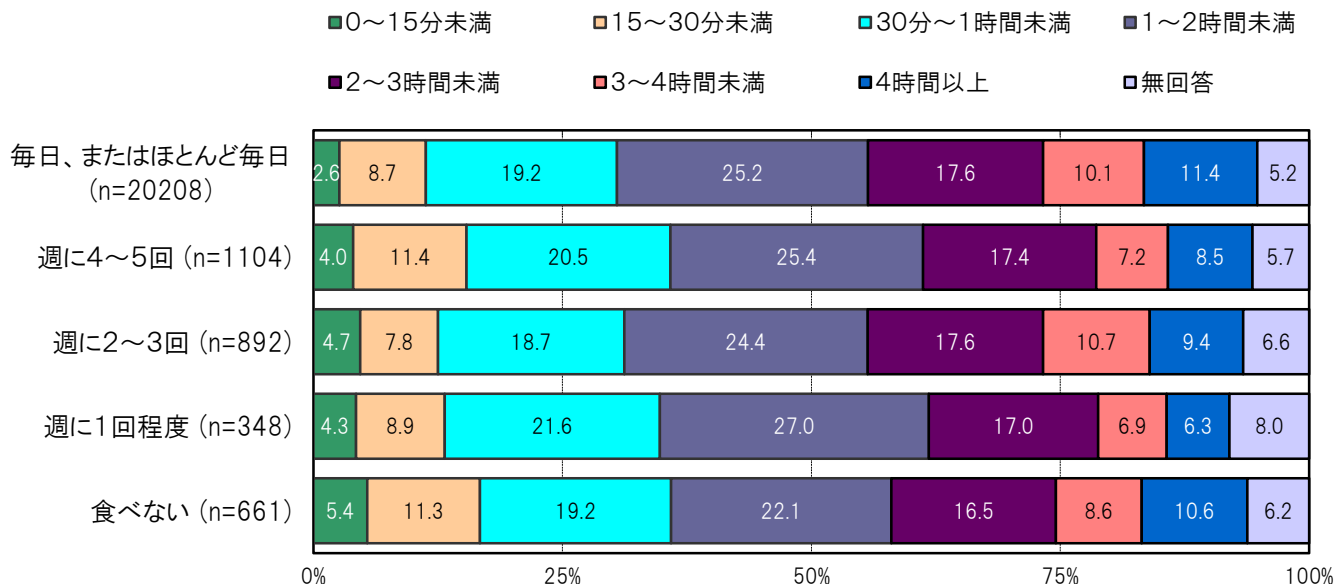
大阪市大正区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「0～15分未満」2.7%、「15～30分未満」8.9%、「30分～1時間未満」18.6%、「1～2時間未満」23.9%、「2～3時間未満」16.9%、「3～4時間未満」10.0%、「4時間以上」12.6%となっている。

大阪市大正区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「0～15分未満」8.3%、「15～30分未満」16.7%、「30分～1時間未満」25.0%、「1～2時間未満」12.5%、「2～3時間未満」12.5%、「3～4時間未満」4.2%、「4時間以上」16.7%となっている。

【大阪市大正区／朝食を食べる頻度別】



【大阪市24区／朝食を食べる頻度別】

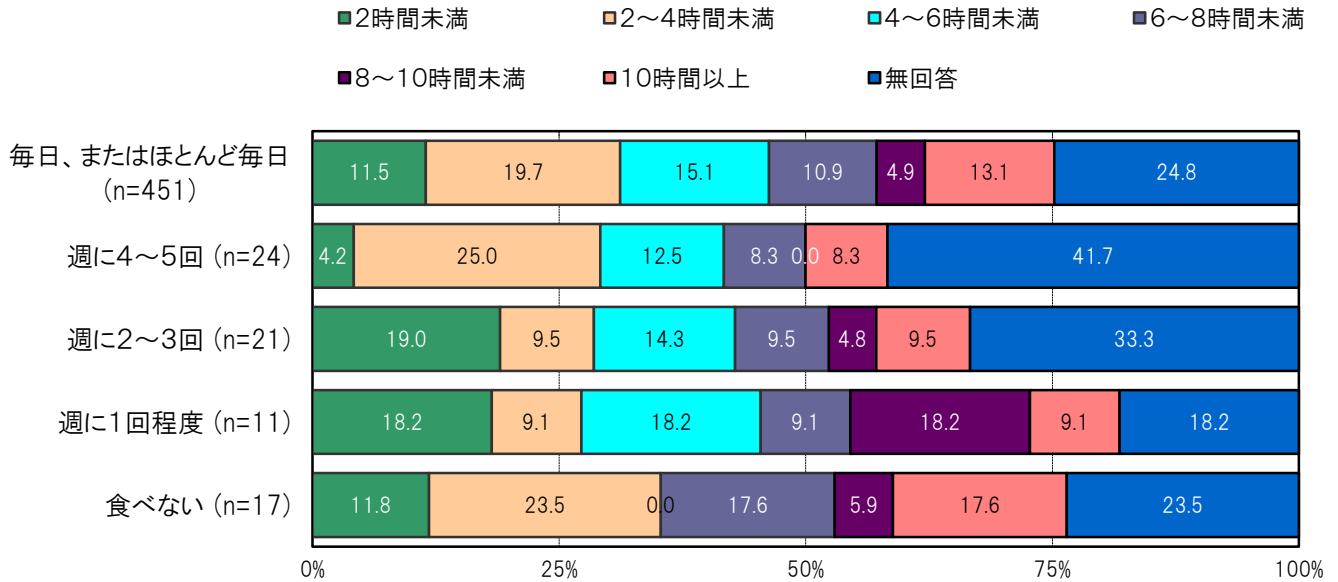


A-218.朝食を食べる頻度別 休日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

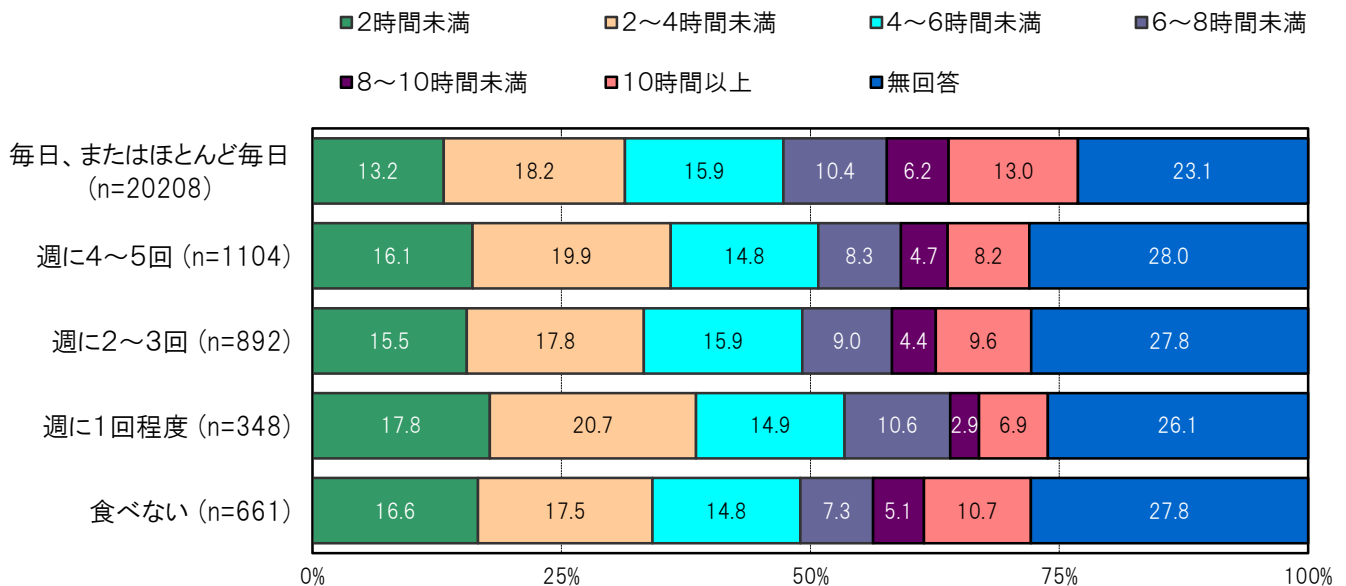
大阪市大正区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「2時間未満」11.5%、「2～4時間未満」19.7%、「4～6時間未満」15.1%、「6～8時間未満」10.9%、「8～10時間未満」4.9%、「10時間以上」13.1%となっている。

大阪市大正区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「2時間未満」4.2%、「2～4時間未満」25.0%、「4～6時間未満」12.5%、「6～8時間未満」8.3%、「8～10時間未満」0.0%、「10時間以上」8.3%となっている。

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

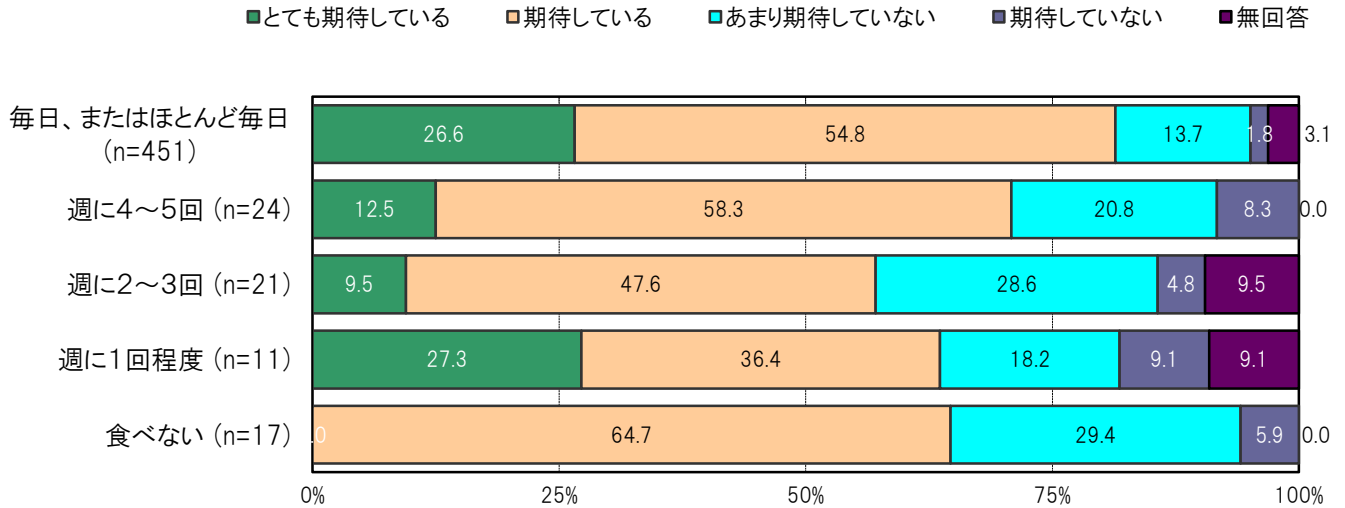


A-219.朝食を食べる頻度別 子どもの将来に期待しているか【保護者 問14(4)】

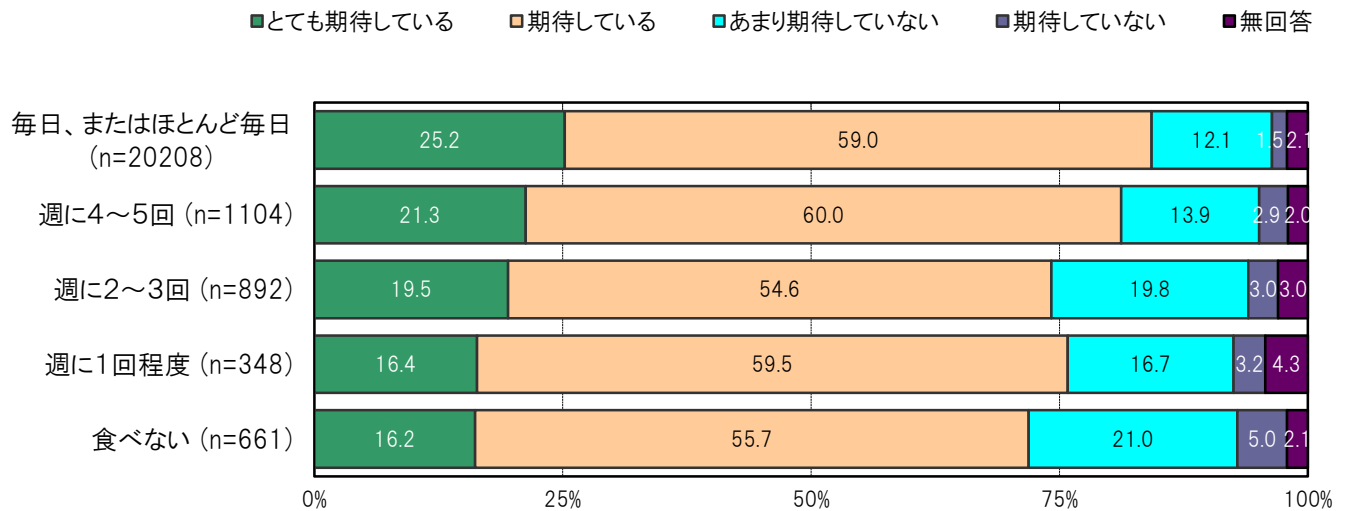
大阪市大正区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても期待している」26.6%、「期待している」54.8%、「あまり期待していない」13.7%、「期待していない」1.8%となっている。

大阪市大正区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても期待している」12.5%、「期待している」58.3%、「あまり期待していない」20.8%、「期待していない」8.3%となっている。

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

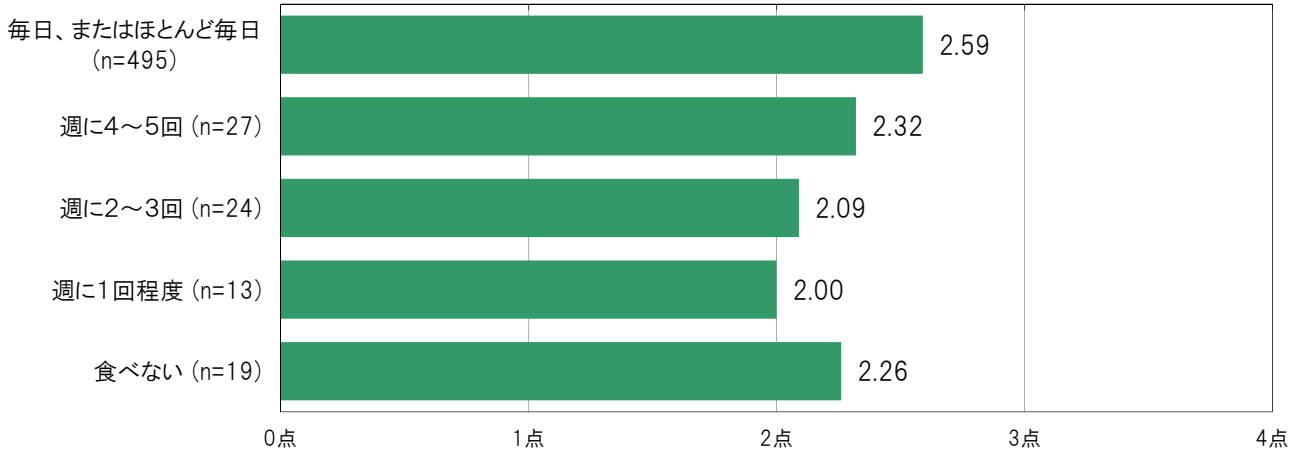


A-220.朝食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

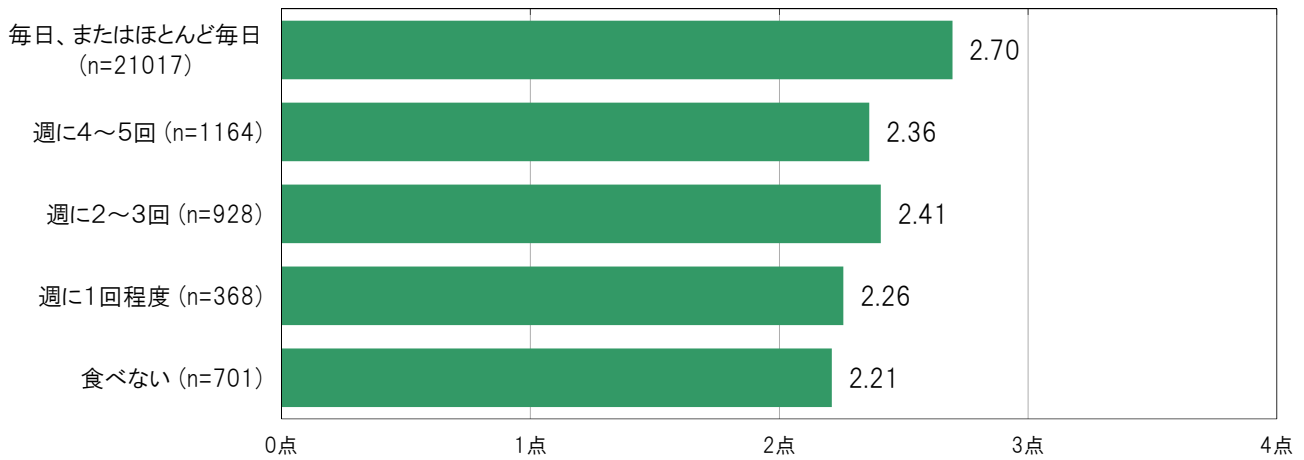
大阪市大正区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.59点、「週に4～5回」2.32点、「週に2～3回」2.09点、「週に1回程度」2.00点、「食べない」2.26点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところ」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

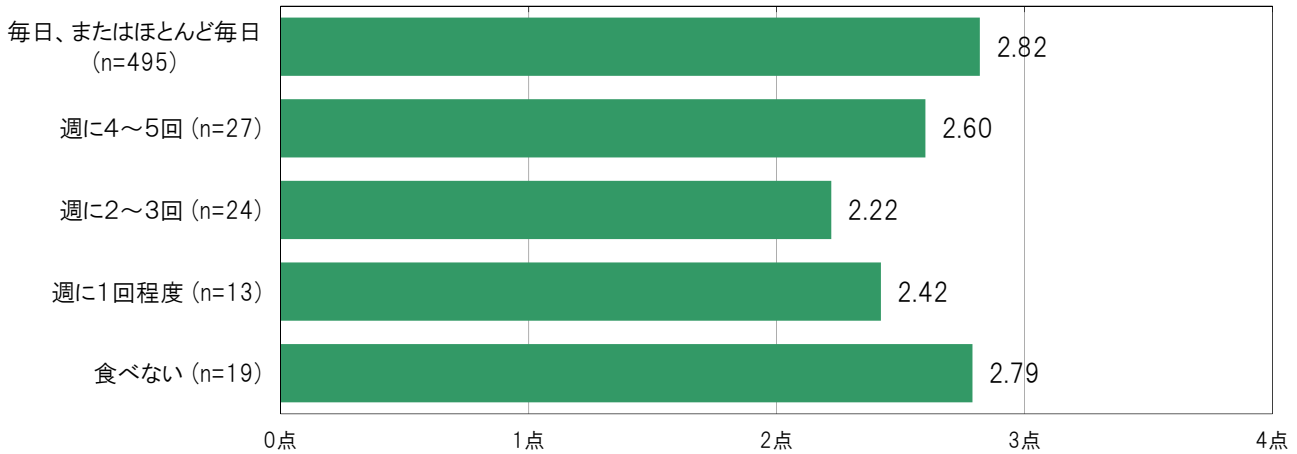


A-221.朝食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

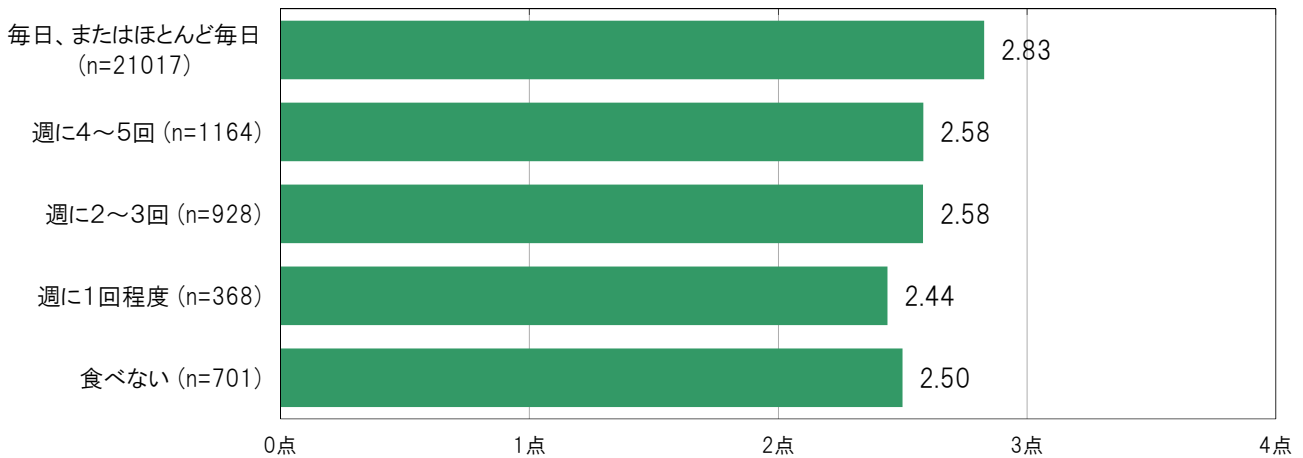
大阪市大正区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.82点、「週に4～5回」2.60点、「週に2～3回」2.22点、「週に1回程度」2.42点、「食べない」2.79点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

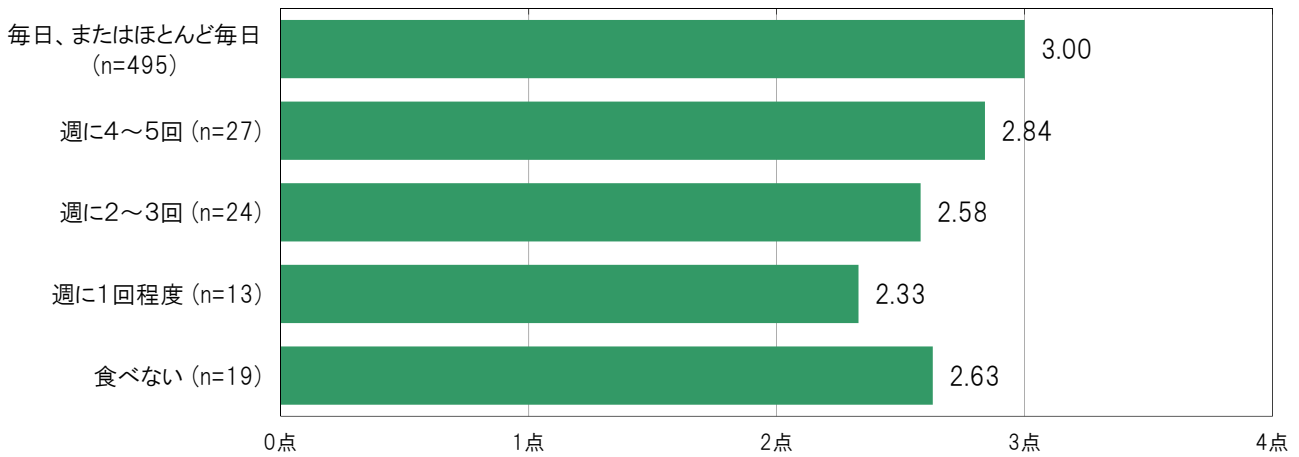


A-222.朝食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

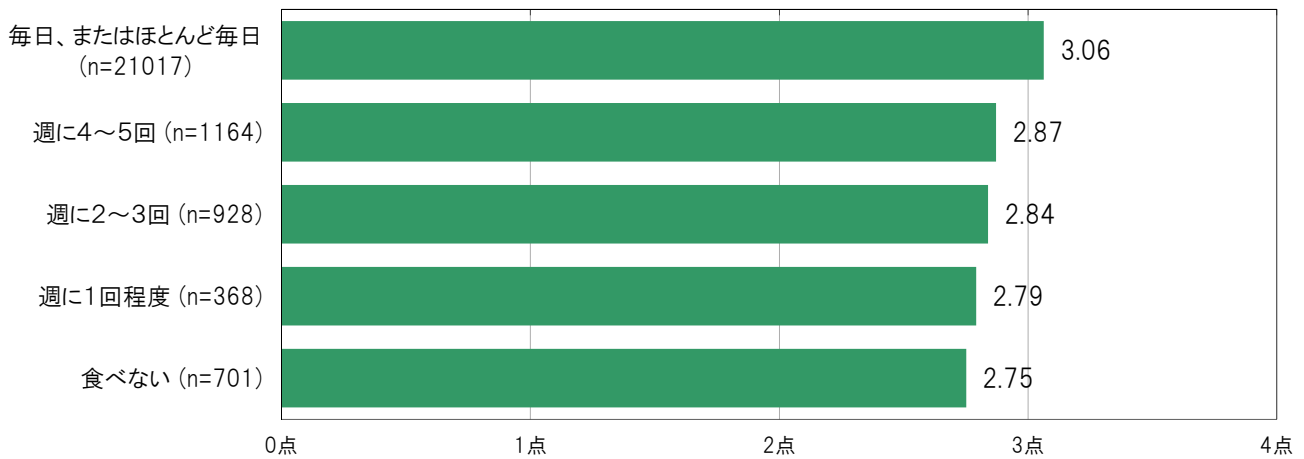
大阪市大正区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.00点、「週に4～5回」2.84点、「週に2～3回」2.58点、「週に1回程度」2.33点、「食べない」2.63点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかというを持っていない」= 2点、「持ってない」= 1点

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

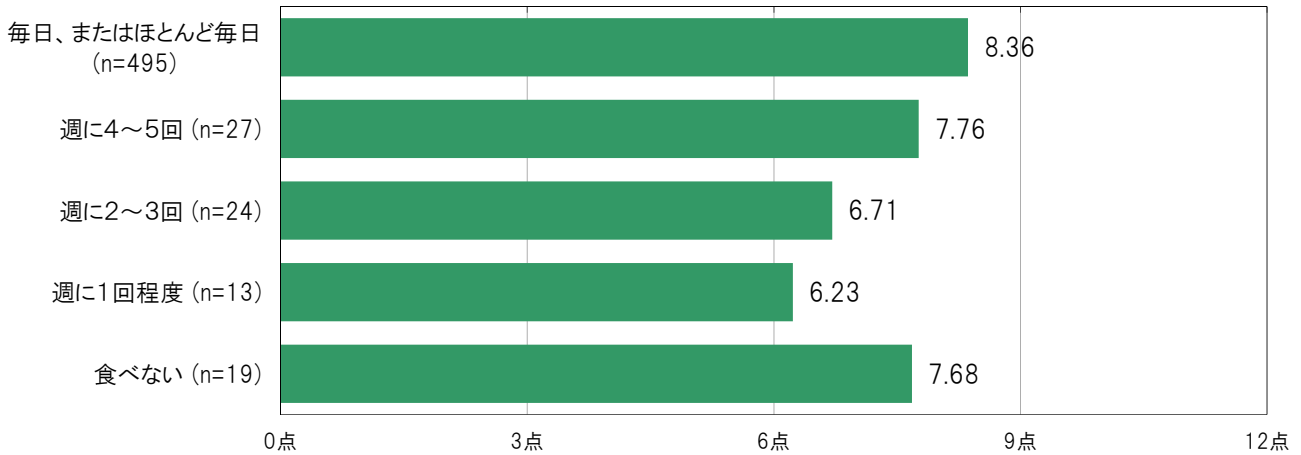


A-223.朝食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)【子ども 問26(1)~(3)】

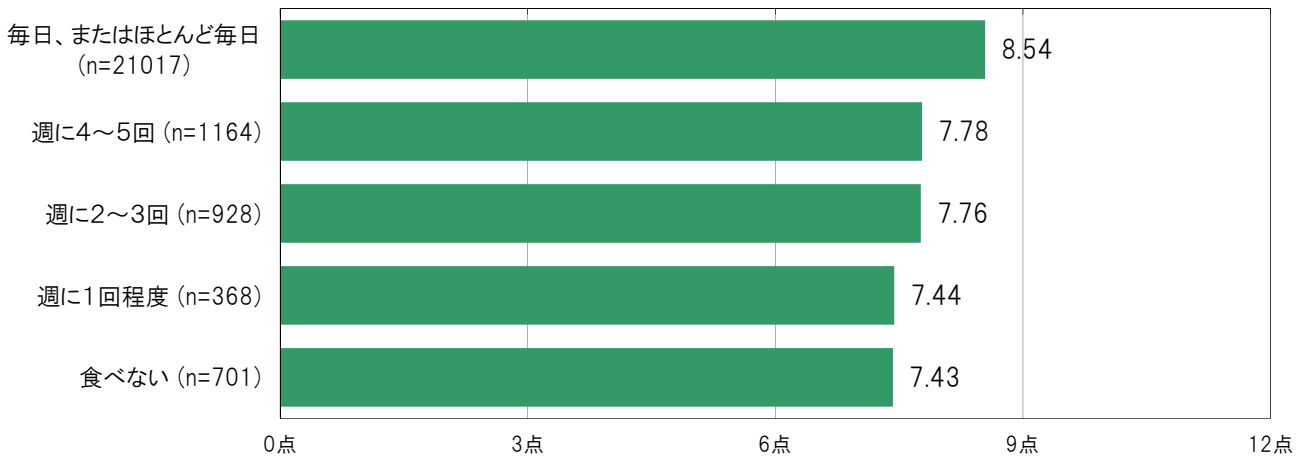
大阪市大正区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.36点、「週に4~5回」7.76点、「週に2~3回」6.71点、「週に1回程度」6.23点、「食べない」7.68点となっている。

「自分に自信がある」、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」、「大人は信用できる」、「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感(セルフ・エフィカシー)が高いことを表す。

〔大阪市大正区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

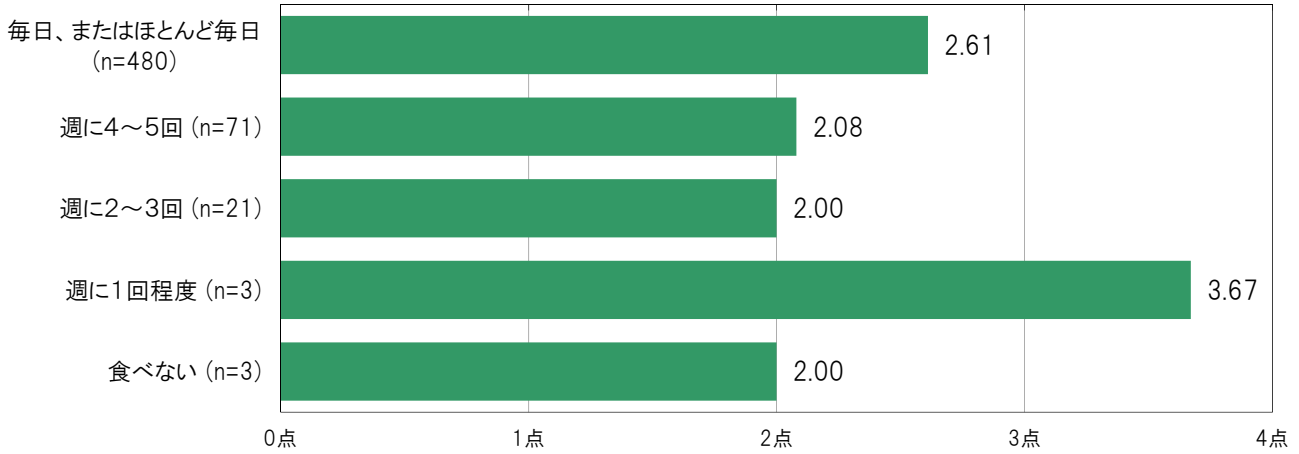


A-224.休日に昼食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

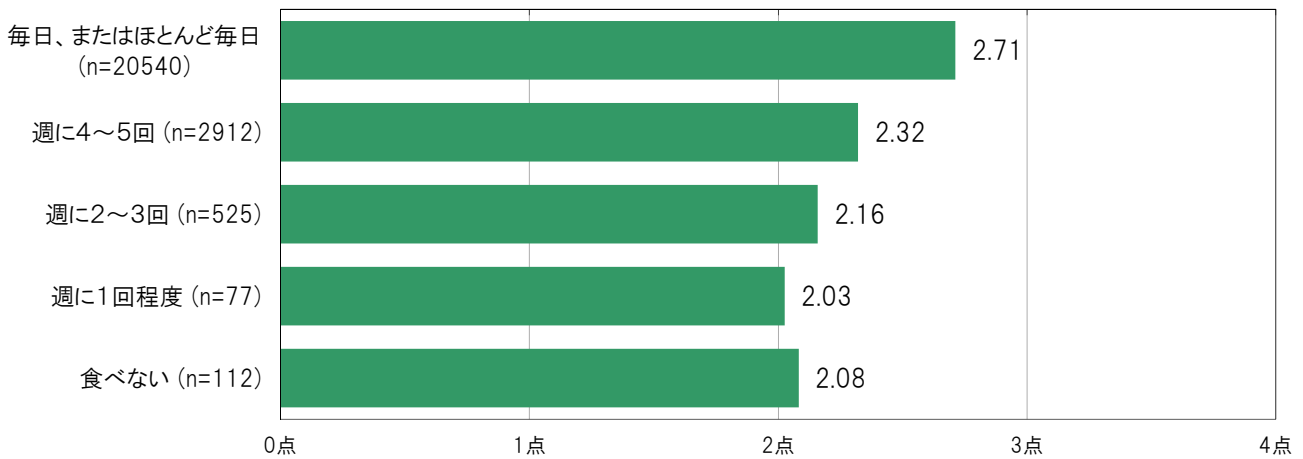
大阪市大正区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.61点、「週に4～5回」2.08点、「週に2～3回」2.00点、「週に1回程度」3.67点、「食べない」2.00点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところ」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市大正区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

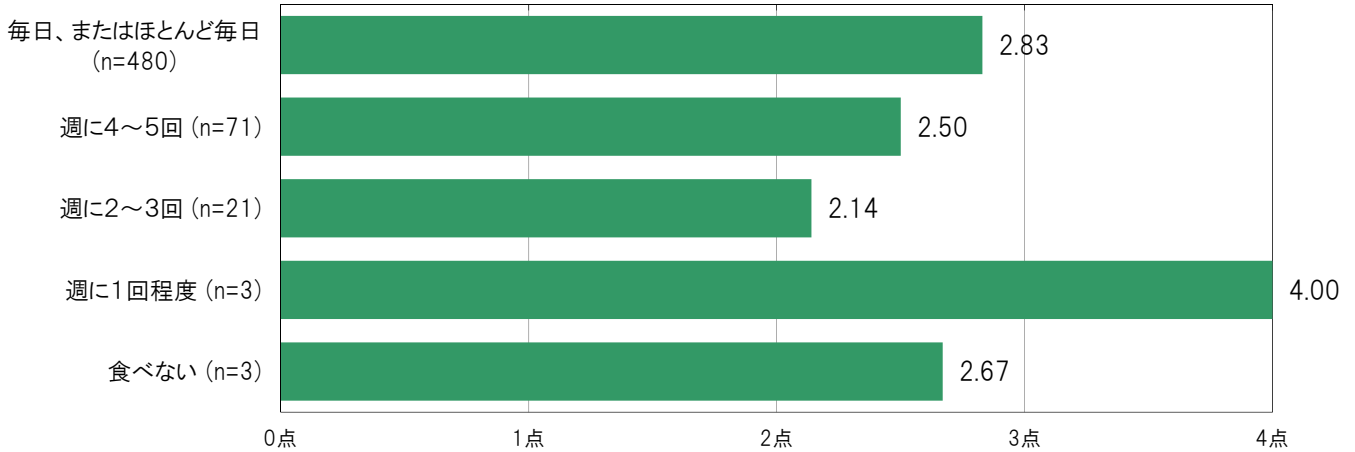


A-225.休日に昼食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

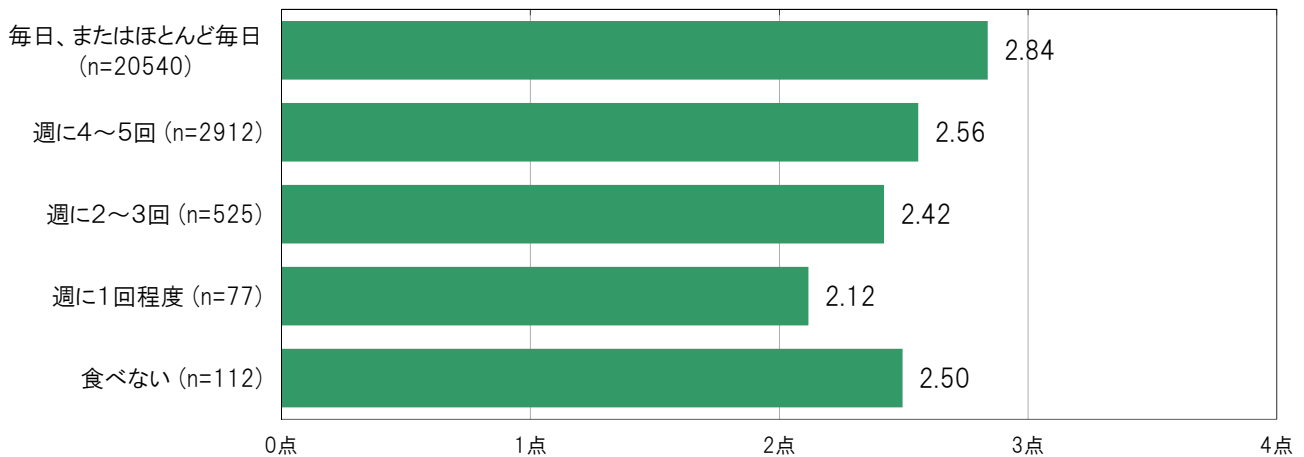
大阪市大正区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.83点、「週に4～5回」2.50点、「週に2～3回」2.14点、「週に1回程度」4.00点、「食べない」2.67点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市大正区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

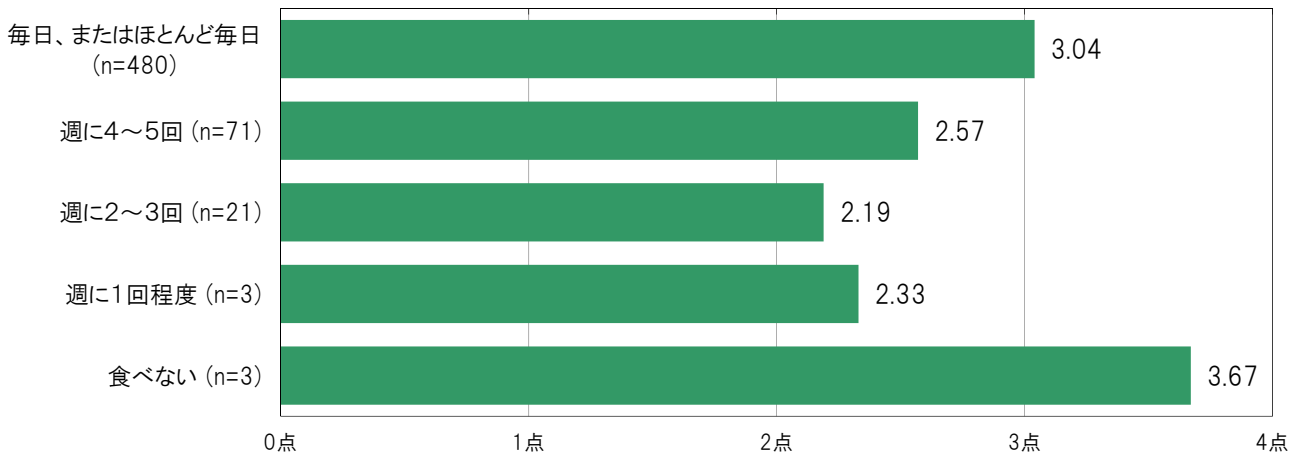


A-226.休日に昼食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

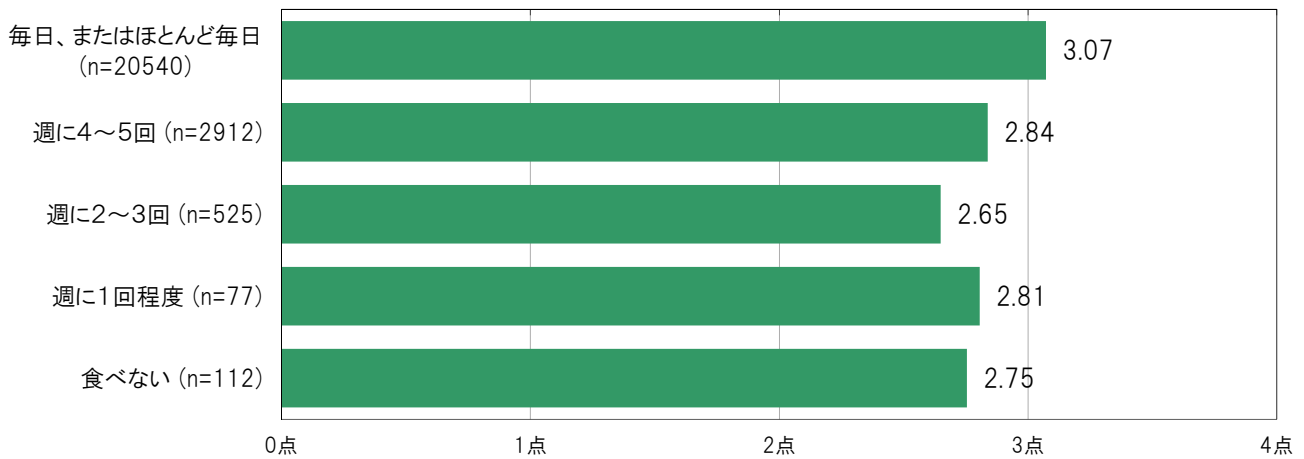
大阪市大正区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.04点、「週に4～5回」2.57点、「週に2～3回」2.19点、「週に1回程度」2.33点、「食べない」3.67点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかというを持っていない」= 2点、「持ってない」= 1点

〔大阪市大正区／休日に昼食を食べる頻度別〕



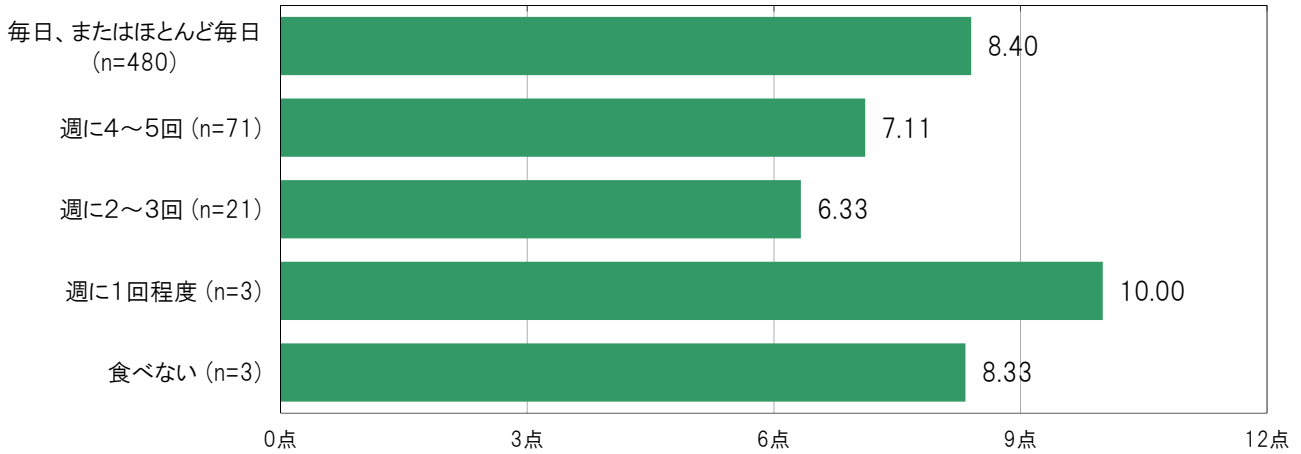
〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕



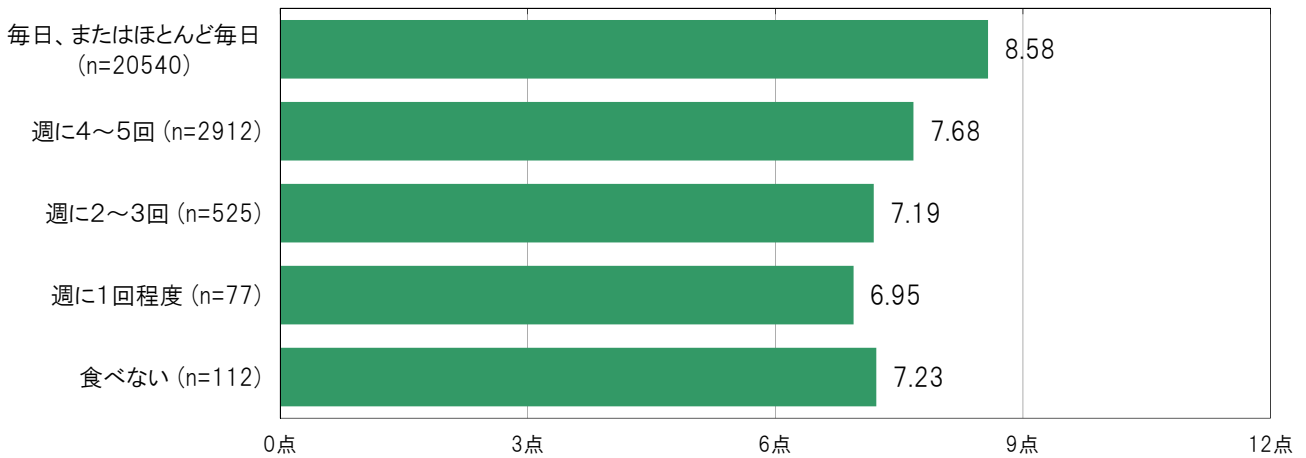
A-227.休日に昼食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)【子ども 問26(1)~(3)】

大阪市大正区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.40点、「週に4~5回」7.11点、「週に2~3回」6.33点、「週に1回程度」10.00点、「食べない」8.33点となっている。

〔大阪市大正区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

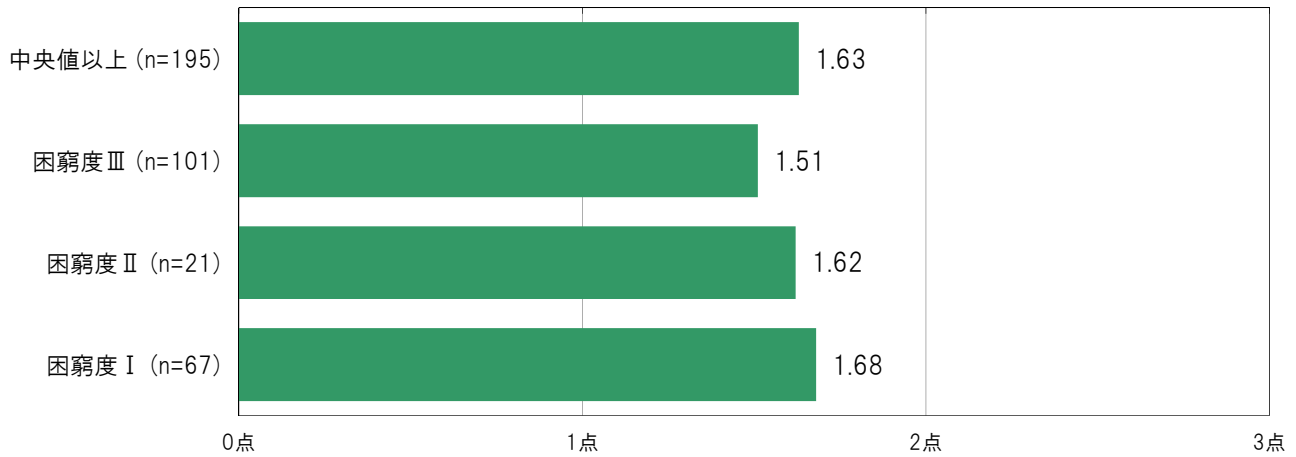


A-228.困窮度別 楽しみにしていることがたくさんある【子ども 問22①】

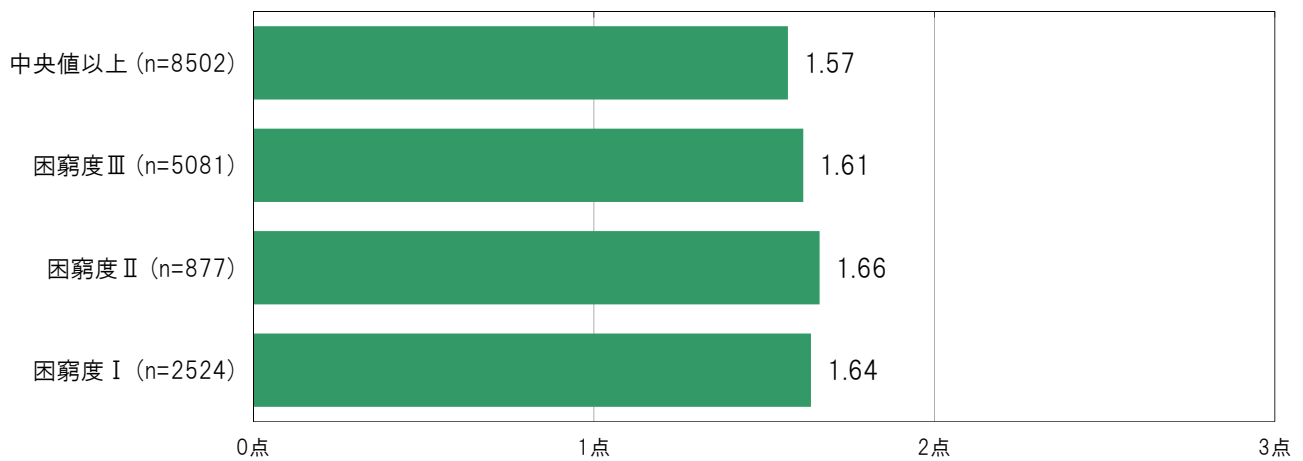
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.63点、「困窮度Ⅲ」1.51点、「困窮度Ⅱ」1.62点、「困窮度Ⅰ」1.68点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

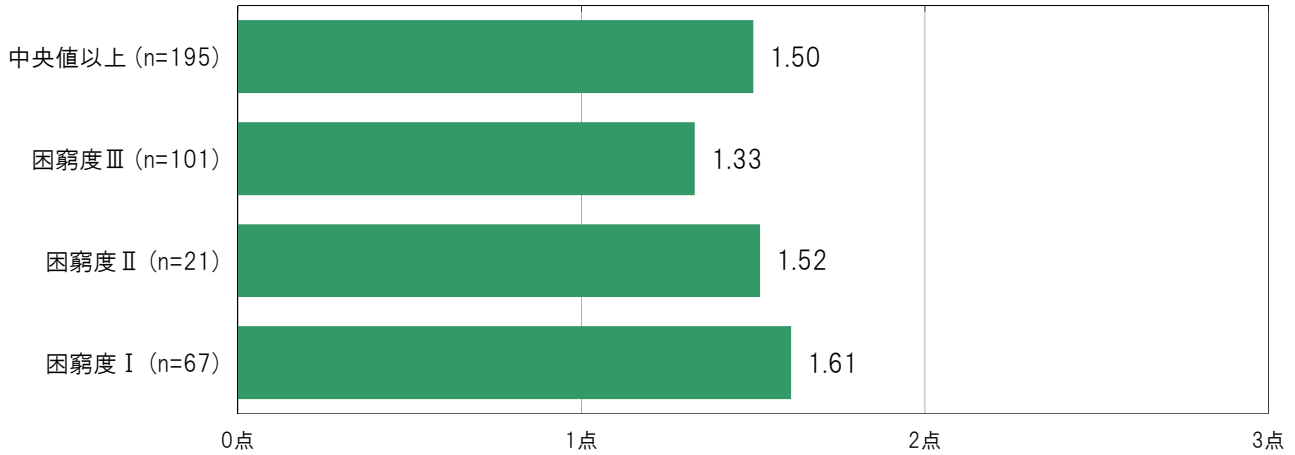


A-229.困窮度別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

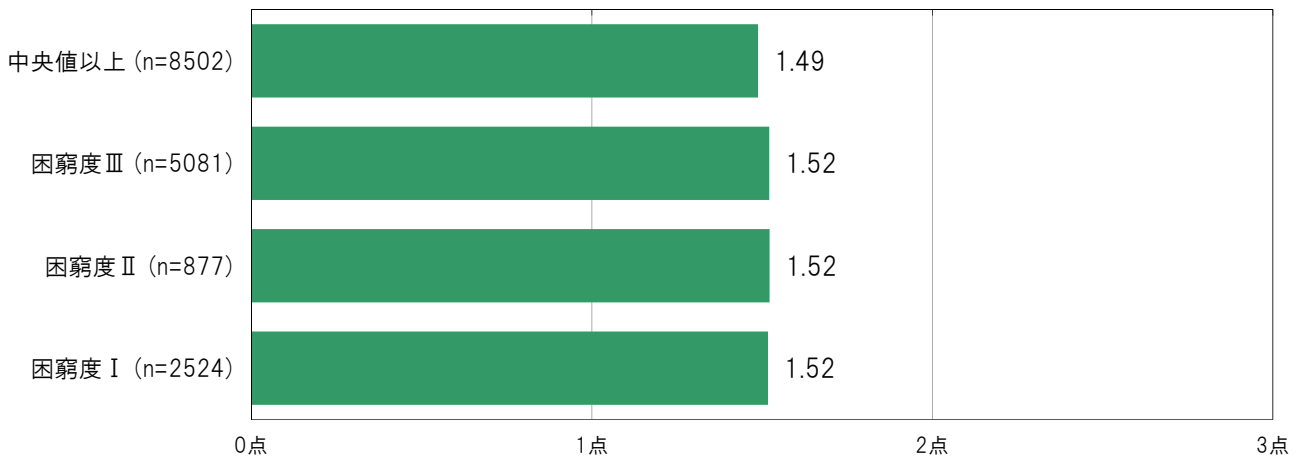
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.50点、「困窮度Ⅲ」1.33点、「困窮度Ⅱ」1.52点、「困窮度Ⅰ」1.61点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

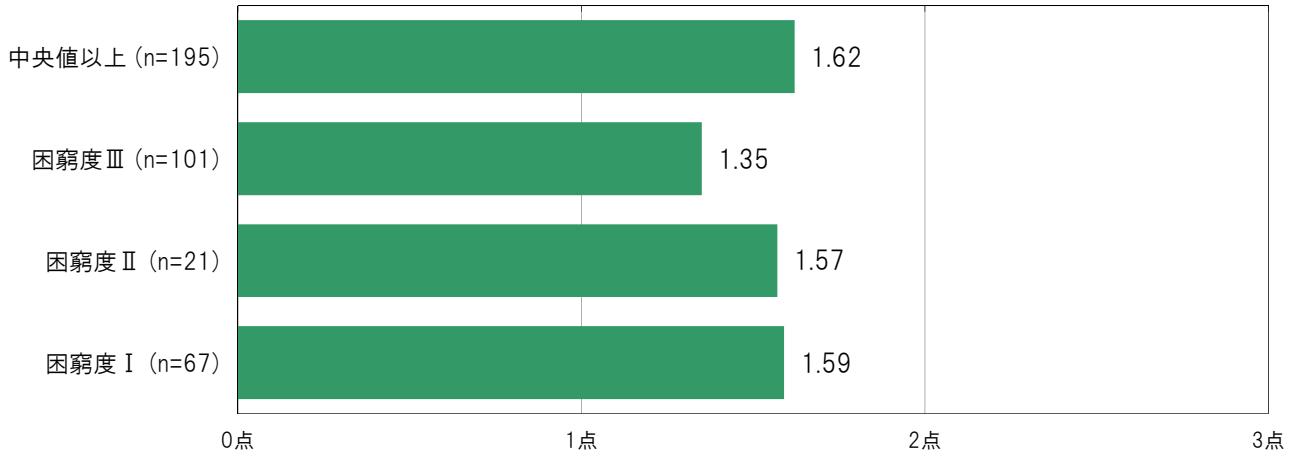


A-230.困窮度別 元気いっぱい【子ども 問22③】

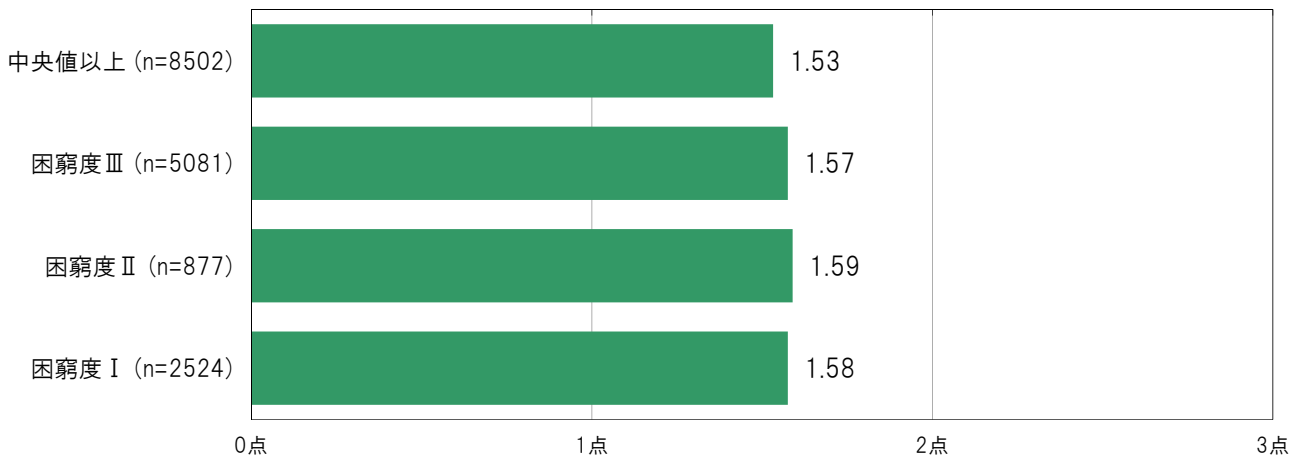
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.62点、「困窮度Ⅲ」1.35点、「困窮度Ⅱ」1.57点、「困窮度Ⅰ」1.59点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

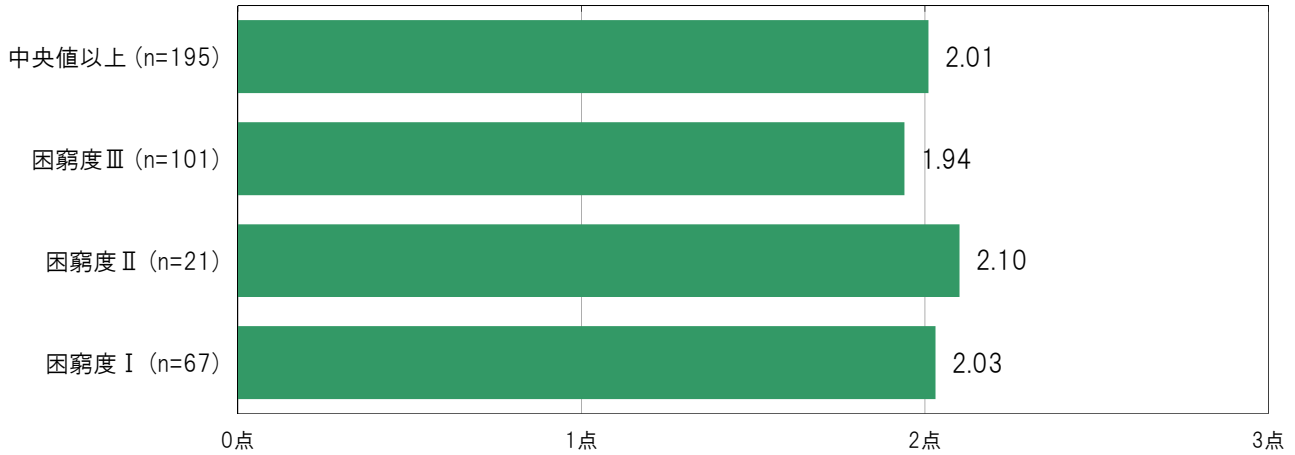


A-231.困窮度別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

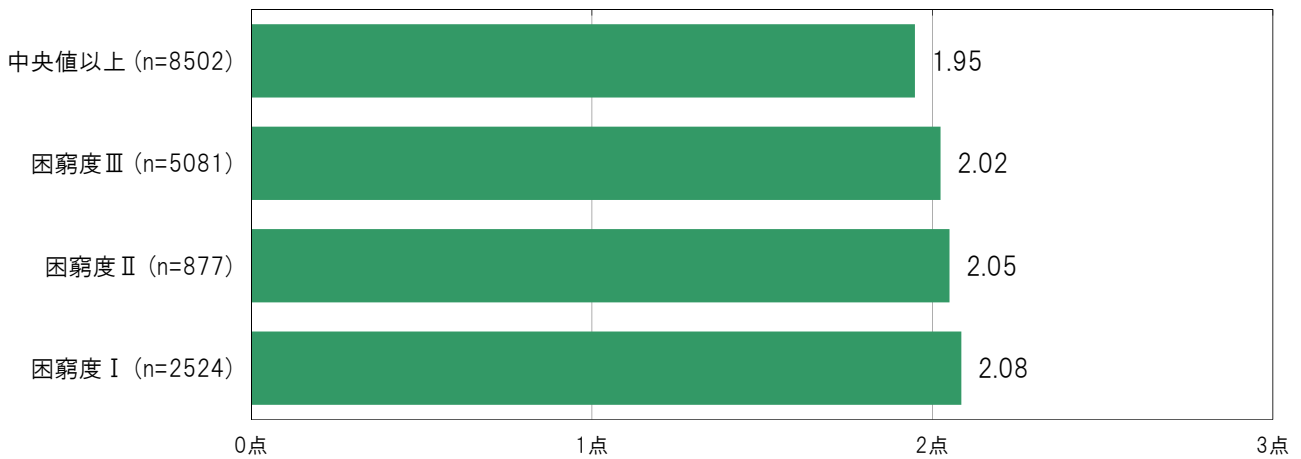
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.01点、「困窮度Ⅲ」1.94点、「困窮度Ⅱ」2.10点、「困窮度Ⅰ」2.03点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

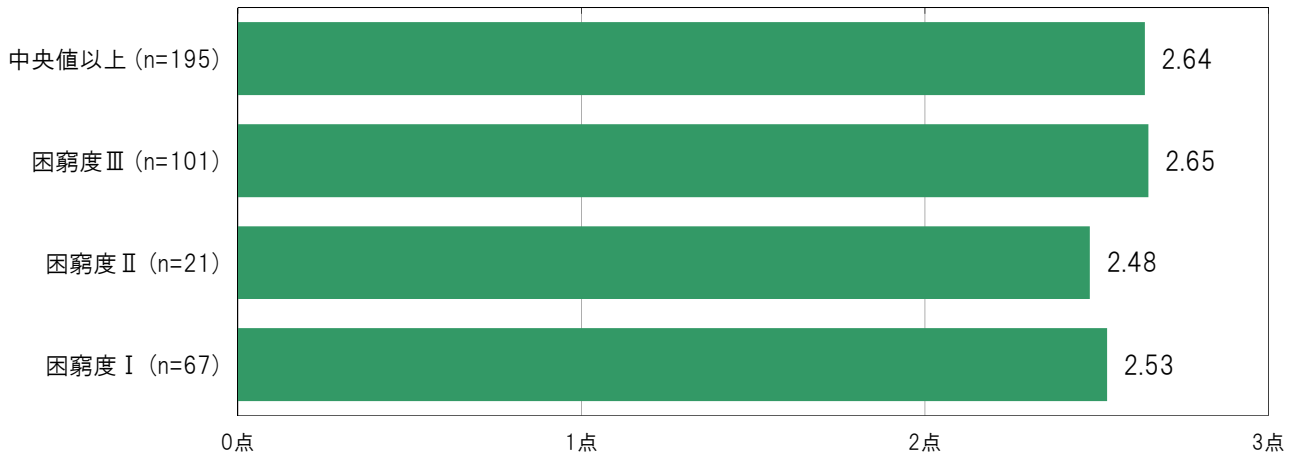


A-232.困窮度別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

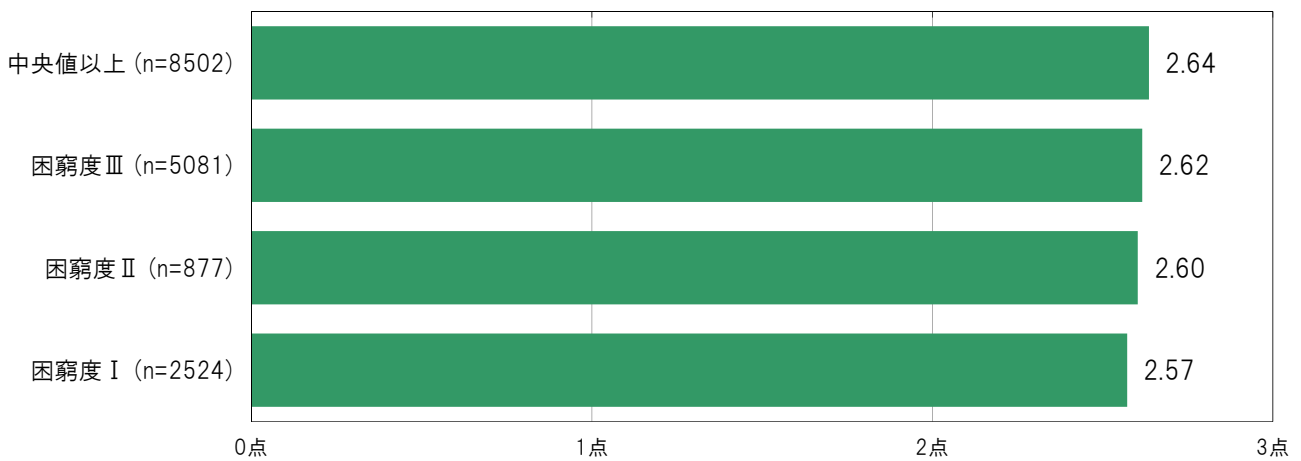
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.64点、「困窮度Ⅲ」2.65点、「困窮度Ⅱ」2.48点、「困窮度Ⅰ」2.53点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

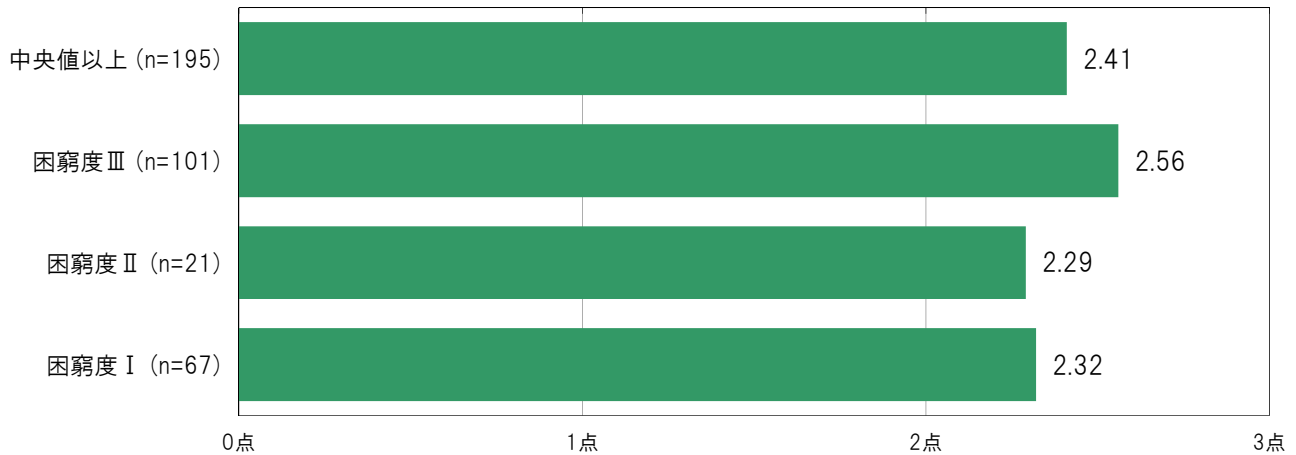


A-233.困窮度別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

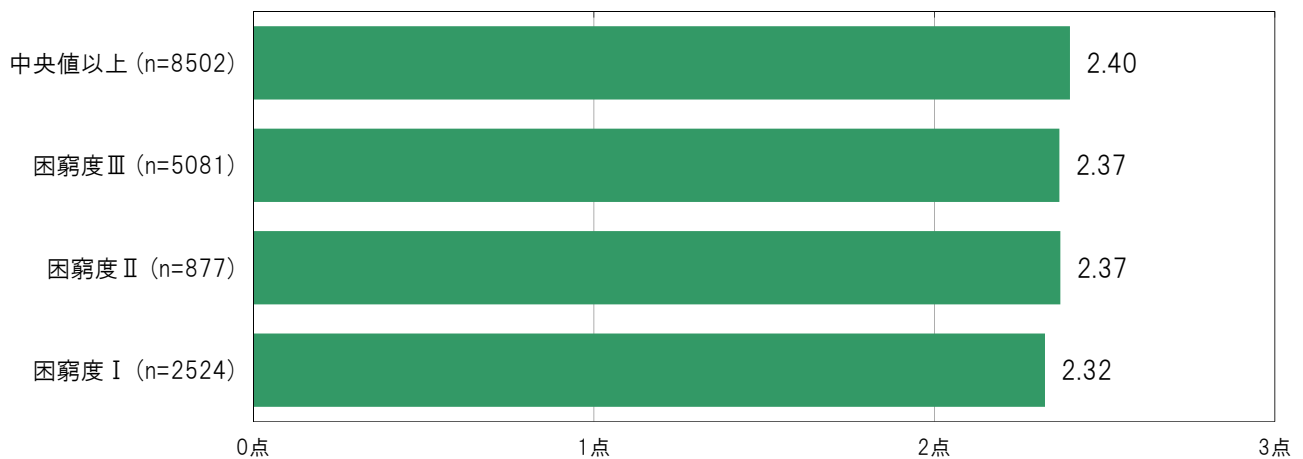
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.41点、「困窮度Ⅲ」2.56点、「困窮度Ⅱ」2.29点、「困窮度Ⅰ」2.32点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

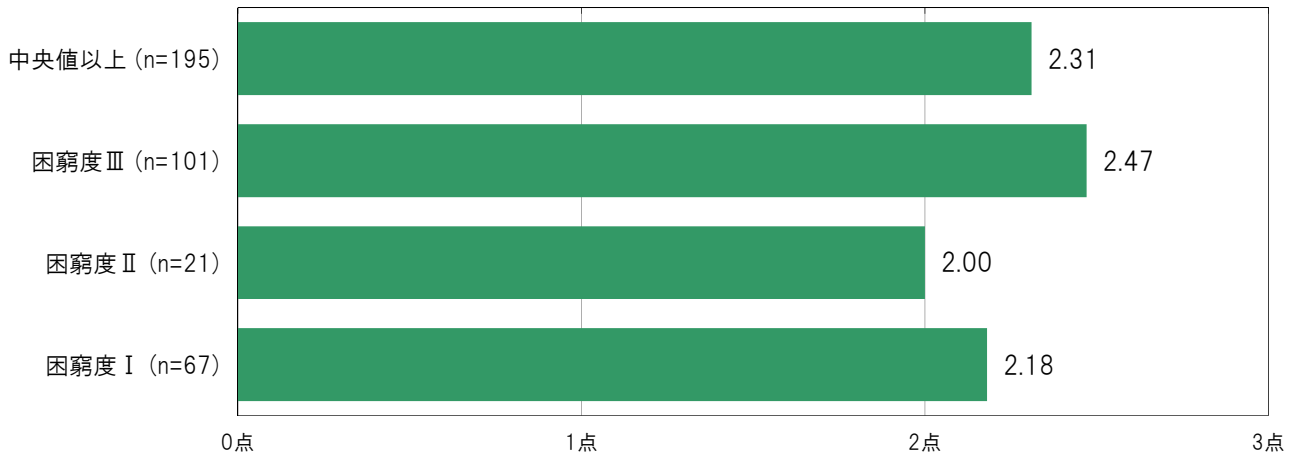


A-234.困窮度別 まわりが気になる【子ども 問22⑦】

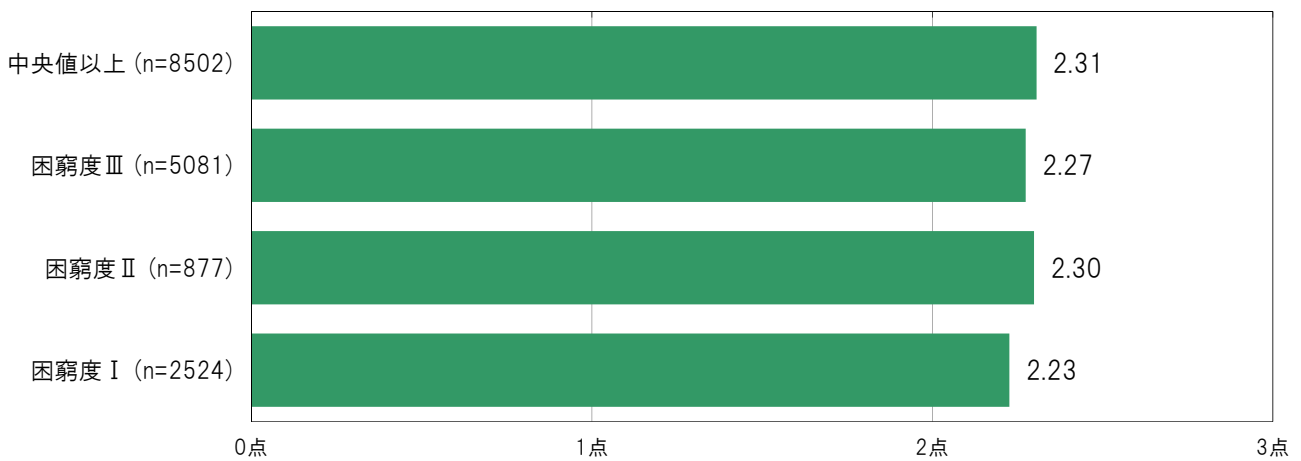
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.31点、「困窮度Ⅲ」2.47点、「困窮度Ⅱ」2.00点、「困窮度Ⅰ」2.18点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

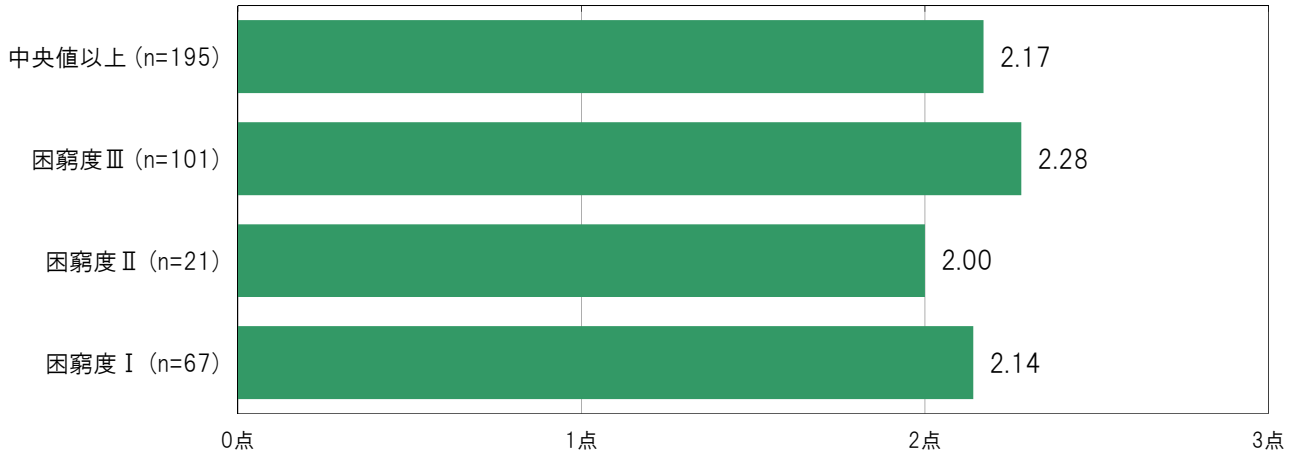


A-235.困窮度別 やる気が起きない〔子ども 問22⑧〕

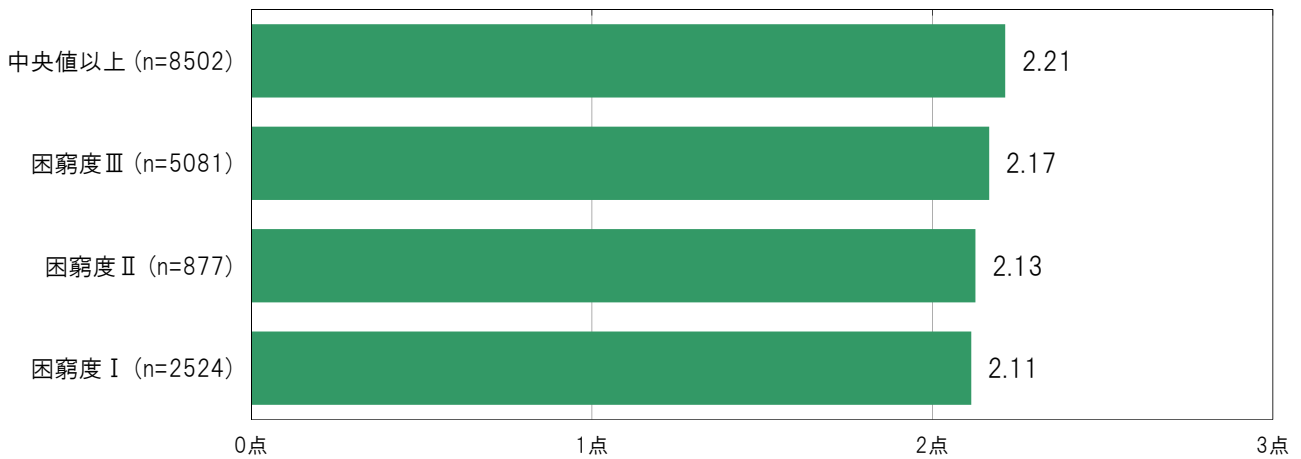
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.17点、「困窮度Ⅲ」2.28点、「困窮度Ⅱ」2.00点、「困窮度Ⅰ」2.14点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

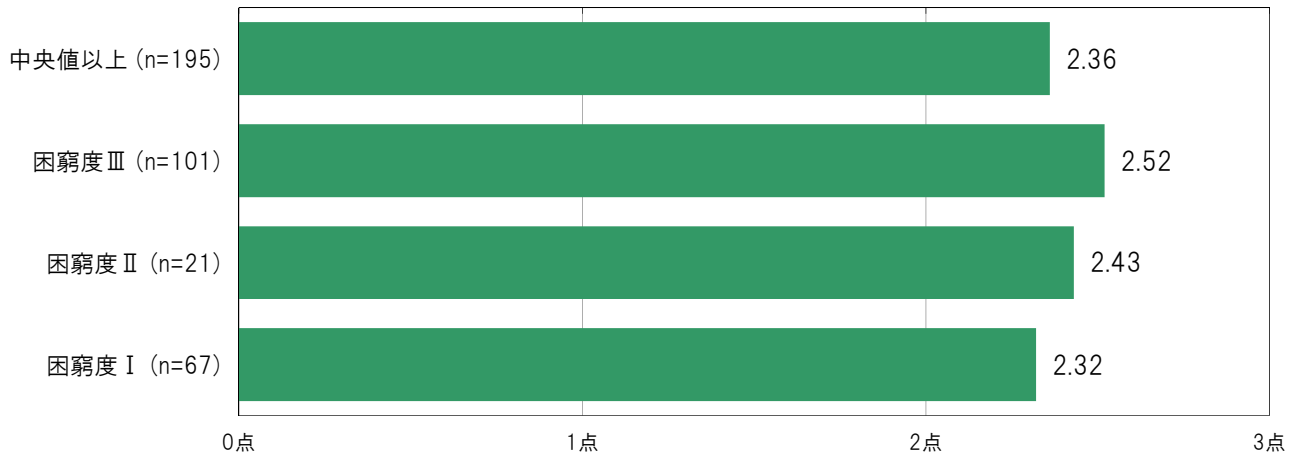


A-236.困窮度別 いろいろする【子ども 問22㊹】

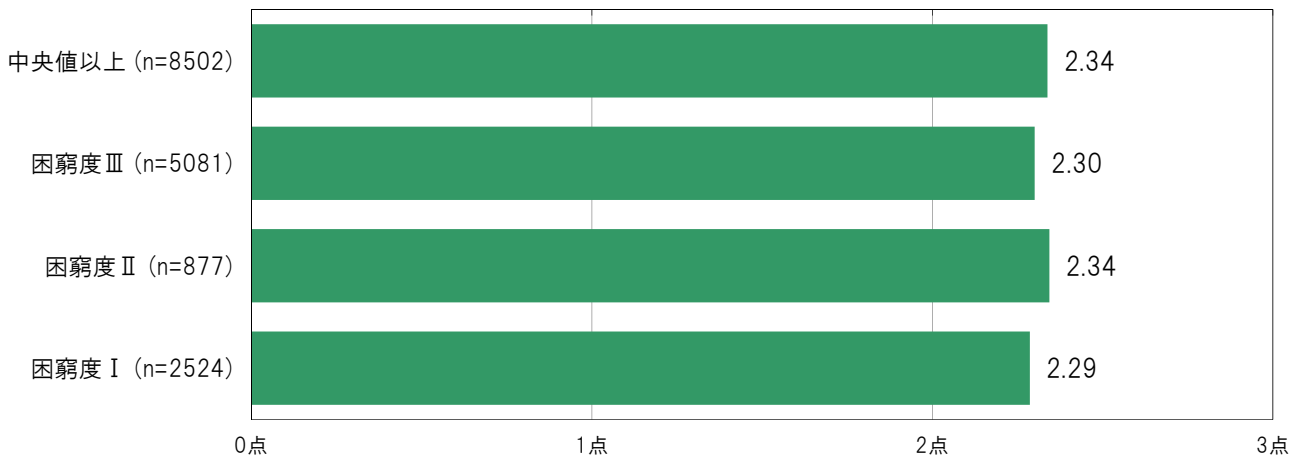
大阪市大正区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.36点、「困窮度Ⅲ」2.52点、「困窮度Ⅱ」2.43点、「困窮度Ⅰ」2.32点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

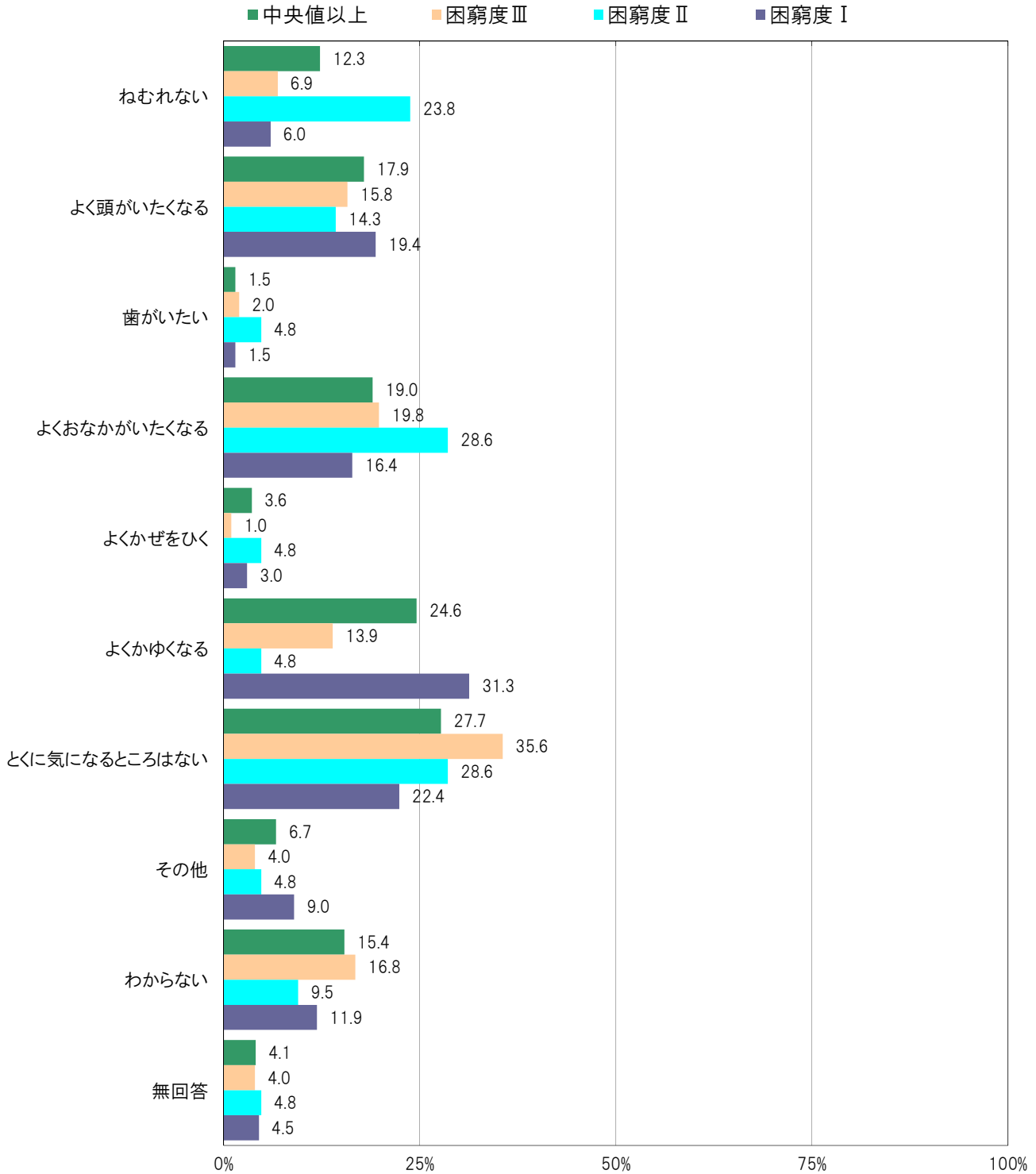


A-237.困窮度別 自分の体の状態で気になること【子ども 問23】

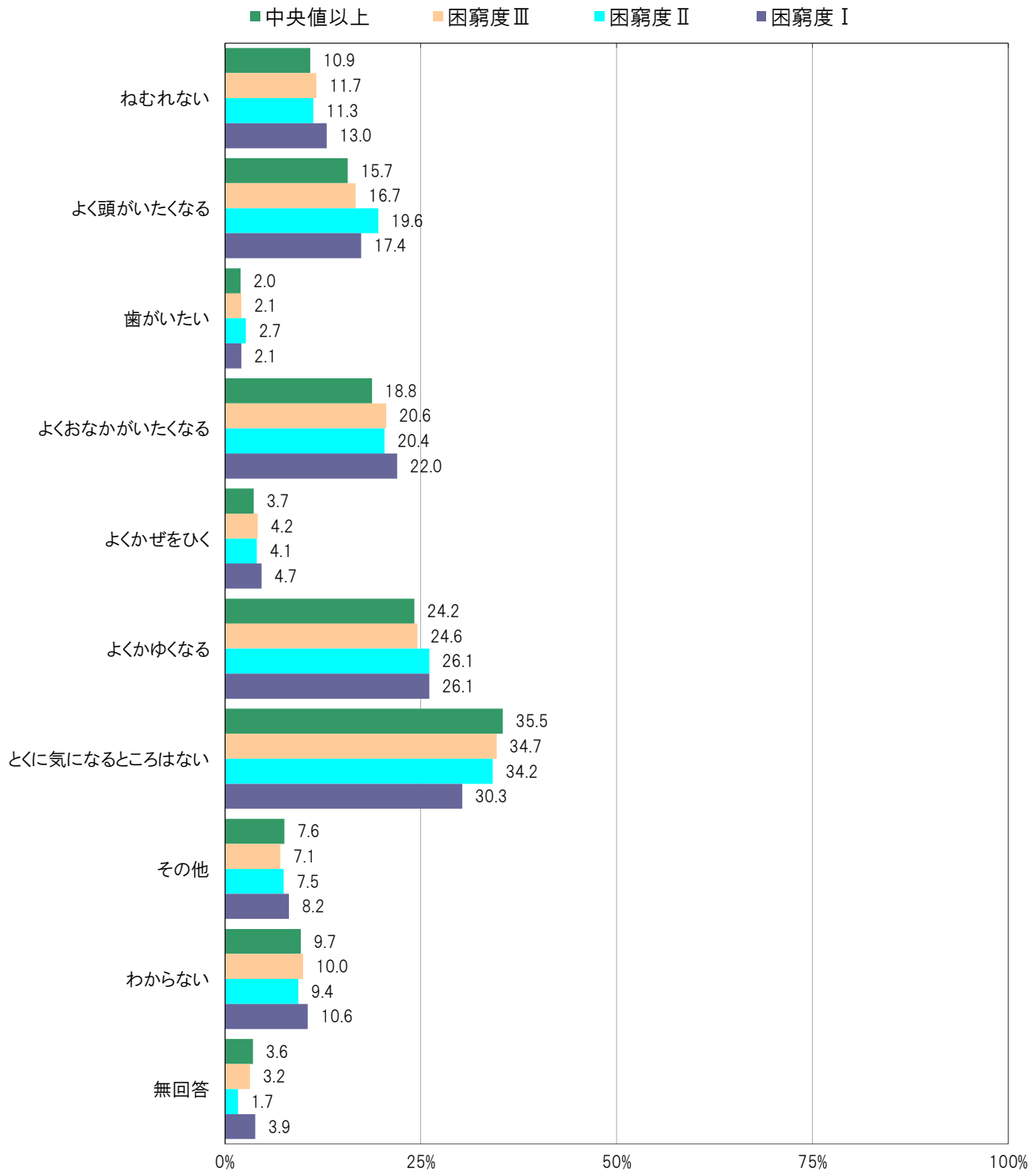
大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「よくかゆくなる」31.3%、「とくに気になるところはない」22.4%、「よく頭がいたくなる」19.4%の順に高くなっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「とくに気になるところはない」27.7%、「よくかゆくなる」24.6%、「よくおなかがいたくなる」19.0%の順に高くなっている。

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

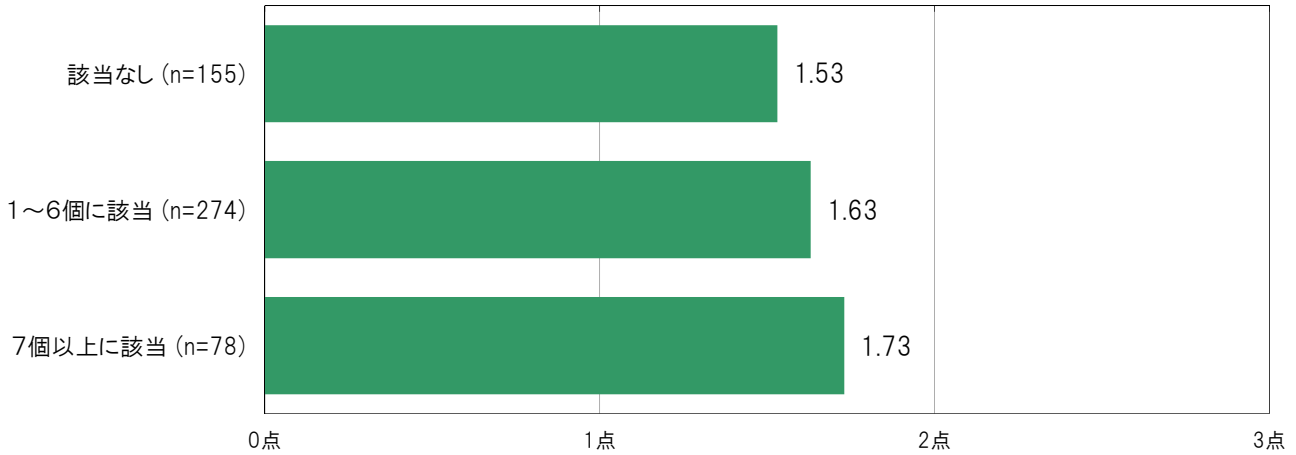


A-238.はく奪指標別 楽しみにしていることがたくさんある【子ども 問22①】

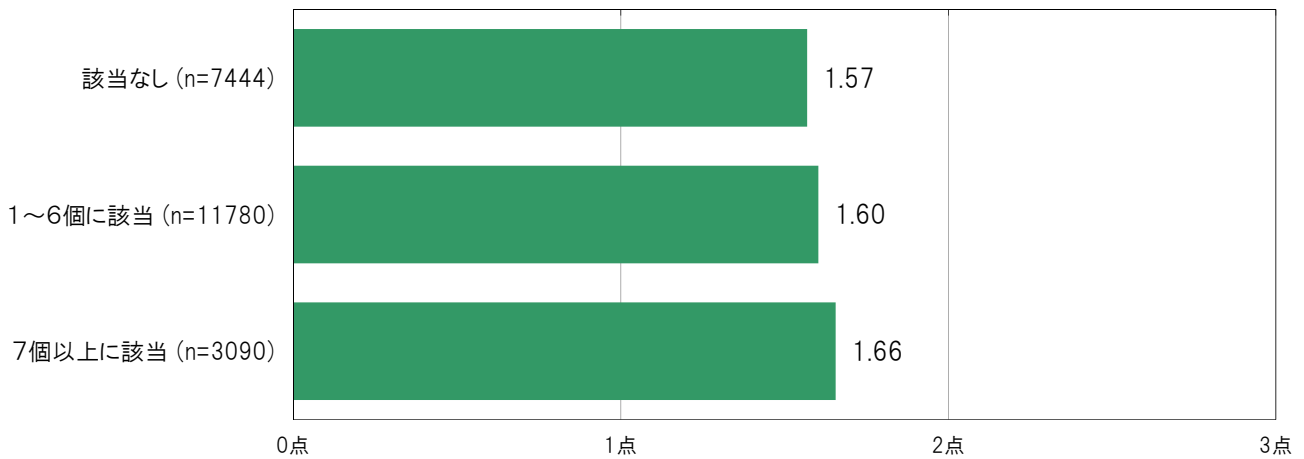
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.53点、「1～6個に該当」1.63点、「7個以上に該当」1.73点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

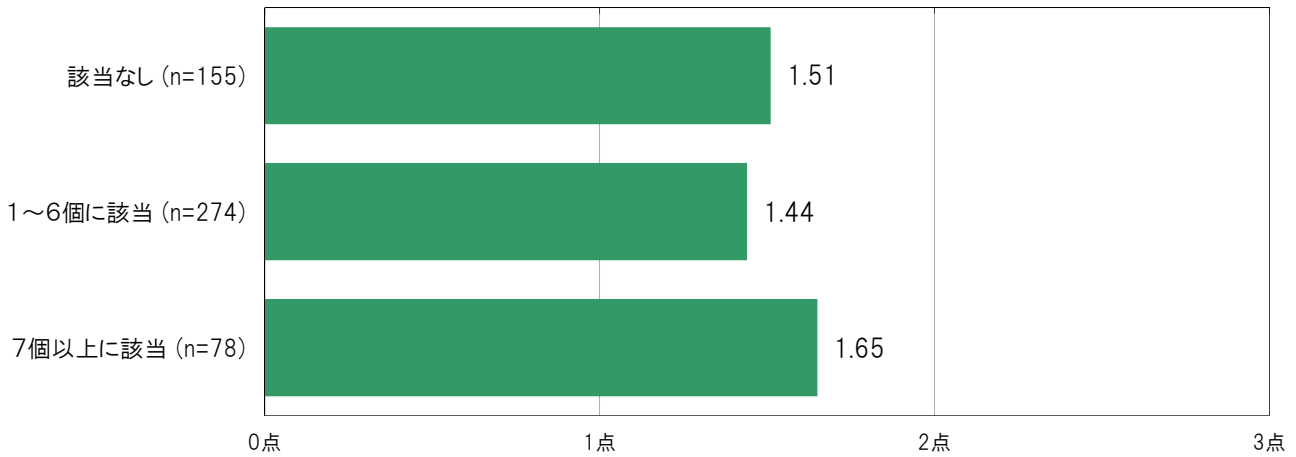


A-239.はく奪指標別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

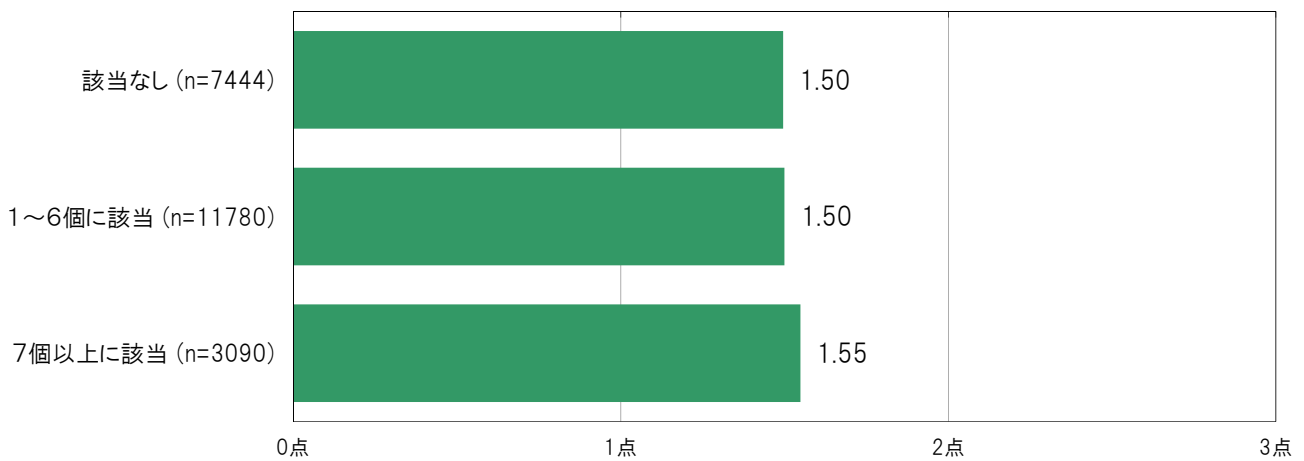
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.51点、「1～6個に該当」1.44点、「7個以上に該当」1.65点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

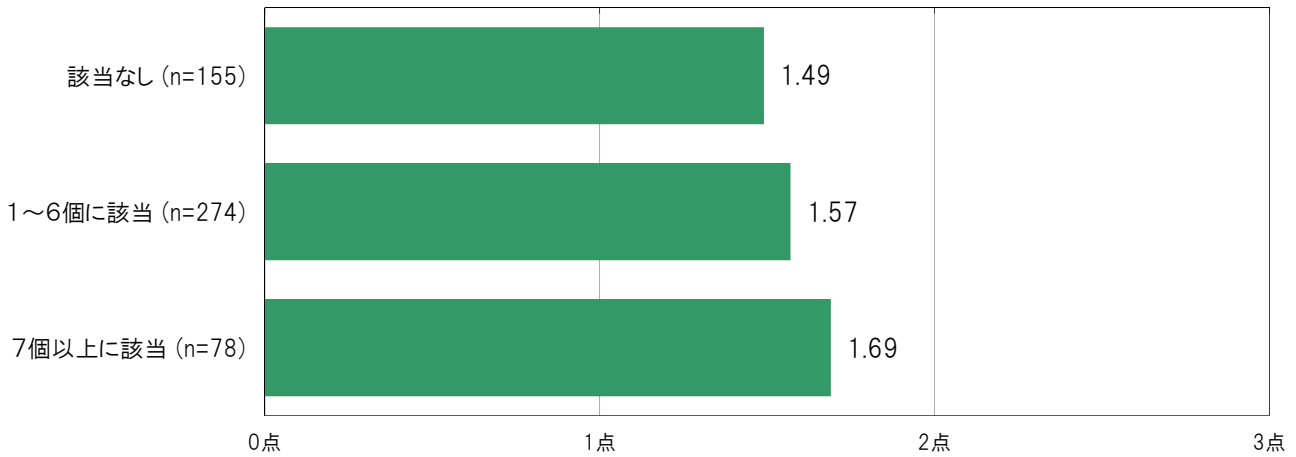


A-240.はく奪指標別 元気いっぱい【子ども 問22③】

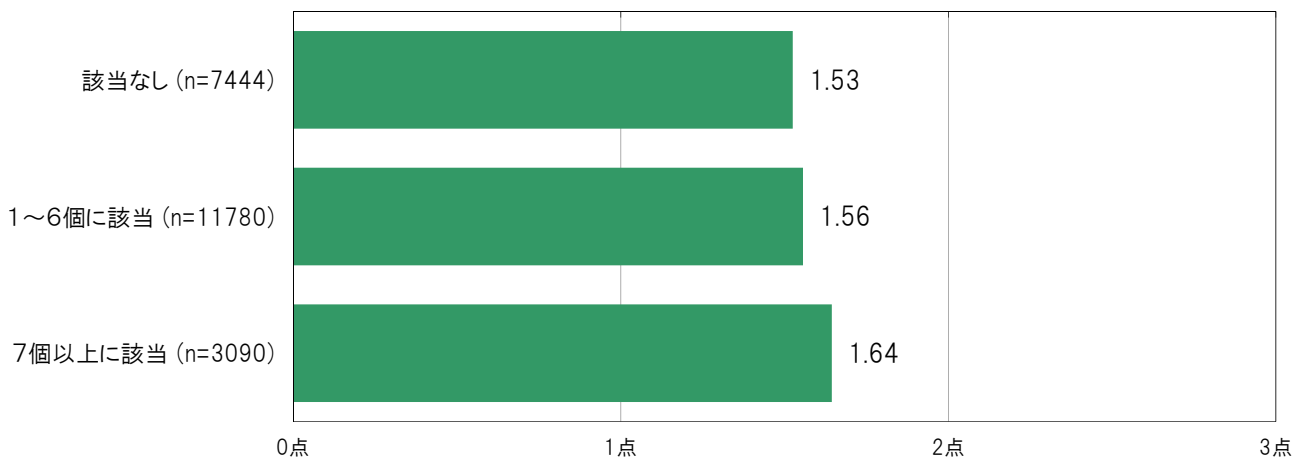
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.49点、「1～6個に該当」1.57点、「7個以上に該当」1.69点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

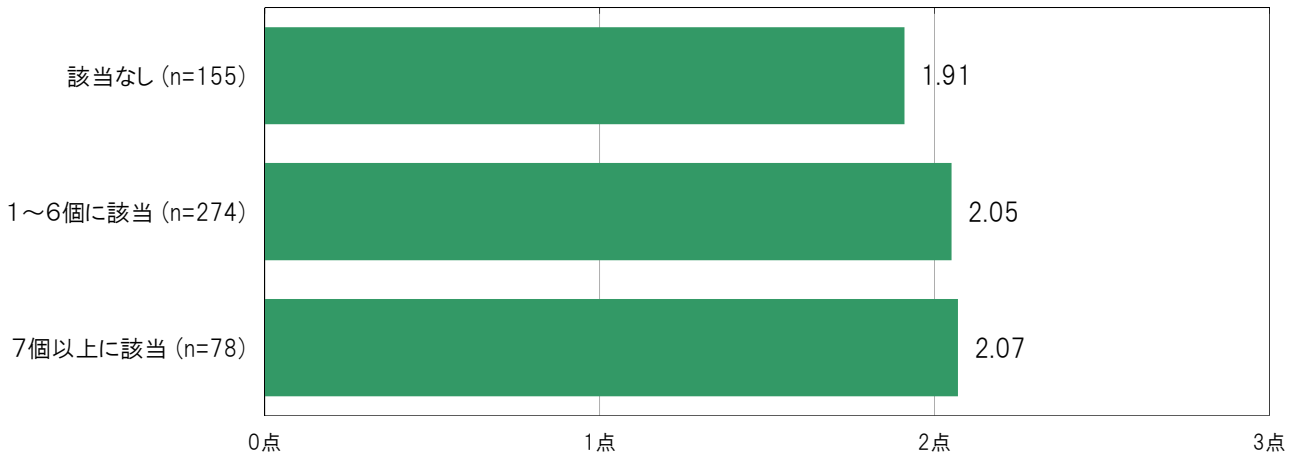


A-241.はく奪指標別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

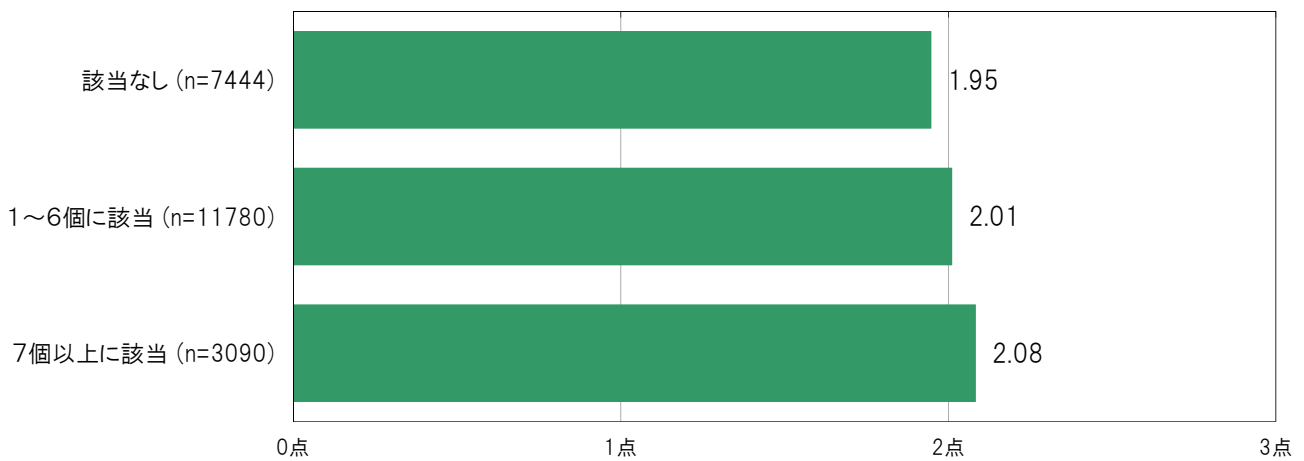
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.91点、「1～6個に該当」2.05点、「7個以上に該当」2.07点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

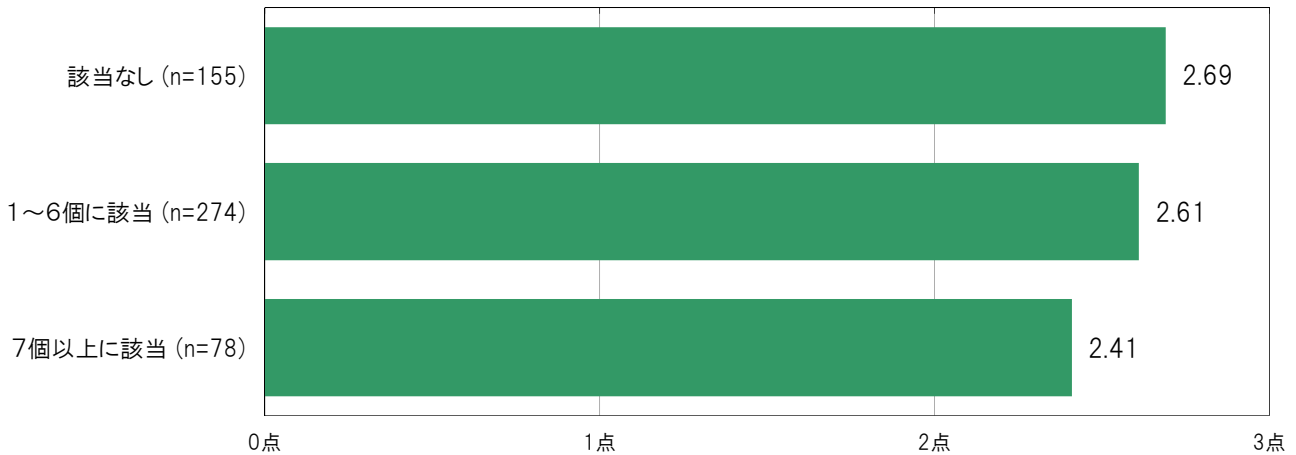


A-242.はく奪指標別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

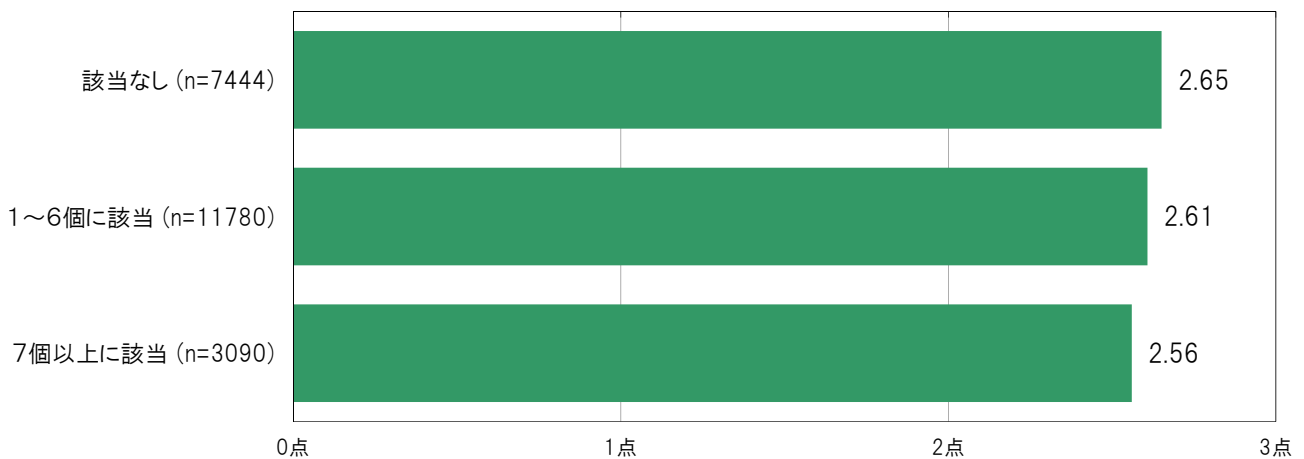
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.69点、「1～6個に該当」2.61点、「7個以上に該当」2.41点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

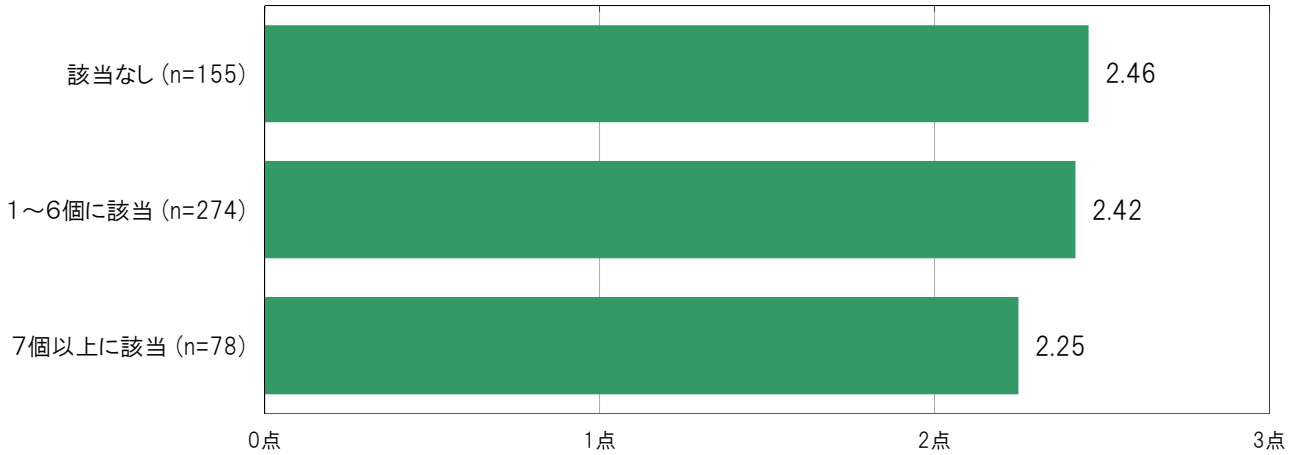


A-243.はく奪指標別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

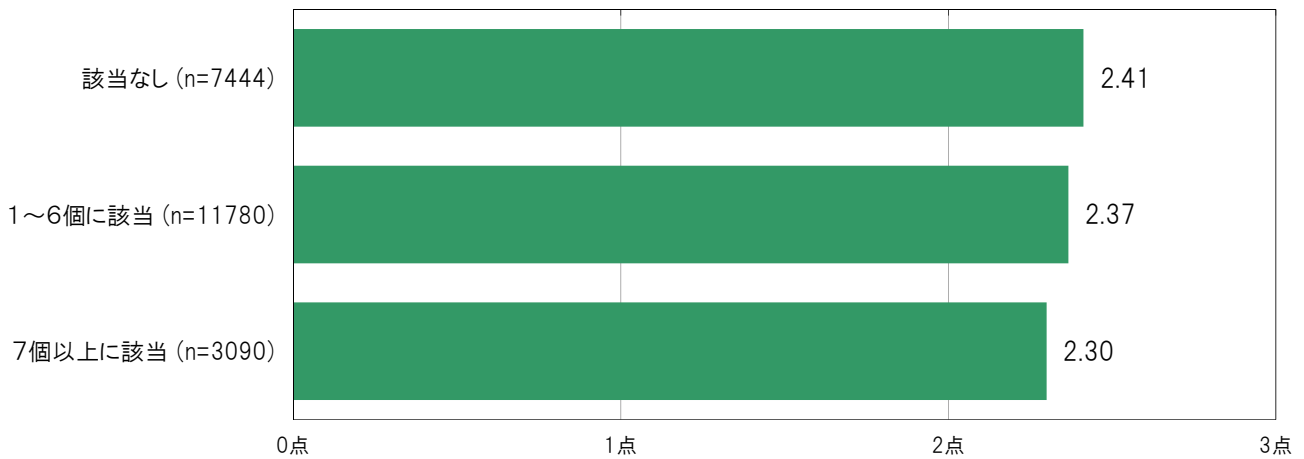
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.46点、「1～6個に該当」2.42点、「7個以上に該当」2.25点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

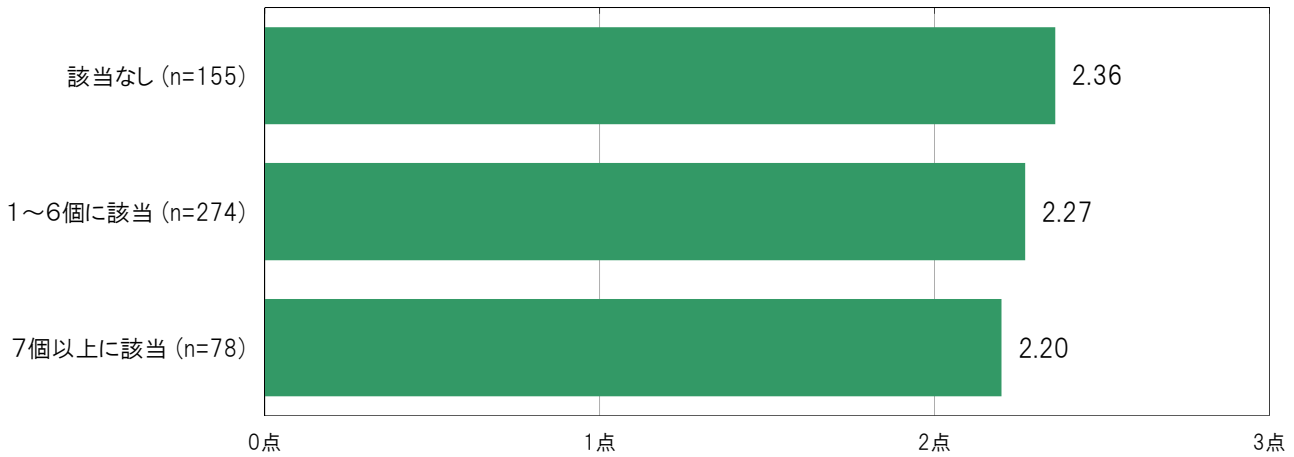


A-244.はく奪指標別 まわりが気になる【子ども 問22⑦】

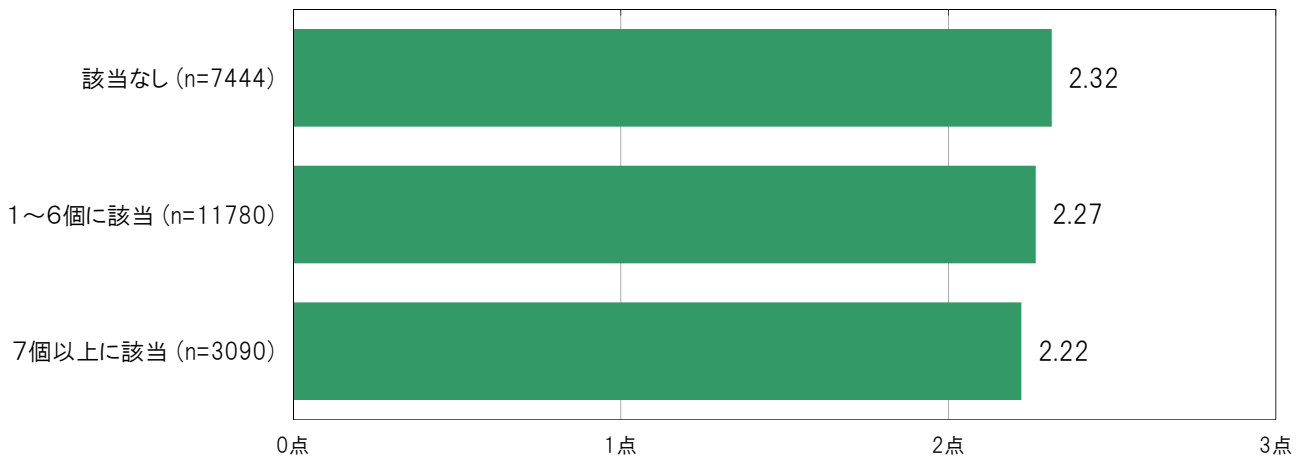
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.36点、「1～6個に該当」2.27点、「7個以上に該当」2.20点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

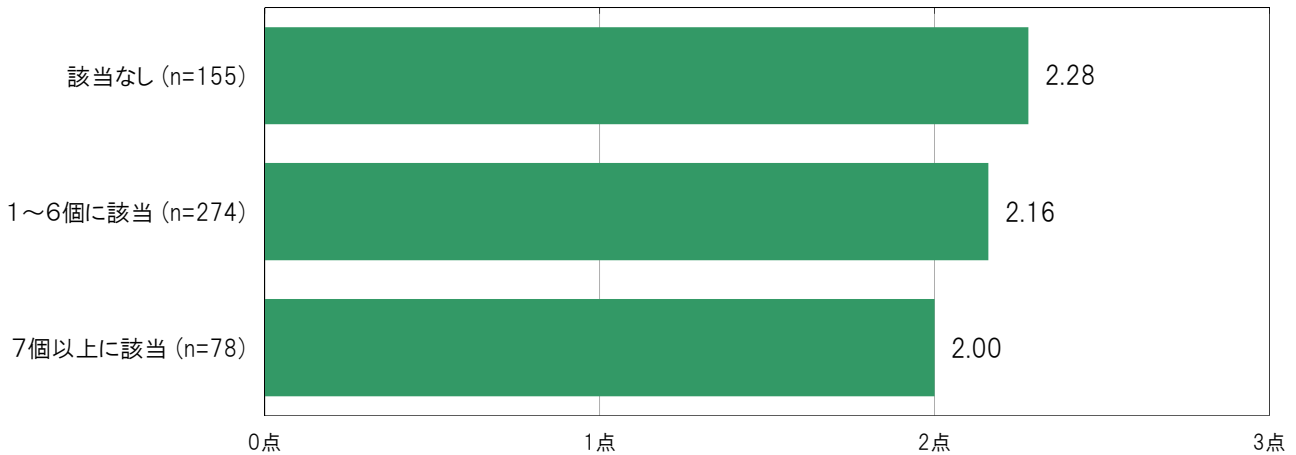


A-245.はく奪指標別 やる気が起きない【子ども 問22⑧】

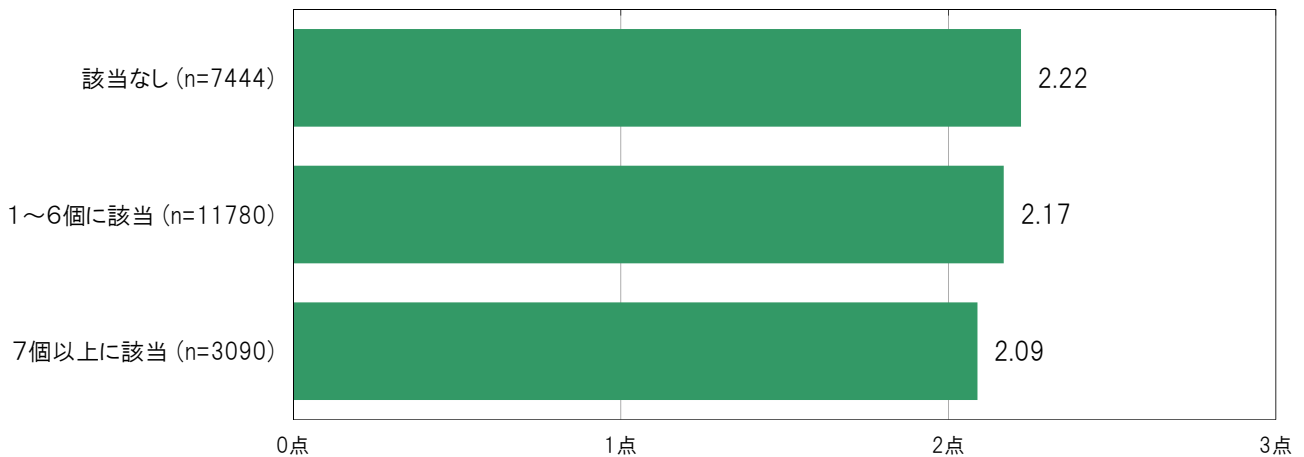
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.28点、「1～6個に該当」2.16点、「7個以上に該当」2.00点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

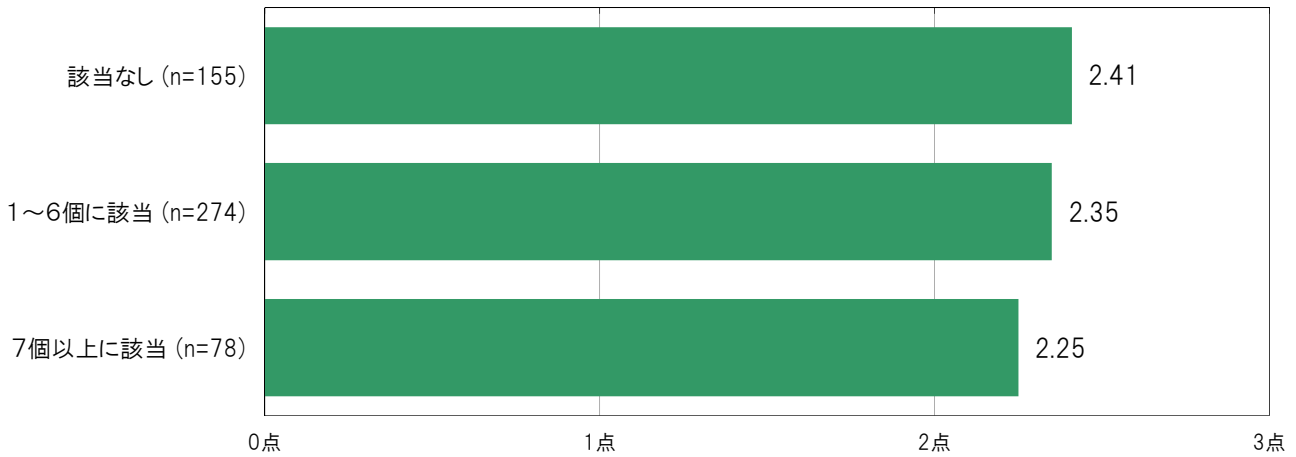


A-246.はく奪指標別 いろいろする【子ども 問22㉑】

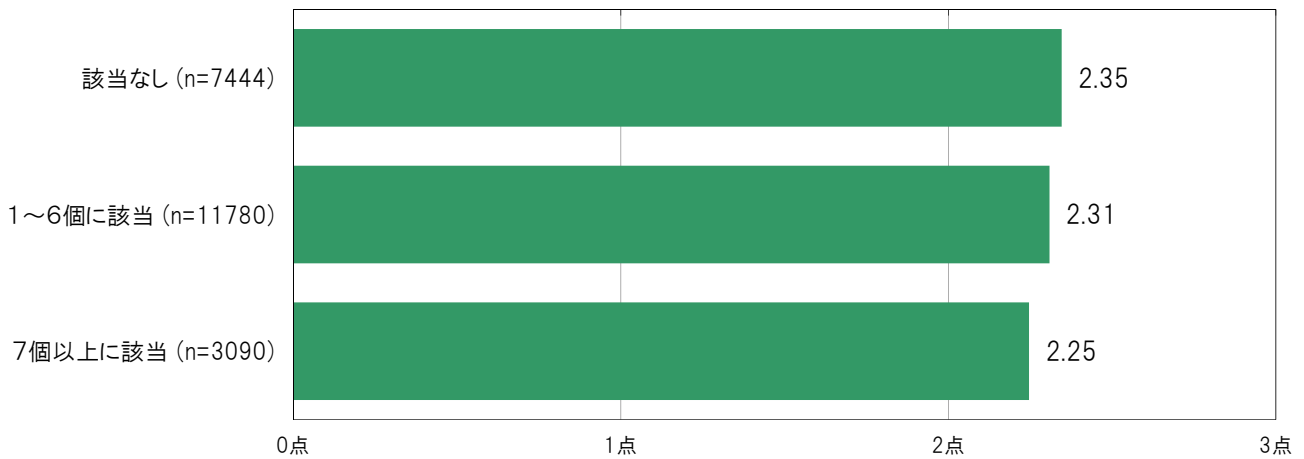
大阪市大正区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.41点、「1～6個に該当」2.35点、「7個以上に該当」2.25点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

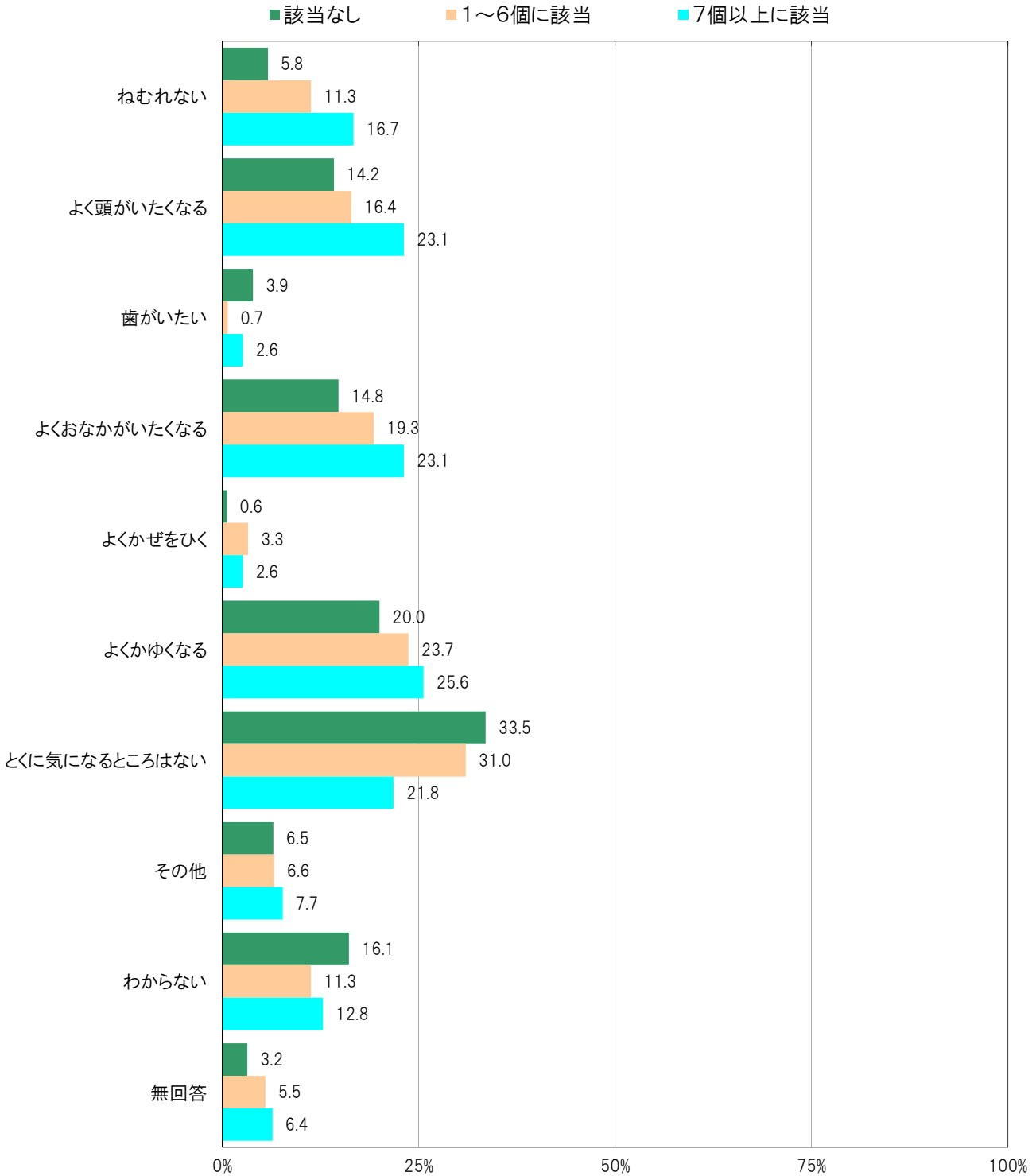


A-247.はく奪指標別 自分の体の状態で気になること〔子ども 問23〕

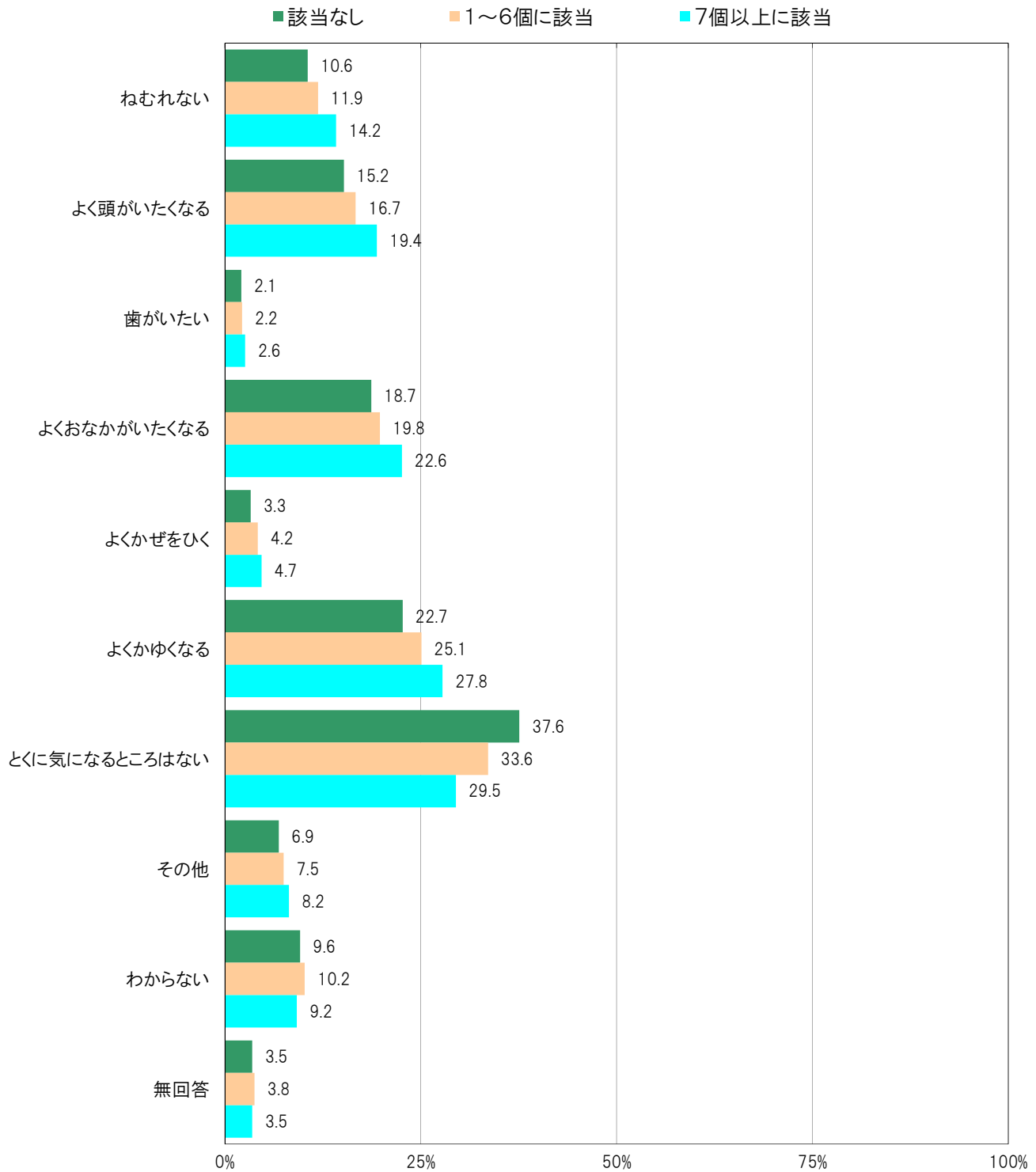
大阪市大正区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「とくに気になるところはない」31.0%、「よくかゆくなる」23.7%、「よくおなかがいたくなる」19.3%の順に高くなっている。

大阪市大正区のはく奪指標／該当なし群においては、「とくに気になるところはない」33.5%、「よくかゆくなる」20.0%、「わからない」16.1%の順に高くなっている。

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

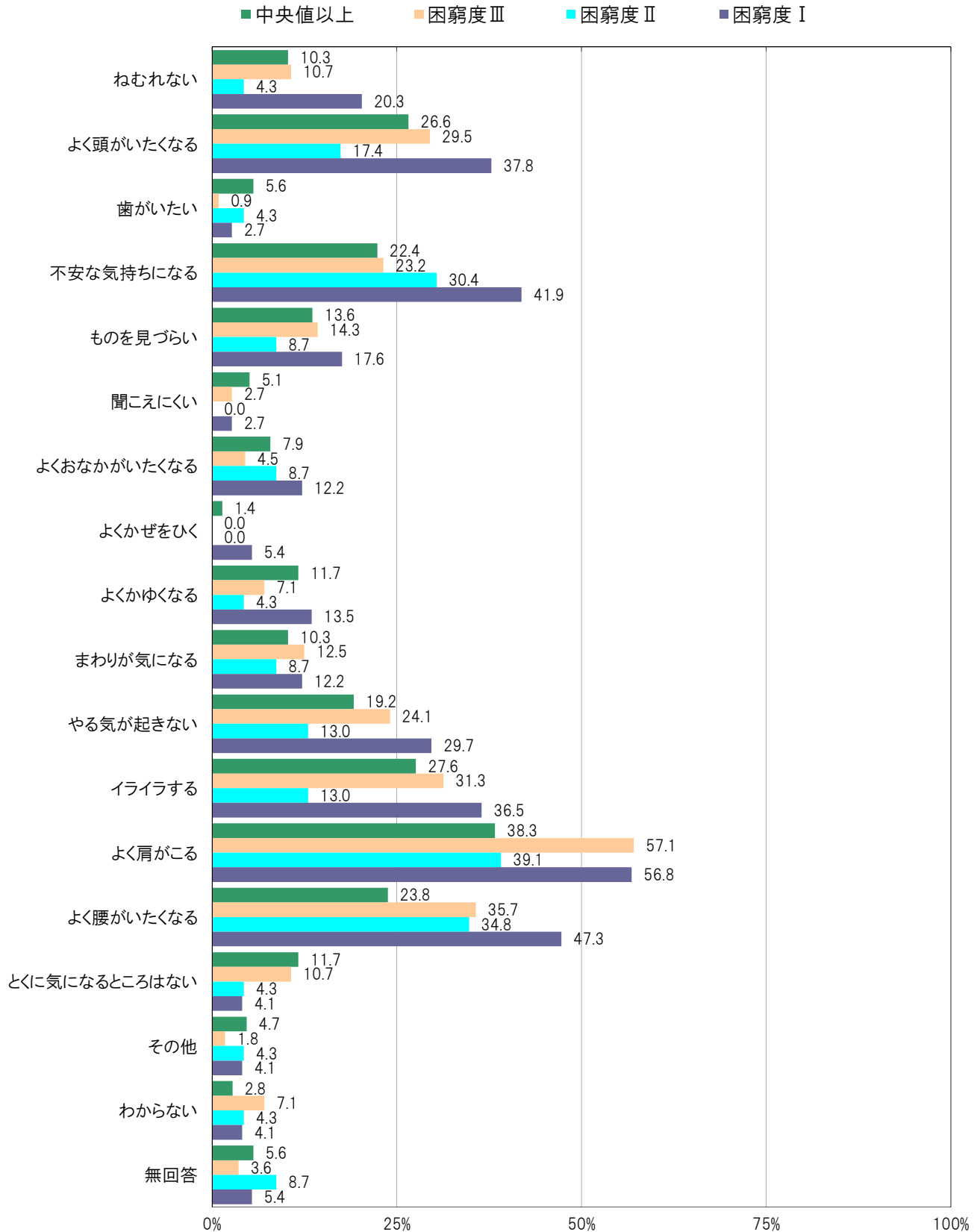


A-248.困窮度別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

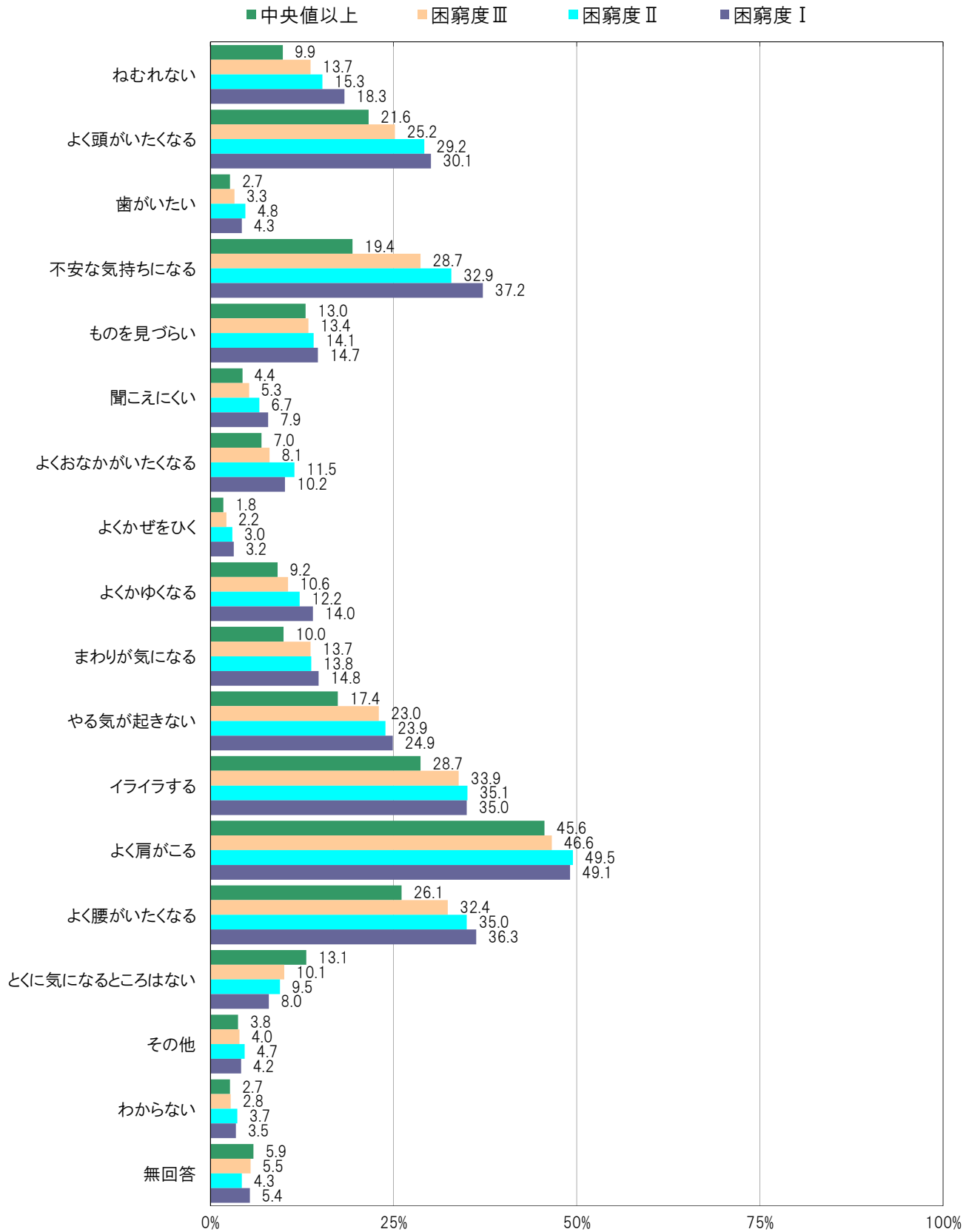
大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「よく肩がこる」56.8%、「よく腰がいたくなる」47.3%、「不安な気持ちになる」41.9%の順に高くなっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「よく肩がこる」38.3%、「イライラする」27.6%、「よく頭がいたくなる」26.6%の順に高くなっている。

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

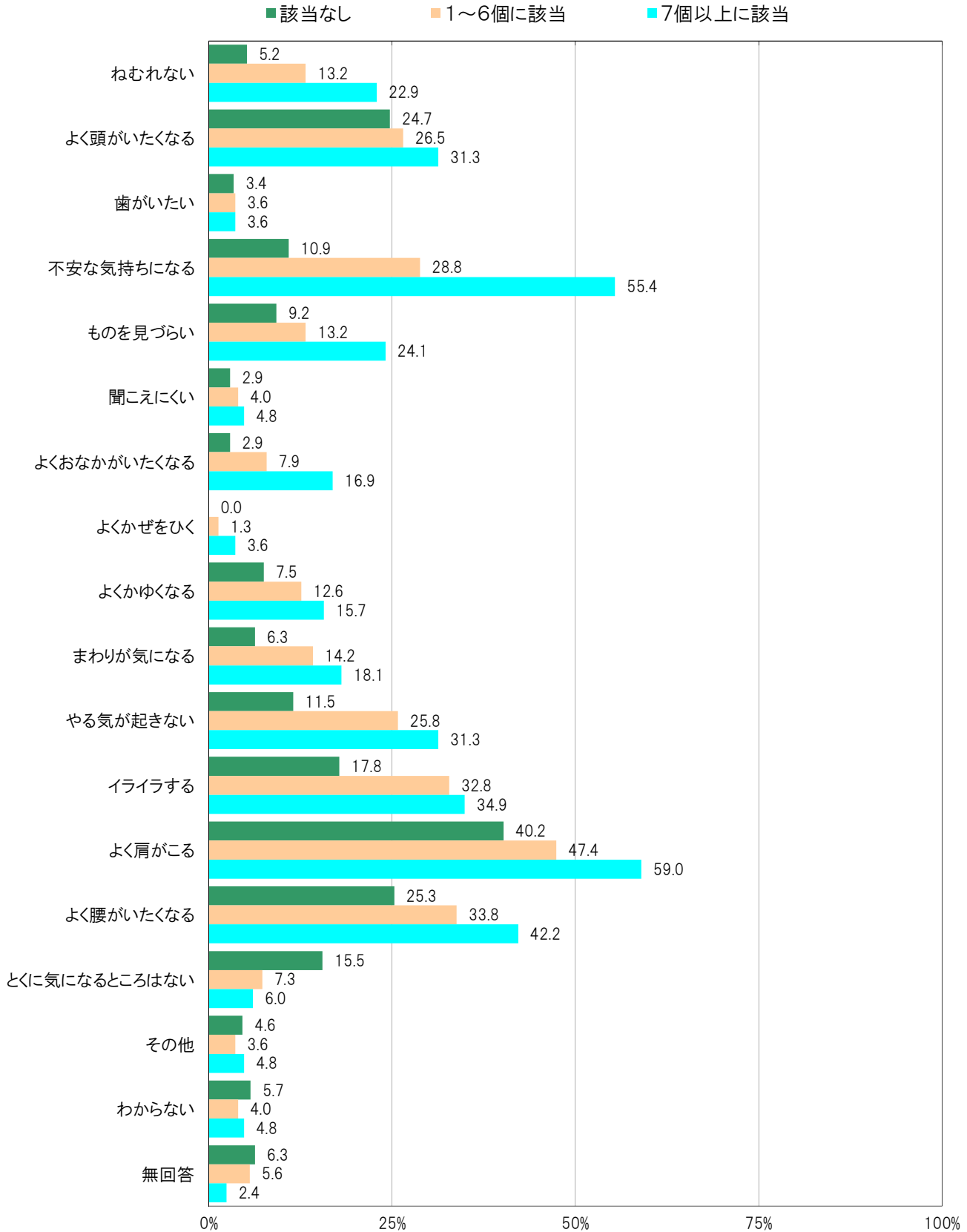


A-249.はく奪指標別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

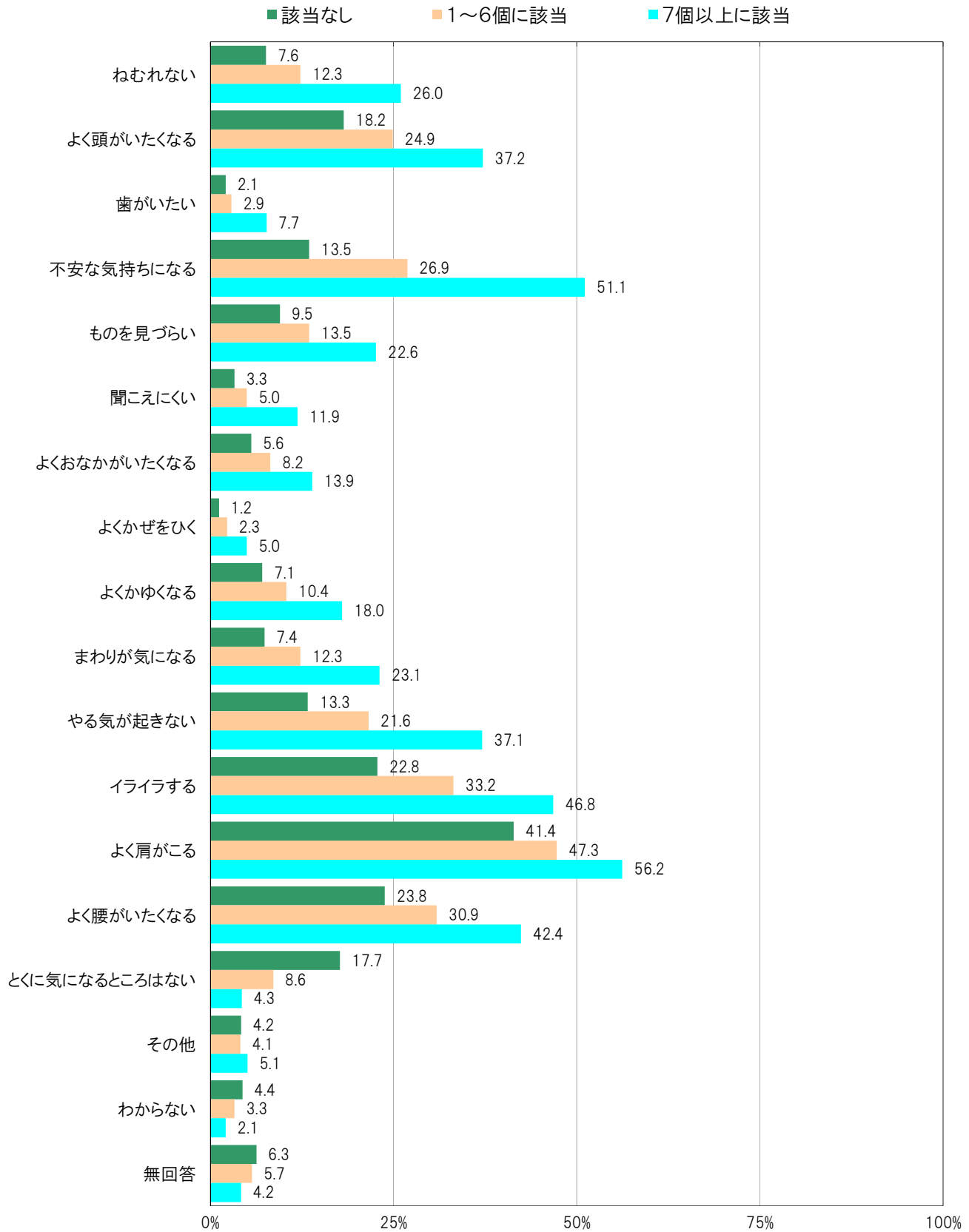
大阪市大正区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「よく肩がこる」47.4%、「よく腰がいたくなる」33.8%、「イライラする」32.8%の順に高くなっている。

大阪市大正区のはく奪指標／該当なし群においては、「よく肩がこる」40.2%、「よく腰がいたくなる」25.3%、「よく頭がいたくなる」24.7%の順に高くなっている。

〔大阪市大正区／はく奪指標別〕



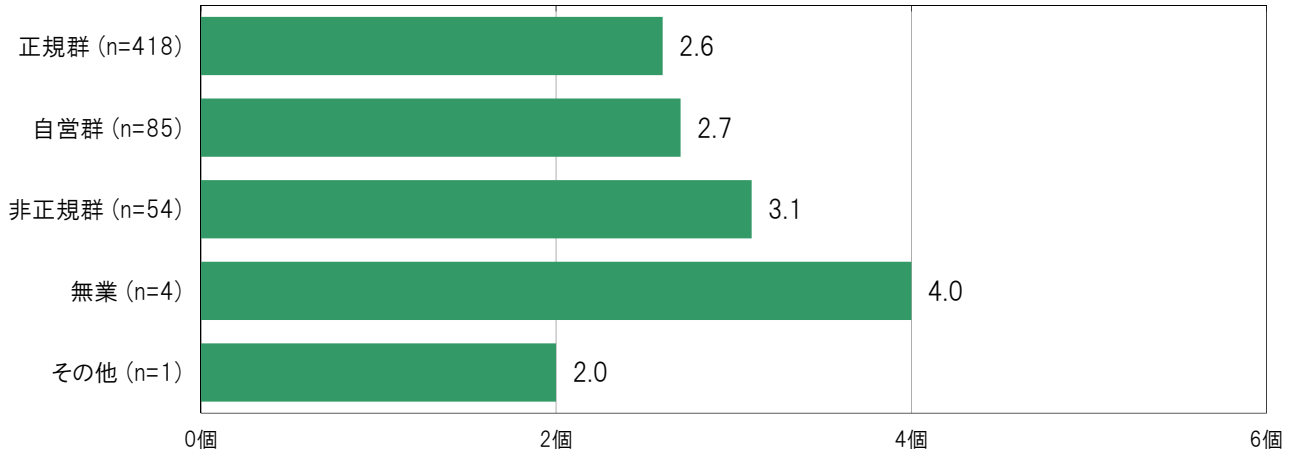
〔大阪市24区／はく奪指標別〕



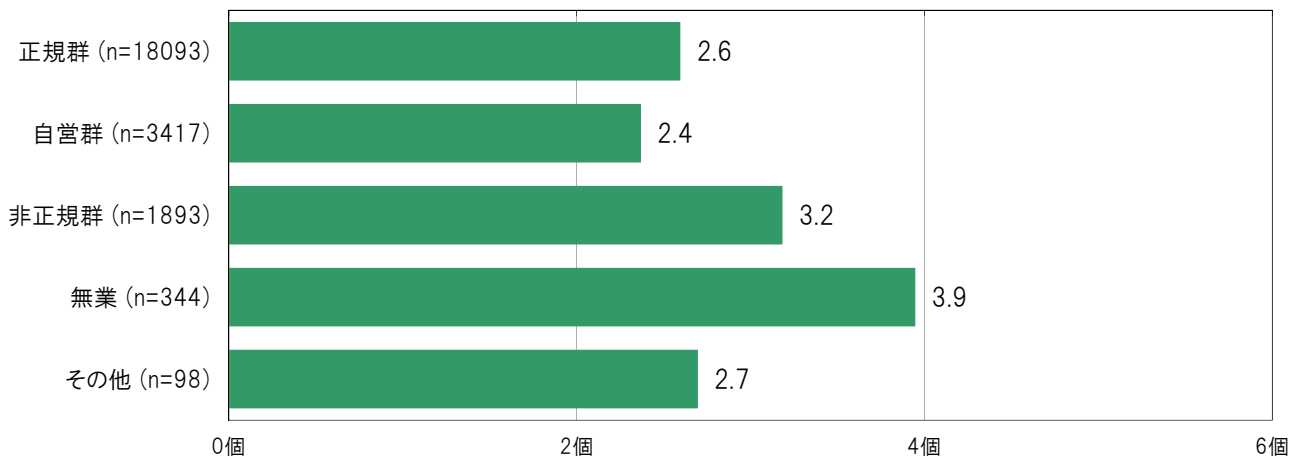
A-250.就労状況別にみた自分の体や気持ちについて気になること／該当数【保護者 問23】

大阪市大正区の就労状況別の該当数平均は、「正規群」2.6個、「自営群」2.7個、「非正規群」3.1個、「無業」4.0個、「その他」2.0個となっている。

〔大阪市大正区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

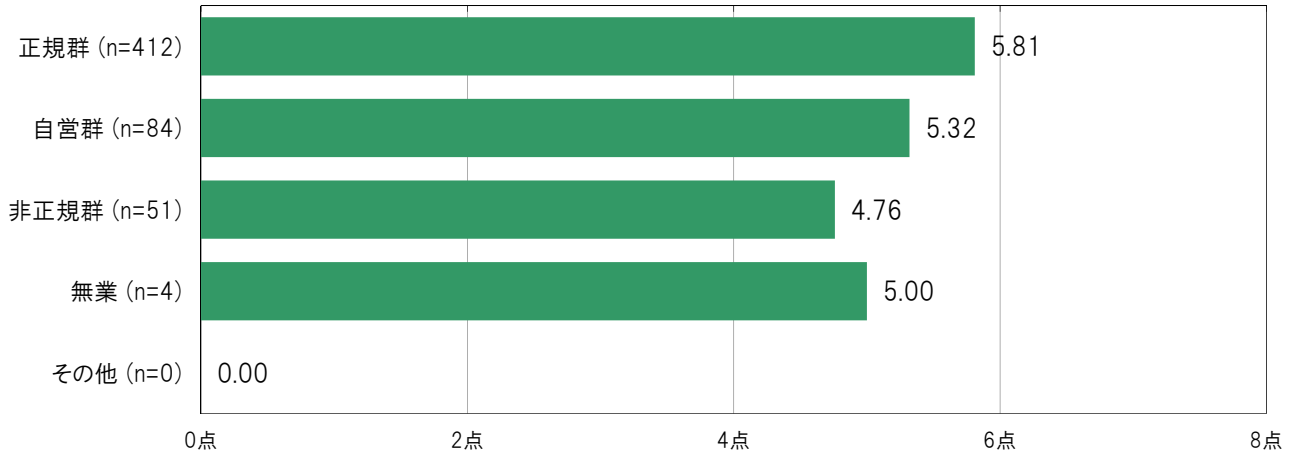


A-251.就労状況別 支えてくれる人／①～⑦の合計点【保護者 問19①～⑦】

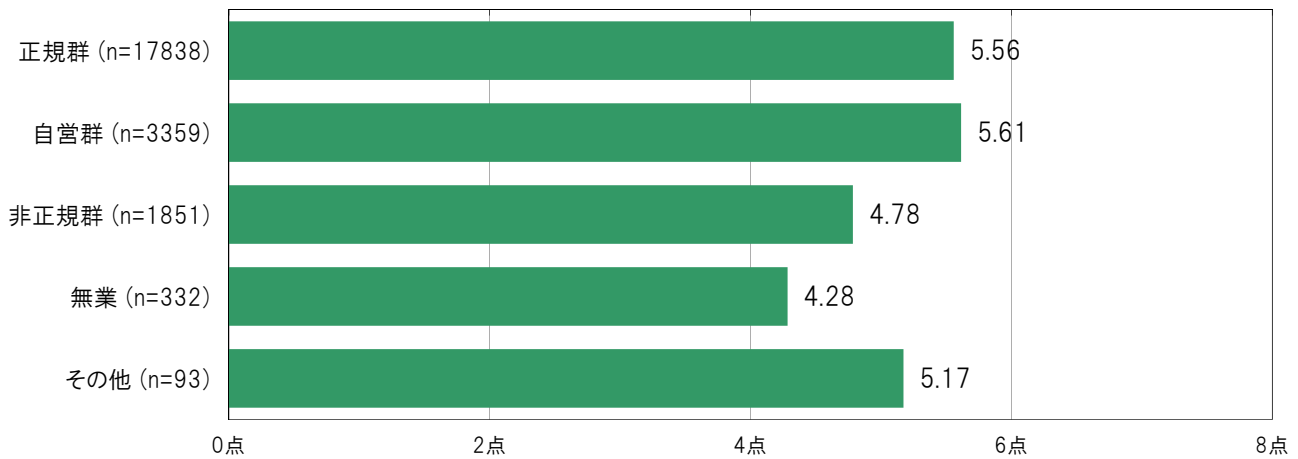
大阪市大正区の就労状況別の加重得点平均は、「正規群」5.81点、「自営群」5.32点、「非正規群」4.76点、「無業」5.00点、「その他」0.00点となっている。

※加重得点「いる」= 1点、「いない」= 0点

〔大阪市大正区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



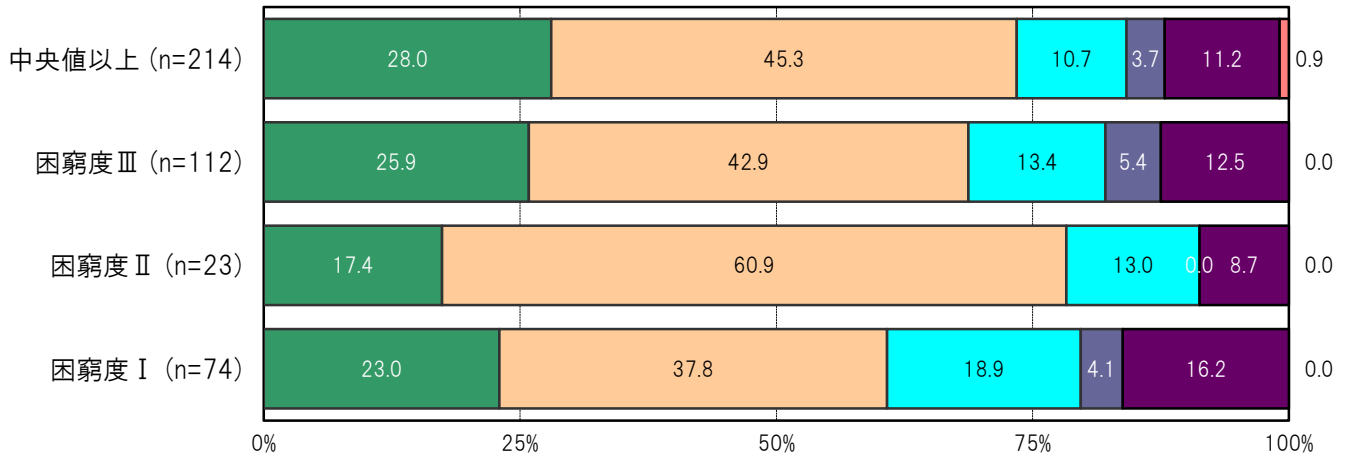
A-252.困窮度別 生活を楽しんでいるか【保護者 問22(1)】

大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「とても楽しんでいる」23.0%、「楽しんでいる」37.8%、「あまり楽しんでいない」18.9%、「楽しんでいない」4.1%、「わからない」16.2%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「とても楽しんでいる」28.0%、「楽しんでいる」45.3%、「あまり楽しんでいない」10.7%、「楽しんでいない」3.7%、「わからない」11.2%となっている。

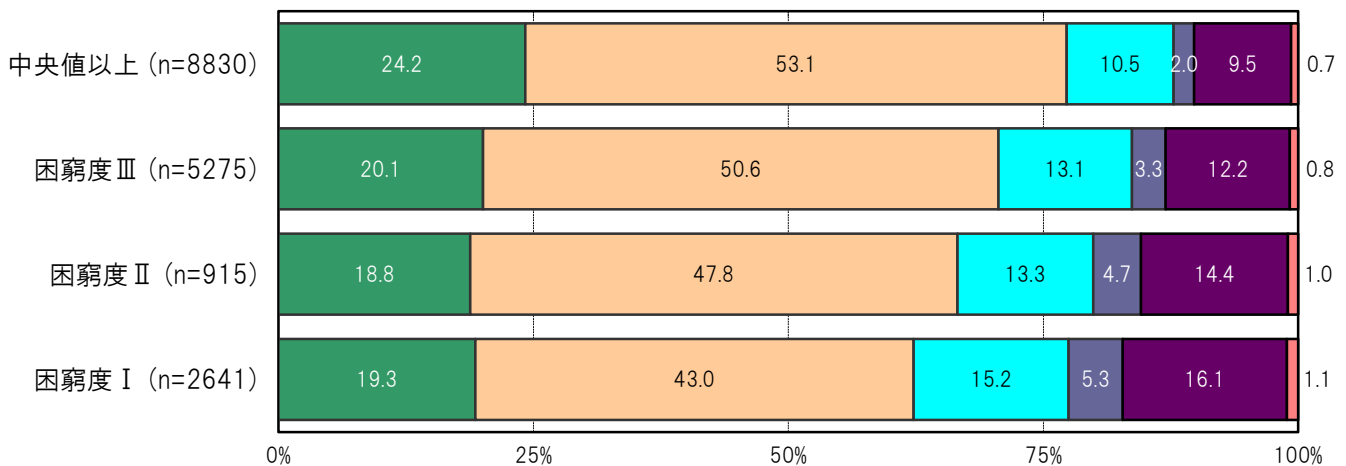
〔大阪市大正区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答



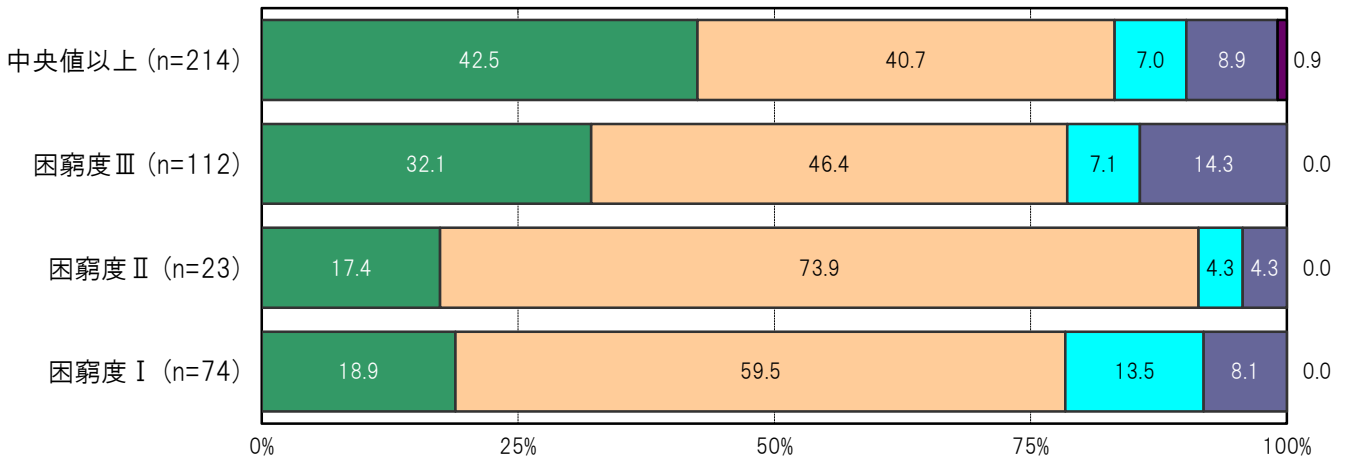
A-253.困窮度別 将来に対する希望【保護者 問22(2)】

大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「希望が持てる」18.9%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」59.5%、「希望が持てない」13.5%、「わからない」8.1%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「希望が持てる」42.5%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」40.7%、「希望が持てない」7.0%、「わからない」8.9%となっている。

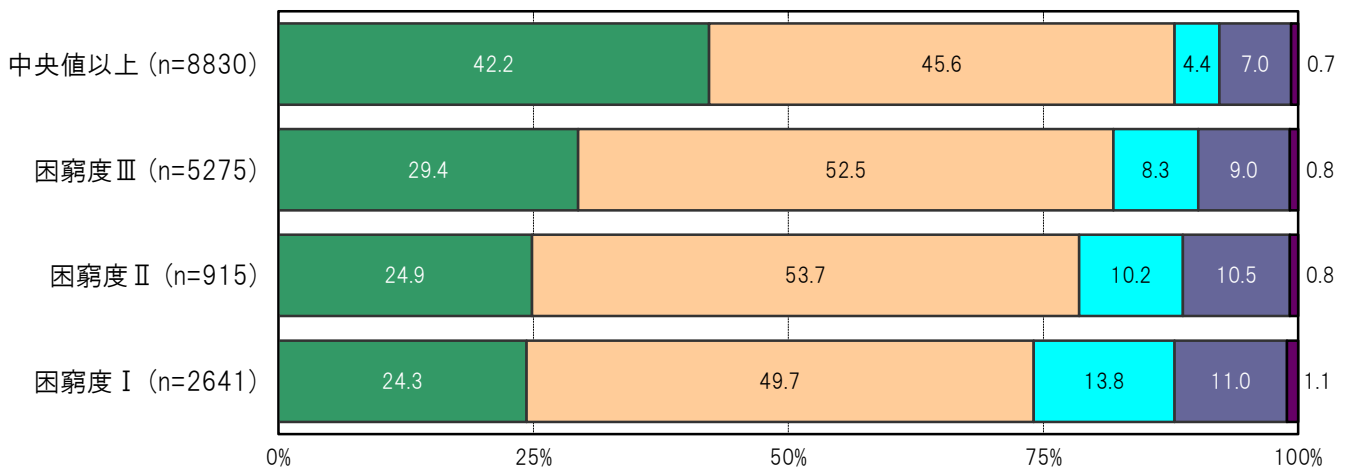
〔大阪市大正区／困窮度別〕

■希望が持てる ■希望が持てるときもあれば、持てないときもある ■希望が持てない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■希望が持てる ■希望が持てるときもあれば、持てないときもある ■希望が持てない ■わからない ■無回答

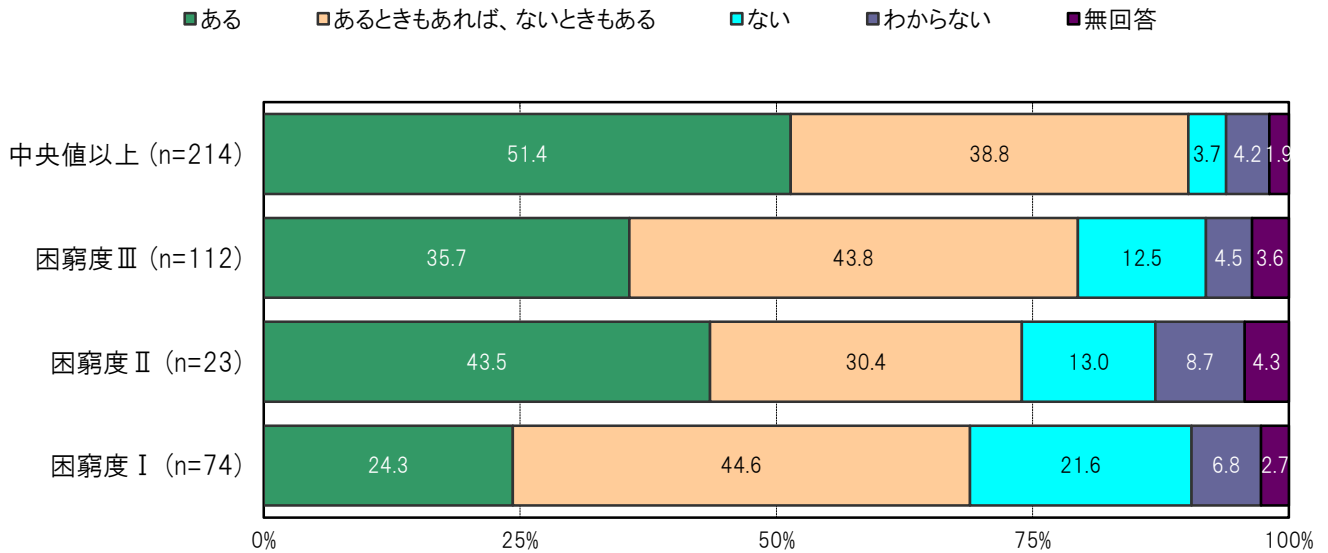


A-254.困窮度別 ストレスを発散できるもの【保護者 問22(3)】

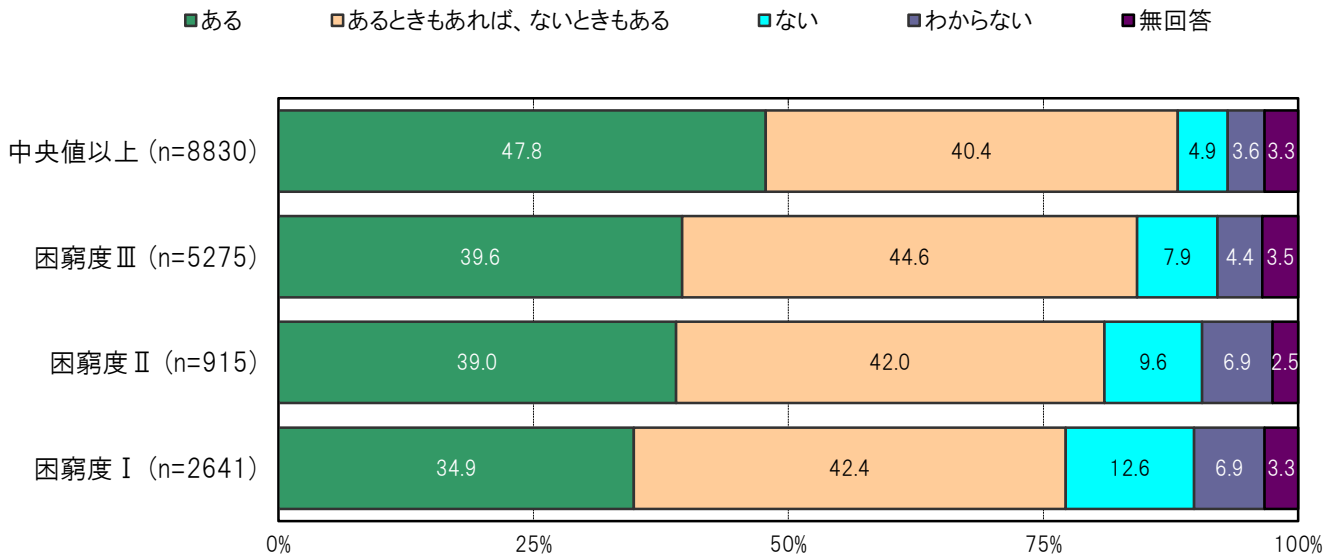
大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「ある」24.3%、「あるときもあれば、ないときもある」44.6%、「ない」21.6%、「わからない」6.8%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「ある」51.4%、「あるときもあれば、ないときもある」38.8%、「ない」3.7%、「わからない」4.2%、「わからない」4.2%となっている。

〔大阪市大正区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕



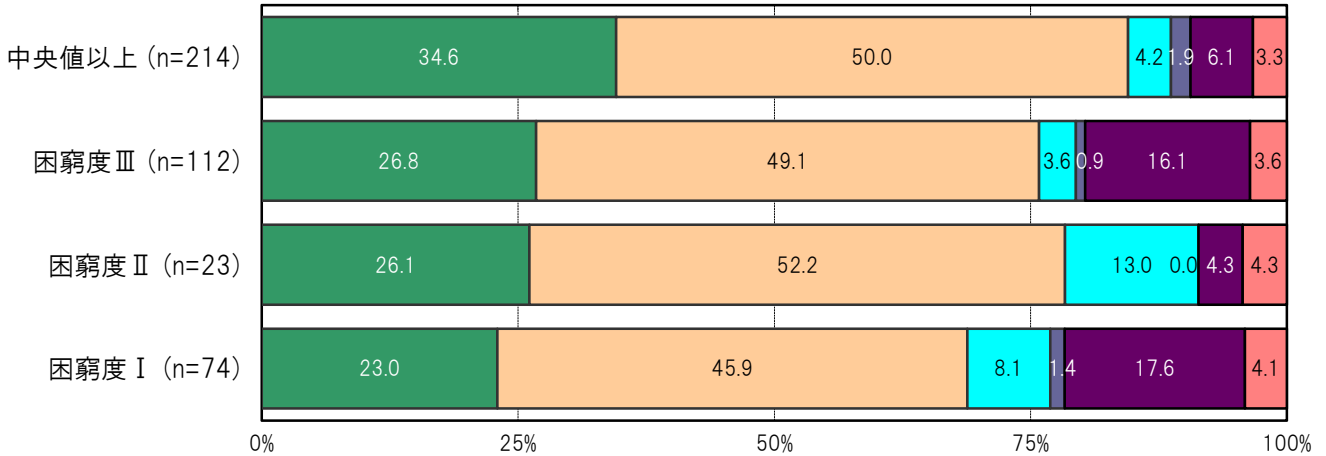
A-255.困窮度別 自分が幸せと思うか【保護者 問22(4)】

大阪市大正区の困窮度Ⅰ群においては、「とても幸せだと思う」23.0%、「幸せだと思う」45.9%、「あまり幸せだと思わない」8.1%、「幸せだと思わない」1.4%、「わからない」17.6%となっている。

大阪市大正区の中央値以上群においては、「とても幸せだと思う」34.6%、「幸せだと思う」50.0%、「あまり幸せだと思わない」4.2%、「幸せだと思わない」1.9%、「わからない」6.1%となっている。

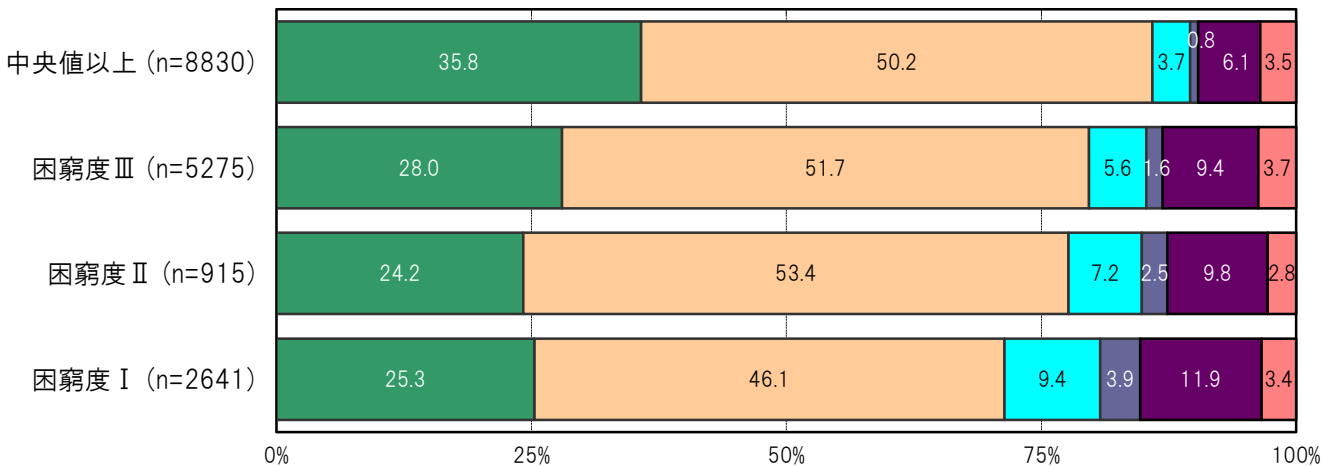
〔大阪市大正区／困窮度別〕

■とても幸せだと思う ■幸せだと思う ■あまり幸せだと思わない ■幸せだと思わない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■とても幸せだと思う ■幸せだと思う ■あまり幸せだと思わない ■幸せだと思わない ■わからない ■無回答



〔健康に関する考察〕

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、いずれの群においても75%を超えており、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日、またはほとんど毎日」（89.2%対77.6%）が11.6ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よくかゆくなる」（31.3%対24.6%）が6.7ポイント高くなっており、困窮度Ⅱ群は他の群と比べ、「ねむれない」（23.8%）、「よくおなかがいたくなる」（28.6%）が5ポイント以上高い。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ねむれない」（20.3%対10.3%）、「よく頭がいたくなる」（37.8%対26.6%）、「やる気が起きない」（29.7%対19.2%）、「イライラする」（36.5%対27.6%）がいずれも10ポイント以上、「不安な気持ちになる」（41.9%対22.4%）、「よく肩がいたくなる」（56.8%対38.3%）、「よく腰がいたくなる」（47.3%対23.8%）で、では約15ポイント高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、生活を「あまり楽しんでいない」および「楽しんでいない」（23.0%対14.4%）や将来に対して「希望が持てない」（13.5%対7.0%）が5ポイント以上、ストレスを発散できるものが「ない」（21.6%対3.7%）が17.9ポイント高くなっており、一方で中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、将来に対して「希望が持てる」（42.5%対18.9%）が23.6ポイント、ストレスを発散できるものが「ある」（51.4%対24.3%）が27.1ポイント、自分が「とても幸せだと思う」（34.6%対23.0%）が11.6ポイント高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、「楽しみにしていることがたくさんある」「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」の割合が低くなり、「一人ぼっちのような気がする」「まわりが気になる」「やる気が起きない」で「いつもそうだ」の割合が高くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「よくおなかがいたくなる」「よくかゆくなる」の割合が高くなる傾向にある。保護者ではいずれの症状においても割合が高くなる傾向にあり、特に「ねむれない」「不安な気持ちになる」「ものが見づらい」「よくおなかがいたくなる」「まわりがきになる」「やる気が起きない」において顕著である。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安やイライラなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。また、経済的に困難な世帯では、保護者・子どもいずれも睡眠不足や腹痛を感じており、ストレスを抱えていることや衛生状態が良くないことが懸念される。一方で経済的に困難のない世帯の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。親の就業状況別の朝食の頻度では、「正規群」および「自営群」において、「毎日、またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が高く（84.9%、88.6%）、一方で「非正規群」では72.9%にとどまっている。また、保護者の就業状況別の支えてくれる人では、「正規群」「自営群」では「非正規群」と比較してそれぞれの支援者について「いる」と回答した割合が高く、「おこさんの学びや遊びを豊かにする情報をくれる人」「おこさんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」において差が大きい。この結果から、就業状況が安定している世帯では、朝の時間に余裕があることがうかがえる一方、就業状況が安定していない世帯では親の多忙時に支えてくれる人が不足していることが示唆される。

また、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日、またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」（55.4%対23.5%）が31.9ポイント、子どもと会話を「よくする」（69.2%対52.9%）が16.3ポイント高くなっている。子供の自己効力感では、朝食を「毎日、またはほとんど毎日」食べている群では「食べない」群と比べ、「自分に自信がある」「自分の将来の夢や目標を持っている」が高い傾向にあり、学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では食べていないことが多い2群（「あまり食べていない」および「食べていない」）に比べて各指標が高い傾向がある。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自己効力感を高める可能性が示唆される。